

NEC プロジェクター

ViewLight[®]
ビューライト

NP-UM383WLJL

取扱説明書 [詳細版]

本機を安全にお使いいただくために
ご使用前に必ずお読みください

- 1. 添付品や名称を確認する ● 1
- 2. 映像を投写する (基本操作) ● 2
- 3. 便利な機能 ● 3
- 4. ビューワーを使う ● 4
- 5. オンスクリーンメニュー ● 5
- 6. 機器と接続する ● 6
- 7. 本体のお手入れ ● 7
- 8. 付録 ● 8

取扱説明書の最新版は、当社ホームページに掲載しています。

<https://www.nec-display.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html>

はじめに

このたびは、NEC プロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、コンピューターや DVD プレーヤーなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。本書は、下記の機種について共通の取扱説明書です。

- 本書で説明している機種名

NP-UM383WLJL

- 機種名について

プロジェクター本体では、機種名を「NP-UM383WL」と表記しています。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B



ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。




本機を安全にお使いいただくために、ご使用前の前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

電源コードは日本国内専用です



国内では交流 100 ボルト以外使用禁止

- 本機は交流 100 ボルトで使用してください。添付の電源コードは国内使用専用です。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
 - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
 - ・ コードの上に重い物をのせない
 - ・ コードをプロジェクターの下敷きにしな
 - い
 - ・ コードの上を敷物などで覆わない
 - ・ コードを傷つけない、加工しない
 - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - ・ コードを加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など） NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
 - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
 - ・ プロジェクターの上に花瓶、植木鉢を置かない
 - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
- 万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

煙が出ている、変なおいや音がする場合やプロジェクターを落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - ・ 暖房の近くや振動の多い所
 - ・ 屋外および湿気やほこりの多い場所
 - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
 - ・ 調理台や加湿器のそば

警告

動作中に投写窓をふさがない



- 動作中に投写窓の前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。
- 天吊りの設置をしたときは、本機にぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。

プロジェクターの投写窓をのぞかない

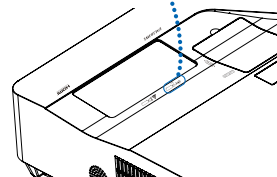


投写窓をのぞかない

- プロジェクターの投写窓をのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- 投写光を、光学機器（ルーペや反射鏡など）を使ってのぞかないでください。視力障害の原因となります。
- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。
- お子様に一人でプロジェクターを操作させないでください。お子様が操作する場合は、必ず大人が付き添い、お子様から目を離さないでください。
- プロジェクター上面に、次の図記号を表示しています。この図記号は、本機が IEC62471-5:2015 規格でリスクグループ 2 に分類されていることを示しています。



RG2



明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。RG2 IEC 62471-5:2015.

警告

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

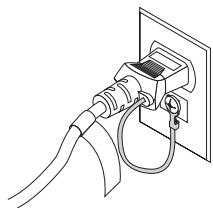
清掃に可燃性ガスのスプレーを使用しない



- 投写窓やフィルターなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

注意

機器のアースは確実にとってください



- このプロジェクターは電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されている 2 芯プラグ機器です。

機器の安全確保のため、電源コードのアースリード線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースは確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースをはずす場合は、必ず電源コンセントから抜いてから行ってください。

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない



- 本機の LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

⚠ 注意

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

通風口をふさがない



- プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として 10cm 以上）あけてください。

投写中および投写終了直後は排気口をさわらない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があります、やけどの原因となることがあります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
 - ・ 指定以外の電池は使用しない
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - ・ 電池を入れるときは、極性（+と-の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店または自治体にお問い合わせください。

点検・本体内部の清掃について



内部の清掃は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

電源コードはコンセントに接続する

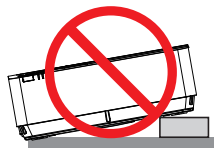


- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線や動力源の近くに設置すると、妨害を受けます。
- 次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。
故障の原因となります。
 - ・ 強い磁界が発生する場所
 - ・ 腐食性のガスが発生する場所
- レーザー光線のような強い光が投写窓から入り込むと、故障の原因となります。
- 本機を傾けて使用する場合は、チルトフットの傾き範囲以内（0～10°）にしてください。チルトフットの範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
 - ・ たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合は、または長時間連続して（12時間／日または260日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
 - ・ 本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、ファンモードを「高速」にしてください。（▶100ページ）
 - ・ コンピューターなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄が画面に若干残りますが、しばらくすると消えます。これは液晶パネルの特性上発生するもので、故障ではありません。コンピューター側でスクリーンセーバーをお使いになることをおすすめします。
- 標高約1700m以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（光源等）の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。

- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
・ プロジェクター本体に振動や強い衝撃を与えないでください。プロジェクターの故障の原因となります。
- 投写窓は素手でさわらないでください。
投写窓に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、投写窓には手を触れないでください。

電源プラグを抜く際の注意

- 電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

廃棄について

- 本体の廃棄について
本体を廃棄する場合には、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

天吊り設置の注意事項

- 次のような場所には設置しないでください。キャビネットに油や薬品、水分などが付着した場合、キャビネットの変形またはひび割れ、金属部分の腐食、および故障の原因となります。
 - ・ 屋外および湿気やほこりの多い場所
 - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
 - ・ 腐食性のガスが発生する場所

本機のパワーマネージメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネージメント機能①、②を設定しています。本機を LAN やシリアルケーブルなどを經由して外部機器から制御する場合は、オンスクリーンメニューを表示して①、②の設定を変更してください。

① スタンバイモード（工場出荷時の設定：ノーマル）

▶ 外部機器から制御する場合は「ネットワークスタンバイ」か「スリープ」に変更してください。

注意

- 「ノーマル」に設定されていると、スタンバイ状態のときに次の端子や機能が動きません。
モニター出力端子、音声出力端子、LAN 機能、メール通知機能、DDC/CI (Virtual Remote Tool)
- 「ネットワークスタンバイ」に設定していても、LAN が 3 分間リンクダウンすると、自動的に「ノーマル」に変わります。

詳しくは、[🔗103 ページ](#)をご覧ください。

② オートパワーオフ（工場出荷時の設定：1 時間）

▶ 外部機器から制御する場合は「オフ」に変更してください。

注意






- 「1:00」に設定されていると、入力信号がなく、また本機を操作しない時間が 1 時間続いた場合、自動的に本機の電源が切れます。

信号ケーブルについて

- プロジェクターに接続する信号ケーブルは、フェライトコア付きやシールドタイプを使用してください。
それ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。詳しくは、本書の「機器と接続する」をご覧ください。

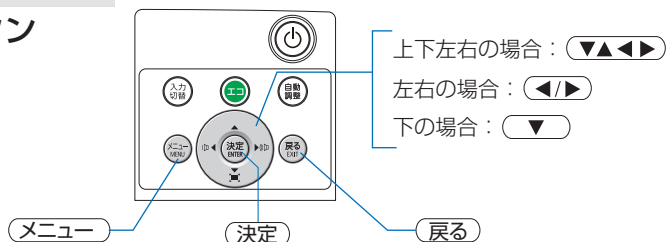
本書の表記について

マークの意味

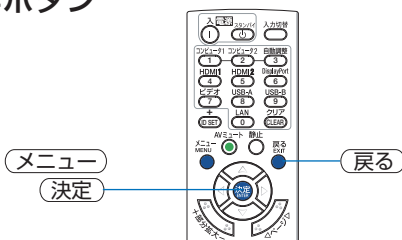
	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
	注意や制限事項を表しています。
	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。
	特定の機種についての説明を表しています。

操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン

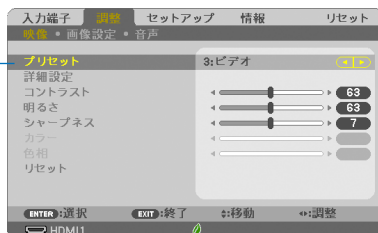


●リモコンの操作ボタン



メニュー項目の表記例

「プリセット」



参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

目次

はじめに	表紙裏
本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください	3
お願い	8
本書の表記について	11
目次	12

1. 添付品や名称を確認する 14

1-1. 特長	14
1-2. 添付品の確認	16
1-3. 本体各部の名称	18
1-4. リモコン各部の名称	22

2. 映像を投写する（基本操作） 26

2-1. 映像を投写する流れ	26
2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する	27
2-3. 本機の電源を入れる	29
2-4. 入力信号を選択する	31
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する	34
2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）	41
2-7. コンピューターの映像を自動調整する	43
2-8. 本機の音量を調整する	44
2-9. 本機の電源を切る	45
2-10. 移動するときは	46

3. 便利な機能 47

3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート）	47
3-2. 動画を静止画にする（静止）	47
3-3. 映像の一部を拡大する（部分拡大）	48
3-4. エコモードと省エネ効果	49
3-5. 投写画面の歪みを調整する（4点補正 / ピンクッション補正）	52
3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する	56
3-7. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作	59

4. ビューワーを使う 66

4-1. ビューワーでできること	66
4-2. USB メモリーに保存した画像を投写する	68

5. オンスクリーンメニュー	74
5-1. オンスクリーンメニューの基本操作	74
5-2. オンスクリーンメニュー一覧	78
5-3. 入力端子	82
5-4. 調整	83
5-5. セットアップ	91
5-6. 情報	108
5-7. リセット	109
6. 機器と接続する	110
6-1. コンピューターと接続する	110
6-2. ディスプレイと接続する	113
6-3. DVD プレーヤーなどの AV 機器と接続する	115
6-4. 有線 LAN と接続する	118
7. 本体のお手入れ	119
7-1. フィルターの清掃	119
7-2. 投写窓の清掃	121
7-3. キャビネットの清掃	122
8. 付 録	123
投写距離とスクリーンサイズ	123
対応解像度一覧	129
仕様	131
外観図	133
コンピューター映像入力端子のピン配列と信号名	137
バックグラウンドロゴを変更する (Virtual Remote Tool)	138
故障かな?と思ったら	140
インジケーター表示一覧	145
トラブルチェックシート	150
別売品/商標について	152

保証と修理サービス (必ずお読みください)	153
------------------------------------	------------

NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターのご案内	裏表紙
---	------------

1. 添付品や名称を確認する

1-1. 特長

● クイックスタート（6秒）、クイックパワーオフ、ダイレクトパワーオフ

パワーオンから6秒で映像が表示され始めます（クイックスタート）^(注1)。

パワーオフ後に冷却ファンが回転しないので、すばやく片付けることができます（クイックパワーオフ）。

また、投写中にAC電源を切断することができます（ダイレクトパワーオフ）。

AC電源を切断する場合は、本機の電源コードを接続しているテーブルタップのスイッチやブレーカなどを利用してください。

^(注1) スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」のとき。

● 超短焦点投写を実現

超短焦点投写が可能なレンズを搭載。最大130型のスクリーンサイズに対し、投写距離わずか約42.9cmでの投写が可能です。

ここでの投写距離は、プロジェクターのスクリーン側の端からスクリーンまでの距離です。

● スタンバイ時の消費電力が0.3ワットの省エネ設計

オンスクリーンメニューのスタンバイモードで「ノーマル」を設定すると、スタンバイ時の消費電力が0.3ワットになります。

● 消費電力を抑えるエコモードとカーボンメーター表示

使用中の消費電力を抑えるため、「オートエコ」、「エコ1」、「エコ2」という3種類のエコモードを搭載しています。さらに、エコモード設定時の省エネ効果をCO₂排出削減量に換算して、電源切るときの「確認メッセージ」およびオンスクリーンメニューの「情報」に表示します（カーボンメーター）。

● 20000時間長寿命 HLD+LED の新光源を採用

輝度3800lmおよび20000^(注2)時間長寿命、寿命期限に明るさを維持できます。

^(注2) 保証時間ではありません。

● HDMI 2 系統 などの豊富な入力端子

HDMI 2 系統、コンピュータ（アナログ）、ビデオ など、豊富な入力端子を装備しています。本機のHDMI入力端子はHDCPに対応しています。

● MultiPresenter アプリケーションに対応

当社のMultiPresenterアプリケーションに対応しており、有線LAN経由で画面投写が行えます。

● 10ワットのステレオスピーカーを2個内蔵

10ワットのステレオスピーカーを2個内蔵しています。

● コントロールIDが登録できるリモコンを標準添付

同じ部屋で本機を複数台使用しているときなどに、プロジェクターごとに個別のコントロールID番号を設定することによって、1個のリモコンでプロジェクターごとに個別の操作を行うことができます。

● 設置角度が垂直方向360°可能（チルトフリー）

本機は、垂直方向360°のどの角度でも設置が可能です。ただし、本体を左右に傾けて設置することはできません。

● オートパワーオン／オートパワーオフ機能

本機には次のような自動的に電源を入／切する機能があります。

- ・ダイレクトパワーオン … 本機に AC 電源が供給されると、自動的に電源が入り、映像を投写します。
- ・オートパワーオン …… 本機がスタンバイ状態のときコンピューター信号または HDMI 信号が入力されると、自動的に電源が入り映像を投写します。
- ・オートパワーオフ …… 設定した時間だけ信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。
- ・オフタイマー …… 設定した時間が経過すると、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

● 無断使用や盗難を防止する機能を装備

本機には次のようなセキュリティ機能を装備しています。

- ・セキュリティキーワード …… オンスクリーンメニューの「セキュリティ」でキーワードを設定すると、本機の電源を入れたときにキーワード入力画面が表示され、正しいキーワードを入力しなければ投写できなくなります。
- ・盗難防止用ロック …… 本機は、ケンジントンセキュリティワイヤーを接続することができます。
- ・セキュリティバー …… 本機は、一般的なセキュリティケーブル（またはワイヤー）を通す機構を装備しています。

● アドバンスド・アキューブレンド機能により WUXGA^(注4) までの解像度に対応

本機はWXGA (1280 × 800 ドット) にリアル対応しています。アドバンスド・アキューブレンド機能により WUXGA (1920 × 1200 ドット) の入力信号までカバーしています。

(注4) WXGAモードオン時

● 便利なアプリケーションソフトに対応

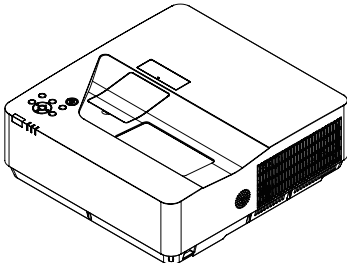
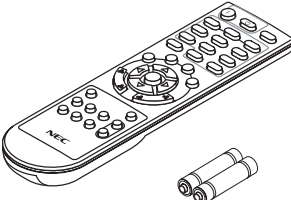
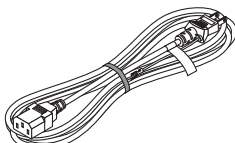
当社のアプリケーションソフト (NaViSet Administrator 2、Virtual Remote Tool など) に対応しています。NaViSet Administrator 2 は、コンピューターとプロジェクターを有線 LAN で接続して、コンピューター側からプロジェクターの様々な機能を制御するソフトウェアです。Virtual Remote Tool は、コンピューターの画面上に仮想のリモコンを表示し、有線 LAN で接続したプロジェクターの電源の入／切や信号切り替えなどの簡単な制御を行うソフトウェアです。また、本機のバックグラウンドロゴを変更する機能があります。 (🔗138 ページ)

各ソフトウェアは、当社のホームページからダウンロードしてください。


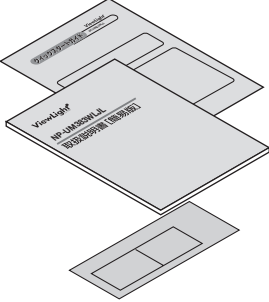
<https://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	<p>プロジェクター (本機) コンピュータやDVD プレーヤーなどを接続して、文字や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。</p>
	<p>リモコン (7N901211) 本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときは、添付の単 4 乾電池 2 本をセットしてください。(🔗 24 ページ)</p> <p>単 4 乾電池 (リモコン用) 2 本 添付のリモコンにセットします。</p>
	<p>電源コード (アース付き) (7N080125/7N080129) AC100V のコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。</p>
	<p>コンピュータケーブル (ミニ D-Sub 15 ピン) (7N520089) コンピュータの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。(🔗 27、110 ページ)</p>

次ページに続く

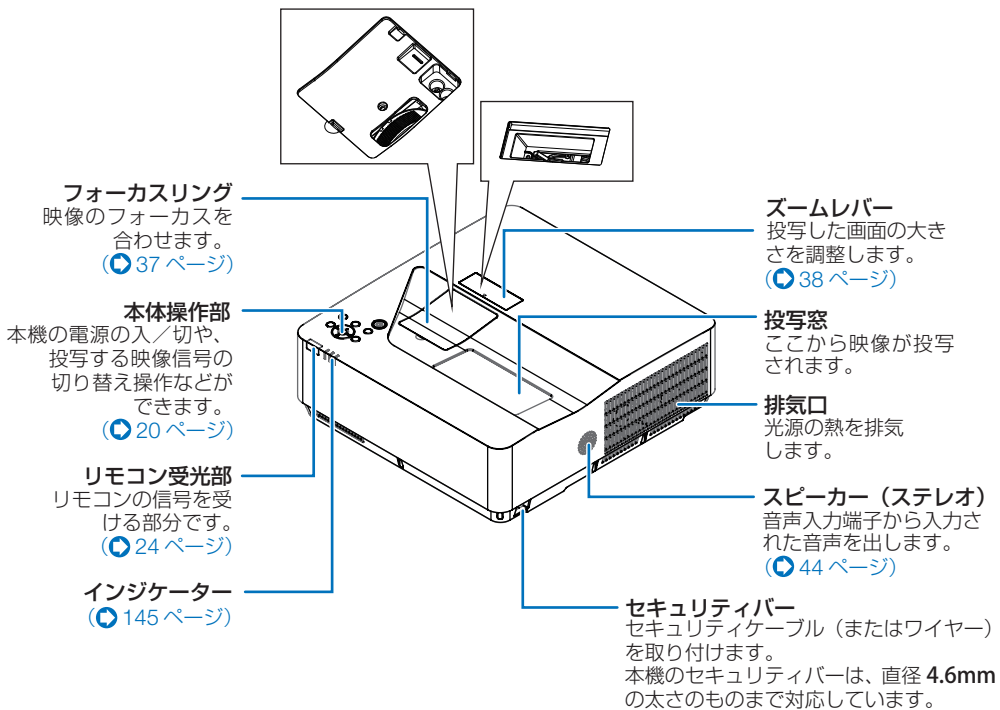
	<p>NEC Projector CD-ROM (7N952943) 取扱説明書（本書）が PDF (Portable Document Format) 形式で収録されています。</p>
	<p>クイックスタートガイド (7N8R0021) 機器の接続、電源オン、投写画面の調整、電源オフといった、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。</p> <p>取扱説明書【簡易版】 (7N8R0013) 安全のために守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。</p> <p>保証書 プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。</p>

参考

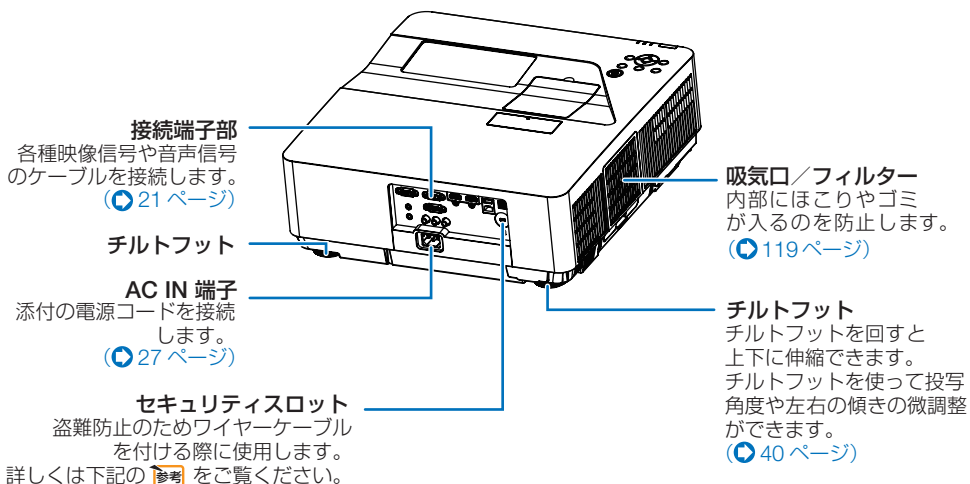
- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

本体前面



本体背面



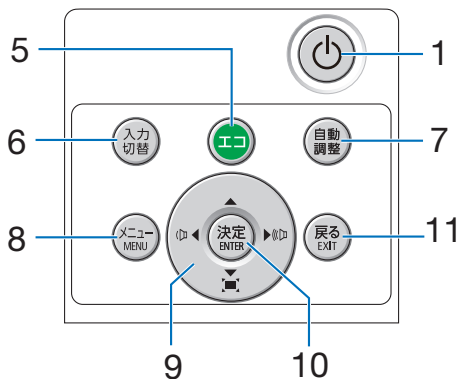
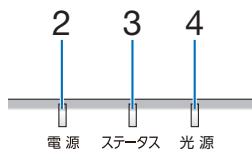
1

添付品や名称を確認する

参考

- **セキュリティスロットについて** 
セキュリティスロットは、市販のケンジントン社製セキュリティワイヤーに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

本体操作部



1 (電源) ボタン (電源ボタン)

本機の電源を入/切 (スタンバイ状態) します。

電源を切る (スタンバイ状態) ときは、一度押しと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度 (電源) ボタンを押します。

2 電源インジケータ

電源が入っているときは青色に点灯します。
([29](#)、[145](#) ページ)

電源が切れている (スタンバイ状態) ときは赤色に点灯します (スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。

3 ステータスインジケータ

電源が切れているとき (スタンバイ状態) は消灯します (スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。

詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。
([145](#)、[146](#) ページ)

4 光源インジケータ

光源の状態をお知らせします。

([145](#)、[146](#) ページ)

5 (エコ) ボタン

エコモード選択画面を表示します。

([49](#) ページ)

6 (入力切替) ボタン

入力信号を検出します。

HDMI1 → HDMI2 → コンピューター → ビデオ → USB-A → LAN → HDMI1 ... の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

7 (自動調整) ボタン

コンピューター画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。
([43](#) ページ)

8 (メニュー) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。
([74](#) ページ)

9 (音量調整ボタン、台形補正ボタンを兼用)

・オンスクリーンメニューを表示しているときに (音量調整ボタン) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。
([74](#) ページ)

・オンスクリーンメニューを表示していないときに、(台形補正ボタン) ボタンを押すと、音量を調整できます。
([44](#) ページ)

・オンスクリーンメニューを表示していないときに (台形補正ボタン) ボタンを押すと、台形補正調整画面を表示します。
([41](#) ページ)

10 (決定) ボタン

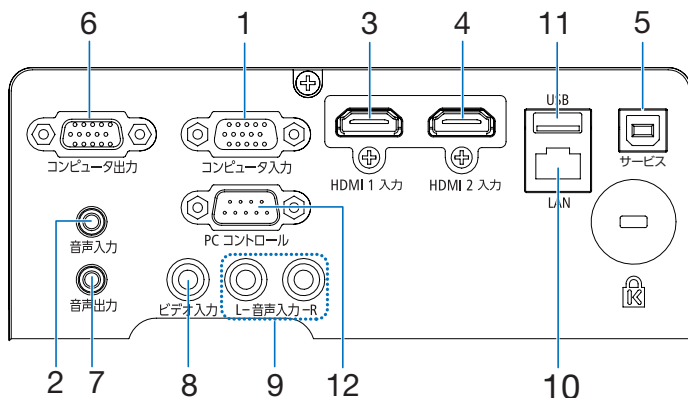
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。

確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

11 (戻る) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

接続端子部



1 コンピューター映像入力端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピューターのディスプレイ出力端子や、DVD プレーヤーなどのコンポーネント出力端子と接続します。

([🔗 27、110、116 ページ](#))

2 コンピューター音声入力端子 (ステレオ・ミニ)

コンピューターまたは DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカーから音が出せます。([🔗 110、116 ページ](#))
本機のスピーカーから出力される音声はステレオです。

ビューワーを選択しているときは、コンピューター音声入力端子に入力している音声が入力端子から出力されます。

3 HDMI 1 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。

([🔗 110、117 ページ](#))

4 HDMI 2 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。

([🔗 110、117 ページ](#))

本機のスピーカーから出力される音声はステレオのみです。

5 サービス専用端子 (USB) (タイプ B)

お客様は使用できません

6 モニター出力(コンピューター) 端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピューター映像入力端子の映像信号を出力します。([🔗 113 ページ](#))

7 音声出力端子 (ステレオ・ミニ)

本機から投写されている映像の音声を出力します。([🔗 113 ページ](#))

音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカーから音が出なくなります。

8 ビデオ映像入力端子 (RCA- フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像出力端子と接続します。([🔗 115 ページ](#))

9 ビデオ音声入力端子 (RCA- フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続します。([🔗 115 ページ](#))

10 LAN ポート (LAN) (RJ-45)

本機を LAN に接続すると、本機の HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。([🔗 118 ページ](#))

11 USB ポート (USB) (タイプ A)

USB メモリーを接続します。

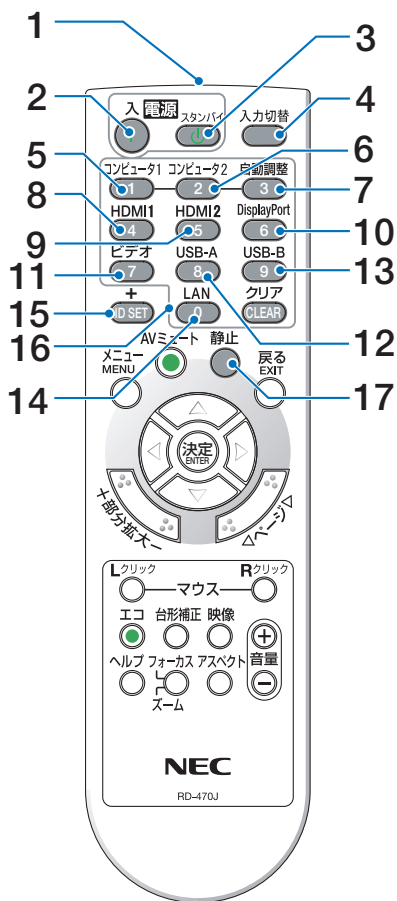
USB メモリーに画像データを保存すると本機のビューワーで投写することができます。

([🔗 68 ページ](#))

12 PC コントロール端子 (D-Sub 9 ピン)

コンピューターで本機を操作するときに使用します。

1-4. リモコン各部の名称



4 (入力切替) ボタン
 入力信号を検出します。
 コンピュータ → HDMI1/MHL → HDMI2 →
 ビデオ → USB-A → LAN → コンピュータ…
 の順に自動でチェックし、入力信号を検出す
 ると、その信号を投写します。

5 (コンピュータ1) ボタン
 コンピュータ入力 (またはコンポーネント)
 を選択します。

6 (コンピュータ2) ボタン
 (本機では使用できません)

7 (自動調整) ボタン
 コンピュータ画面を投写しているときに、最
 適な状態に自動調整します。(▶43 ページ)

8 (HDMI 1) ボタン
 HDMI 1/MHL 入力を選択します。

9 (HDMI 2) ボタン
 HDMI 2 入力を選択します。

10 (DisplayPort) ボタン
 (本機では使用できません)

11 (ビデオ) ボタン
 ビデオ入力を選択します。

12 (USB-A) ボタン
 ビューワを選択します。

13 (USB-B) ボタン
 (本機では使用できません)

14 (LAN) ボタン
 ネットワークを選択します。

15 (ID.SET) ボタン
 複数台のプロジェクターを本機のリモコンで
 個別に操作するときのコントロールID 設定
 に使用します。(▶99 ページ)

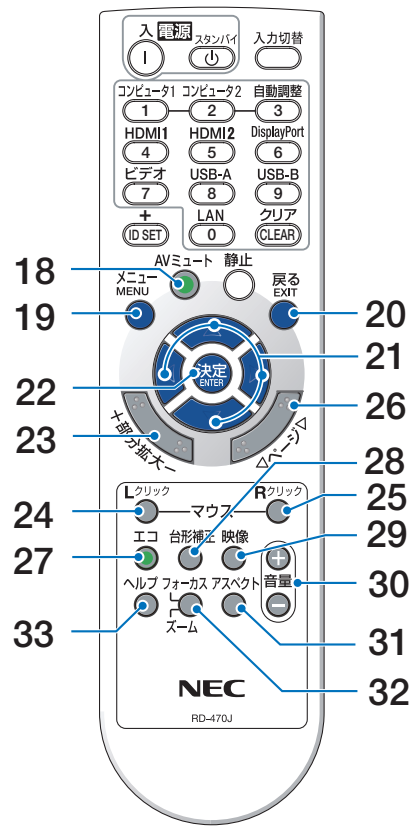
16 数字 (0) ~ (9) 入力ボタン
 複数プロジェクターを本機のリモコンで個別
 に操作する場合のID 入力に使用します (コ
 ントロールID 設定)。
 (CLEAR (クリア)) ボタンはコントロールID
 設定を解除する場合に使用します。
 (▶99 ページ)

17 (静止) ボタン
 表示されている画像が静止画となります。も
 う一度押すと戻ります。(▶47 ページ)

1 リモコン送信部
 赤外線によるリモコン信号が送信されます。
 本体のリモコン受光部に向けて操作してくだ
 さい。

2 電源(入) ボタン
 スタンバイ時 (電源インジケータが赤色*に
 点灯) に本機の電源を入れます。(※スタン
 バイモードが「ノーマル」に設定されている
 とき)

3 電源(スタンバイ) ボタン
 一度押して電源オフ確認メッセージを表示し
 てもう一度 (スタンバイ) (または (決定)) ボタ
 ンを押すと、本機の電源が切れます (スタン
 バイ状態)。



18 (AVミュート) ボタン
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(▶47 ページ)

19 (メニュー) ボタン
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

20 (戻る) ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

21 (◀▶▶▶) ボタン
オンスクリーンメニュー操作や(部分拡大 +/-) ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使用します。(▶48, 74 ページ)

22 (決定) ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

23 (部分拡大 +/-) ボタン
画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします。(▶48 ページ)

24 (マウス L クリック) ボタン
(本機では使用できません)

25 (マウス R クリック) ボタン
(本機では使用できません)

26 (ページ ▽/△) ボタン
ビューワのサムネイル画面の画面切り替えに使用します。(▶69 ページ)

27 (エコ) ボタン
エコモード選択画面を表示します。(▶49 ページ)

28 (台形補正) ボタン
台形補正調整画面を表示します。(▶41, 52 ページ)

29 (映像) ボタン
ボタンを押すごとに、オンスクリーンメニューの調整メニューの映像にあるプリセット→コントラスト→明るさ→シャープネス→カラー→色相の映像調整項目を順に表示します。(▶83, 85 ページ)

30 (音量 +/-) ボタン
内蔵スピーカの音量を調整します。音声出力端子の音量も調整します。

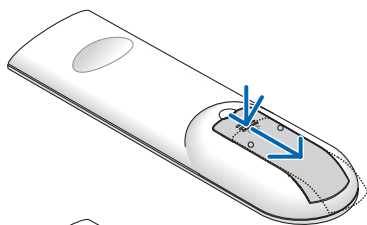
31 (アスペクト) ボタン
アスペクト調整項目を表示します。(▶88 ページ)

32 (フォーカス/ズーム) ボタン
デジタルズーム調整画面を表示します。(▶39 ページ)

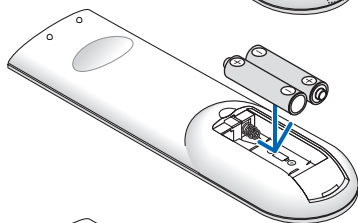
33 (ヘルプ) ボタン
情報画面を表示します。(▶108 ページ)

●電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたを押し
たまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

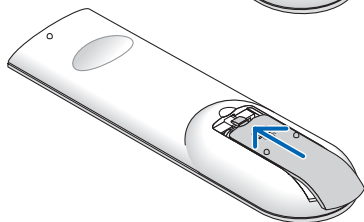


2 ケース内部に表示している+、-の向き
に合わせて単4乾電池をセットする。



3 もとどおりにふたをする。

ふたの後部には電池ケースに固定するツメがあります
ので、スライドさせてしめてください。



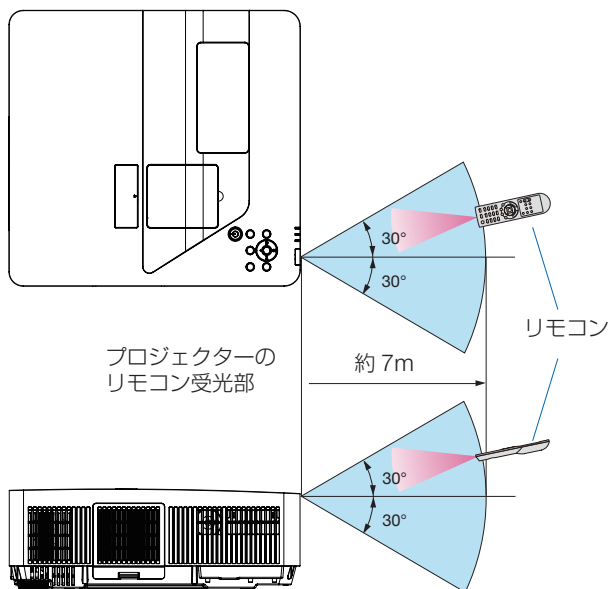
注意

● 乾電池を交換するときは、2本とも同じ
種類の単4乾電池をお買い求めください。

●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体前面のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

【受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

●リモコンの使用上の注意

- ・本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があったりして信号がさえぎられていると動作しません。
- ・本体から約 7m 以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ・リモコンを落としたり、誤った取り扱いをしないでください。
- ・リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- ・長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を 2 本とも取り出してください。

2. 映像を投写する（基本操作）

2-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

コンピューターと接続する／電源コードを接続する (▶次ページ)



ステップ 2

本機の電源を入れる (▶29 ページ)



ステップ 3

入力信号を選択する (▶31 ページ)



ステップ 4

投写画面の位置と大きさを調整する (▶34 ページ)
台形歪みを調整する (▶41 ページ)



ステップ 5

映像や音声を調整する
・画質を調整する場合 (▶43 ページ)
・本機の音量を調整する場合 (▶44 ページ)



ステップ 6

プレゼンテーションを行う



ステップ 7

本機の電源を切る (▶45 ページ)



ステップ 8

移動するときは (▶46 ページ)

2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する

1. コンピューターと接続する

ここでは、コンピューターとの基本的な接続を説明します。他の接続は「6. 機器と接続する」[110ページ](#)をご覧ください。

コンピューター側のディスプレイ出力端子(ミニ D-Sub15 ピン)と、本機のコンピューター映像入力端子を、添付のコンピューターケーブルで接続しコネクタのツマミを回して固定します。

2. 電源コードを接続する

本機の AC IN 端子と、AC100V アース付きのコンセント（アース工事済み）を、添付の電源コードで接続します。



本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されているアースつき 2 芯プラグ機器です。

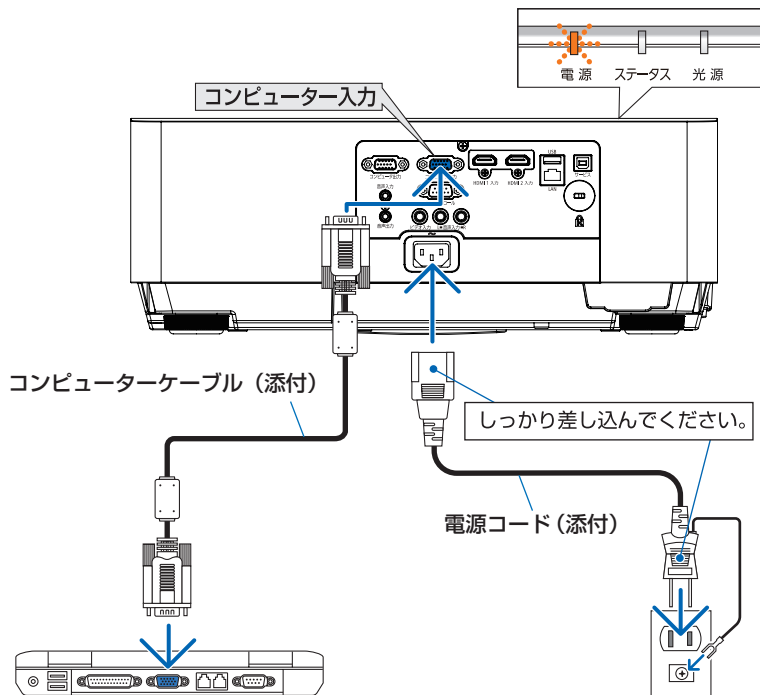
機器の安全確保のため、電源コードのアースリード線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。

アース工事は専門業者にご依頼ください。

アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースをはずす場合は、必ず電源コンセントから抜いてから行ってください。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケータがオレンジ色で点滅します。本機
の操作や接続機器からの通信がないと、しばらくしてスタンバイ状態に移行します。
(スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)

[▶ 145ページ](#)



注意

電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

2-3. 本機の電源を入れる

1 ① ボタンを押す。

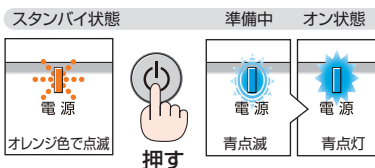
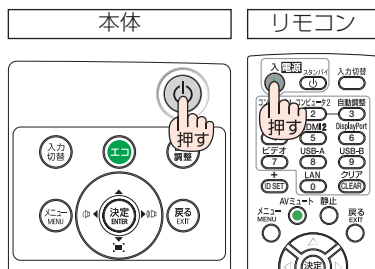
しばらくして電源インジケータが点滅し始めます。その後、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、電源 (入) ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、無信号ガイドダンスが表示されます(工場出荷時のメニュー設定時)。
- 映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のフォーカスを合わせてください。(▶ 37 ページ)



- 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。(▶ 57 ページ)
- ① ボタンや(メニュー) ボタンなどを押すとビープ音を出します。ビープ音を出したくないときは、オンスクリーンメニューで「オフ」に設定できます。(▶ 102 ページ)

- ご購入後はじめて電源を入れたときはLANGUAGE 画面が表示されます。次ページのように操作して「日本語」を選択してください。



2-4. 入力信号を選択する

投写する信号を自動検出する

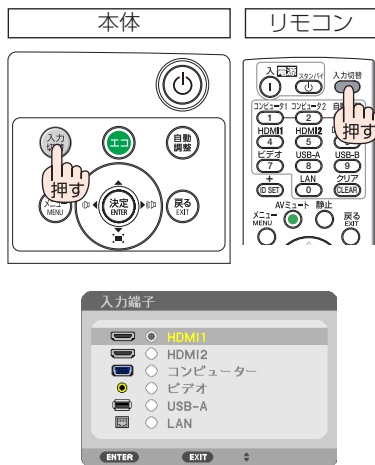
- 1 本機に接続しているコンピューターやDVDプレーヤーなどの電源を入れる。

DVDプレーヤーなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

- 2 (入力切替) ボタンを押す。

入力端子画面が表示されます。

- HDMI1 → HDMI2 → コンピューター → ビデオ → USB-A → LAN → HDMI1 ... の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。
- 入力端子画面が表示されているときに、(入力切替) ボタンを数回押して、投写したい入力信号を選択することもできます。



2

映像を投写する (基本操作)

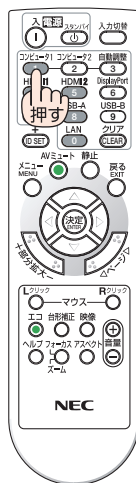
リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

- 1 本機に接続しているコンピューターやDVDプレーヤーなどの電源を入れる。

DVDプレーヤーなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

- 2 リモコンの (コンピューター1)、(HDMI 1)、(HDMI 2)、(ビデオ)、(LAN)、(USB-A) ボタンを押す。

(コンピューター1) ボタンはコンピューター映像入力端子に切り替わります。



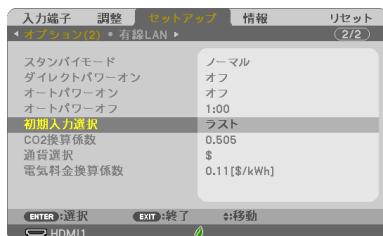
自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

1 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「オプション (2)」→「初期入力選択」を選択する。

選択画面が表示されます。

- ・ オンスクリーンメニューの操作については、「5-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。 (74 ページ)



2 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、(決定) ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。



3 (戻る) ボタンを 3 回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

4 本機の電源を入れなおす。

手順2で設定した信号が自動的に投写されます。

- 本機とコンピューターをコンピューターケーブルで接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、コンピューターから出されたコンピューター信号を感知して自動的に本機の電源を入れてコンピューター画面を投写することができます（オートパワーオン）。(104 ページ)
- 信号が入力されていないときは、無信号ガイダンスが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
DVD プレーヤーなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピューターの画面がうまく投写できない場合
ノートブックコンピューターの外部出力（モニター出力）設定を外部に切り替えてください。
 - ・ Windows のノートブックコンピューターの場合は、**[Fn]** キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F3]	NEC
[Fn] + [F8]	DELL

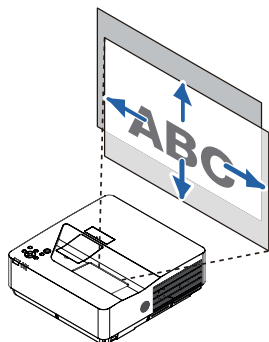
※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- ・ Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
- ・ それでも投写しない場合は **(入力切替)** ボタンをもう一度押してください。
(31 ページ)

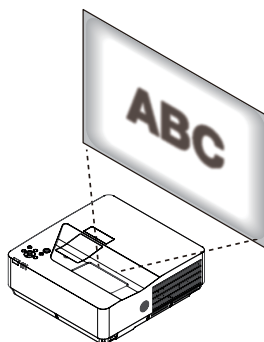
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやチルトフット、ズーム、フォーカスなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

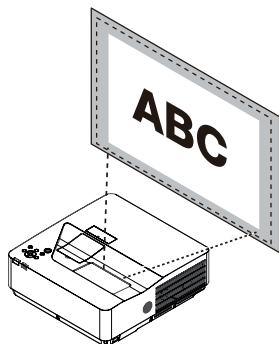
投写画面の上下・左右位置の調整
【レンズシフト】 (🔵 次ページ)



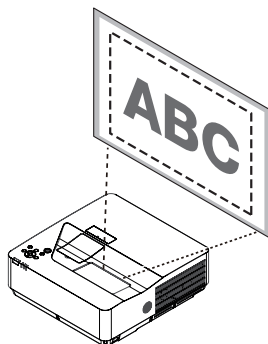
投写画面のフォーカス調整
【フォーカスリング】 (🔵 37 ページ)



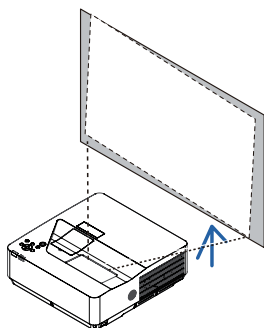
投写画面の大きさの調整【ズームレバー】
(🔵 38 ページ)



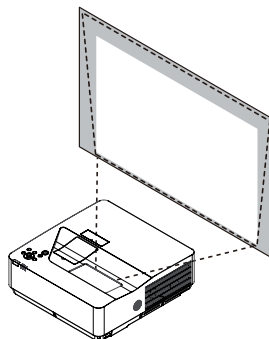
投写画面の大きさの微調整
【デジタルズーム機能】 (🔵 39 ページ)



左右の傾き微調整【チルトフット】
(🔵 40 ページ)



投写画面の台形歪み補正【台形補正】
(🔵 41 ページ)



※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

投写画面の位置の調整（レンズシフト）



注意

調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、目を痛める原因となります。

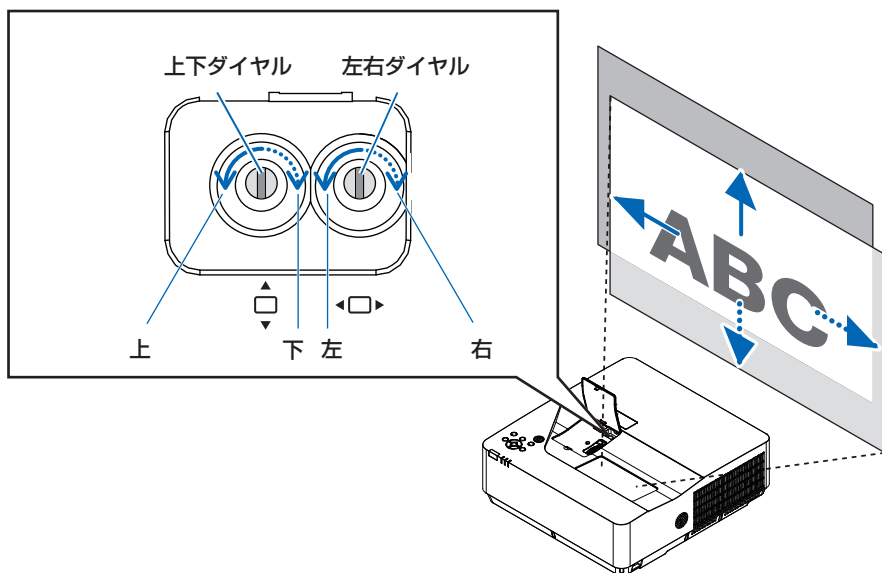
1 レンズシフトダイヤルを左右に回す。

上下ダイヤル

左右へ回して投写位置の上下方向を調整します。

左右ダイヤル

左右へ回して投写位置の左右方向を調整します。



2

映像を投写する（基本操作）

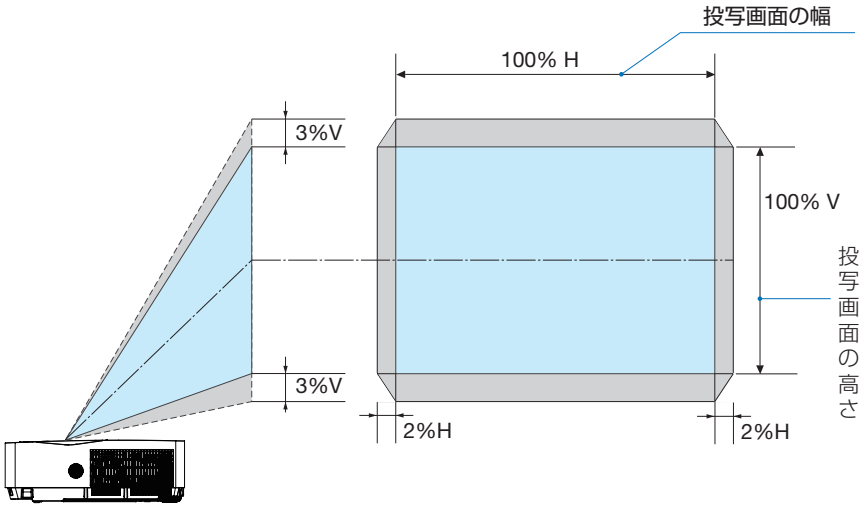


注意

- ダイヤルは1回転以上回すことができます。ただし、次ページの **参考** に掲載の範囲を超えて投写位置を移動することはできません。また、ダイヤル機構が破損しますのでダイヤルを無理に回さないでください。
- レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。
- 上下方向のレンズシフトは画面が上がる方向で調整を終えてください。画面が下がる方向で調整を終えた場合、ズームやフォーカス調整を行う際や大きな震動が加わった際に画面が少し下がる場合があります。
- レンズ位置を調整中、ダイヤルが動かなくなった場合、調整範囲を超えた可能性があります。ダイヤル機構が破損しますので無理に回さないでください。画角に欠落が出る場合、調整範囲を超えましたので、逆方向に回してください。

参考

- 下図はレンズシフト調整範囲（投写方式：デスク／フロント）を示しています。
- 天吊り／フロント投写のレンズシフト調整範囲は [126 ページ](#)をご覧ください。

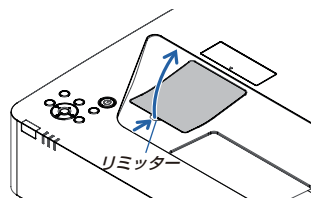


記号の意味：Vは垂直（投写画面の高さ）、Hは水平（投写画面の幅）を表わし、
レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表わしています。

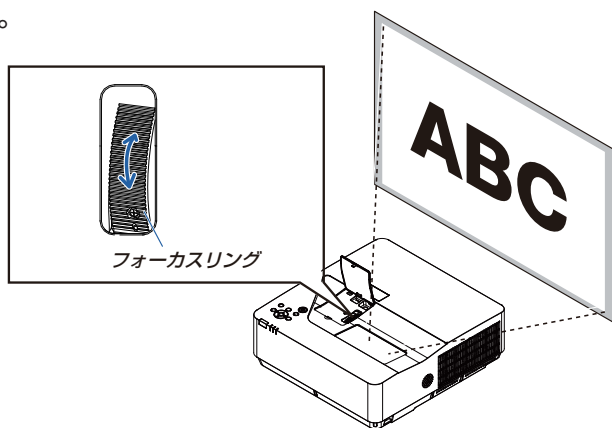
投写画面のフォーカス合わせ（フォーカスリング）

1 カバーを開けます。

矢印方向にリミッターを押してカバーを開けます。
・カバーは外せません。

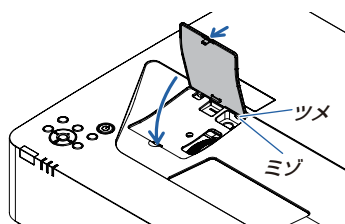


2 フォーカスリングを上下に回して、最適な効果にします。



■ カバーを閉めます。

ツメを本体のミゾに合わせてカバーを閉めます。

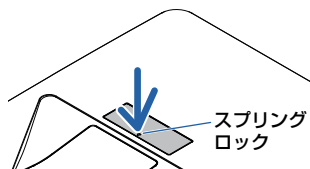


- フォーカス調整は、「テストパターン」を投写した状態で30分以上経過したのちに行うことをおすすめします。
「テストパターン」の表示については、99ページをご覧ください。

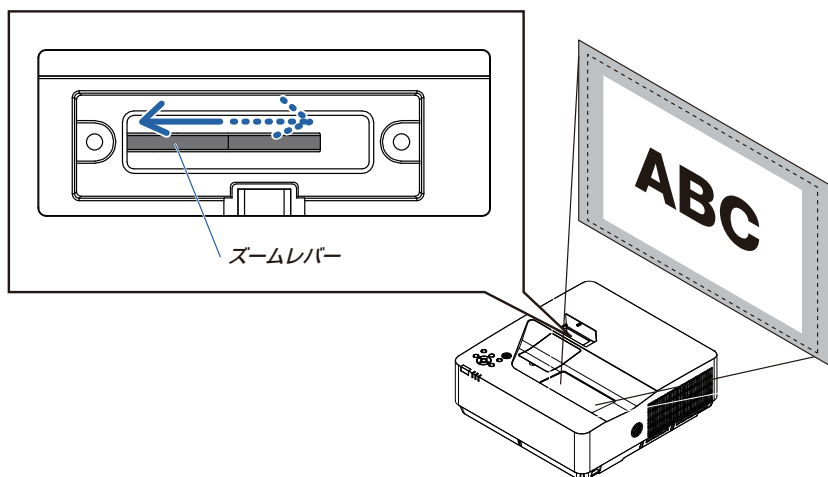
投写画面の大きさの調整（ズームレバー）

1 カバーを開けます。

矢印方向にスプリングロックを押して
カバーを開けます。
・カバーが外せません。

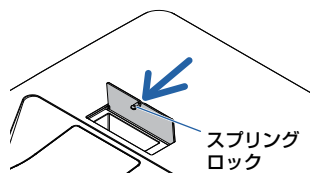


2 ズームレバーを左右に回して、最適な大きさにします。



3 カバーを閉めます。

矢印方向にスプリングロックを押して、
「カチッ」と音がするまでカバーを閉めます。



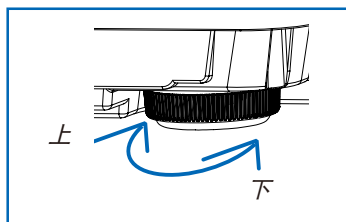
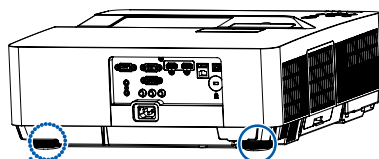
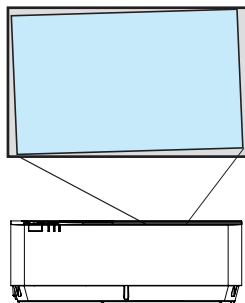
投写画面の傾き(左右)微調整(チルトフット)

1 チルトフットを回して左右の傾きを調整する。

チルトフットは左右にあります。

上げたい方のチルトフットを回します。

台形歪みが出ているときは、本体の(▼)ボタン(リモコンは(台形補正)ボタン)を使って歪みを調整してください。(41 ページ)



注意

- チルトフットは 18mm 以上伸ばさないでください。18mm を超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、本体から外れます。
- チルトフットは、本機の角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）

本機とスクリーンを正しく設置していないと投写画面が台形状に歪みます。この歪みを調整するのが台形補正です。

ここではスクリーンに向かって斜め横から投写した場合の台形歪みを調整する手順を説明しています。

●台形補正調整の前に

台形補正には、台形補正 水平、台形補正 垂直、ピンクッション補正、4点補正があります。

すでに、4点補正またはピンクッション補正を調整しているときは、台形補正 水平と台形補正 垂直がグレー表示になり選択できません。

このときは、リセット操作をしてから行ってください。

1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の （台形補正）ボタンを押す。

- ・リモコンは(台形補正)ボタンを押します。
投写画面に台形補正画面が表示されます。

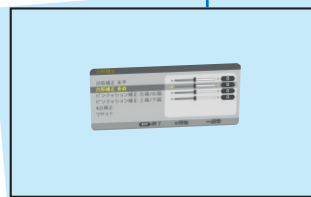


- ・ピンクッション補正については [54 ページ](#)をご覧ください。
- ・4点補正については [52 ページ](#)をご覧ください。
- ・リセットについては [次ページ](#)をご覧ください。

2 ボタンを押して「台形補正 垂直」にカーソルを合わせ、 ボタンを押して左右の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み（垂直）を調整します。

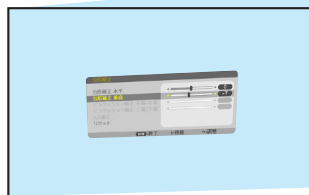
投写画面の外枠
スクリーンの外枠



3 スクリーンと投写画面の左辺または右辺を合わせる。

- ・投写画面の左辺と右辺を比べ、長さが短いほうの辺を合わせます。
- ・右の図のような台形歪みの場合は、左辺を合わせます。

(左辺を合わせる)



- 4** ▲ ボタンを押して「台形補正 水平」にカーソルを合わせ、◀▶ ボタンを押して上下の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み（水平）を調整します。

- 右の図のように左辺を合わせた場合は、▶ ボタンを押します。



- 5** 手順**2**～**4**を繰り返し、台形歪みを調整する。

- 6** 台形歪みの調整が終わったら、戻る ボタンを押す。

台形補正画面が消えます。

- 再び台形歪みを調整する場合は、▼（台形補正） ボタンを押して台形補正画面を表示し、上の手順**1**～**6**を行ってください。



注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても台形補正の調整値を保持しています。
- 台形補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

台形補正值を初期値に戻すには

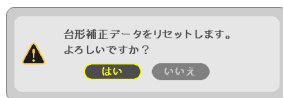
- 1** 台形補正画面を表示させ、▼ ボタンを押して「リセット」にカーソルを合わせ、決定 ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



- 2** ▶▶ ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、決定 ボタンを押します。

確認画面が消えリセットされます。



注意

- リセットを行うと台形補正画面の項目、全ての調整値が初期化されます。

参考

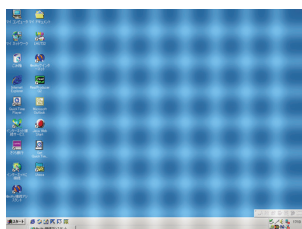
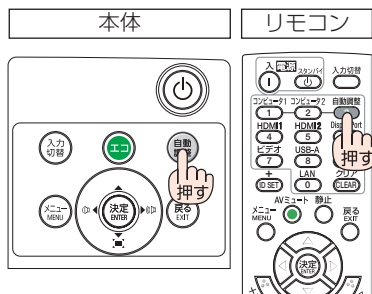
- 台形補正は、オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→台形補正からも行えます。(91 ページ)

2-7. コンピューターの映像を自動調整する

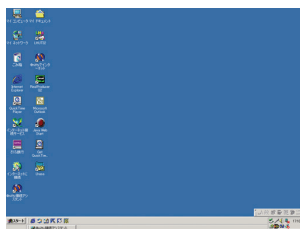
コンピューターの信号を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

1 自動調整 ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数、位相、水平、垂直で画面の調整を行ってください。▶ [86、87 ページ](#)
- コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、[143 ページ](#)を参照してください。

2-8. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカーの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

本体の操作ボタンで調整する

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、(◀/▶)ボタンを押す。

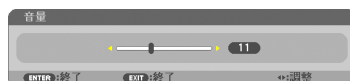
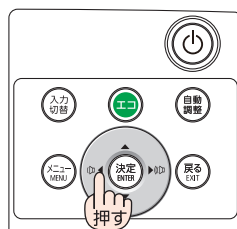
音量調整バーが表示されます。

◀側…音量が大きくなります。

▶側…音量が小さくなります。

注意

- オンスクリーンメニューが表示されているとき、(部分拡大+)ボタンで画面を拡大しているとき、およびビューワー表示中は、(◀/▶)ボタンを使った音量調整はできません。



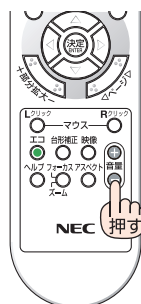
リモコンを使って調整する

- 1 リモコンの(音量 +/-)ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

+側…音量が大きくなります。

-側…音量が小さくなります。



参考

- ビープ音の音量は調整できません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション(1)のビープ音を「オフ」にしてください。

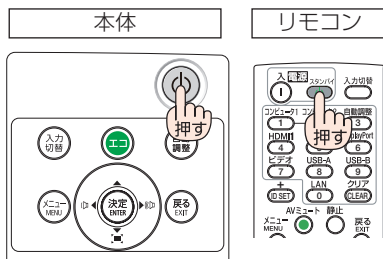
(▶ 102 ページ)

2-9. 本機の電源を切る

1 電源ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- 電源オフ確認メッセージには、今回のCO₂削減量 (●50 ページ) を表示します。
- リモコンで操作する場合は、電源 (スタンバイ) ボタンを押します。



電源をオフします。
よろしいですか？

はい いいえ

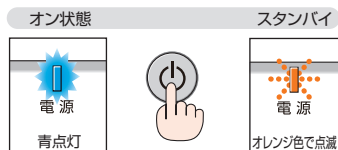
今回のCO₂削減量
0.000[g-CO₂]

2 決定ボタンを押す。

光源が消灯し、電源が切れます (スリープ状態)。本機の操作や接続機器からの通信がないと、しばらくしてスタンバイ状態に移行します。

(スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき) (●145 ページ)

- 決定ボタンの代わりに、電源ボタンまたは電源 (スタンバイ) ボタンを押しても、電源が切れます。
- 電源を切らない場合は、左右ボタンで「いいえ」を選んで決定ボタンを押します。



2

映像を投写する (基本操作)



注意

電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。



注意

- 電源インジケータが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。
- 電源を切ったあとのファン回転中に電源コードを抜かないでください。故障の原因となります。

2-10. 移動するときは

1 電源コードを取り外す。

2 各種信号ケーブルを取り外す。

- ・ 本機に USB メモリを挿している場合は取り外してください。



注意

本機の電源を切ったあとすぐに収納すると、本体がしばらく高温になります。取り扱いに注意してください。

3. 便利な機能

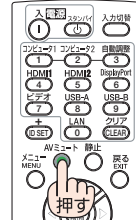
3-1. 映像と音声を消去する (AV ミュート)

1 リモコンの (AVミュート) ボタンを押す。

投写されている映像と、内蔵スピーカーおよび音声出力端子から出力されている音声が一時的に消えます。

また、AV ミュートにしてしばらくすると、節電機能が働き、光源電力が低下します。

- もう一度 (AVミュート) ボタンを押すと、映像と音声が出ます。



注意

- ビープ音は (AVミュート) ボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション (1) のビープ音を「オフ」にしてください。(▶ 102 ページ)
- 節電機能が働いた直後に (AVミュート) ボタンを押すと、すぐに明るさが戻らない場合があります。

参考

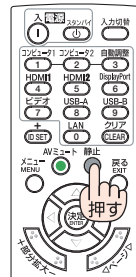
- 映像は消えますが、メニュー表示は消えません。

3-2. 動画を静止画にする (静止)

1 リモコンの (静止) ボタンを押す。

DVD プレーヤーの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度 (静止) ボタンを押すと、動画に戻ります。



注意

- 入力端子選択が USB-A のときは使用できません。

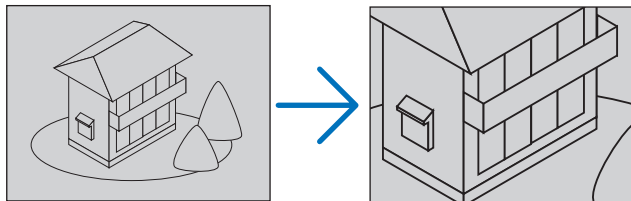
参考

- (静止) ボタンを押すと、押すときに投写されていた映像を本機のメモリーに保存し、メモリー内の映像 (静止画) を投写します。静止画表示中、DVD プレーヤーなどの映像再生は先に進行しています。

3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

1 リモコンの (部分拡大+) ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。
・最大 4 倍まで拡大できます。

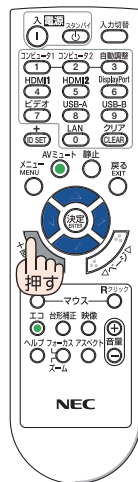


2 ▼▲◀▶ ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。

3 (部分拡大-) ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。
・もとのサイズに戻ると、それ以上押しても縮小されません。



注意

- 信号によっては、4 倍まで拡大できない場合があります。

参考

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- 映像を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されます。

3-4. エコモードと省エネ効果

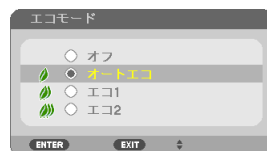
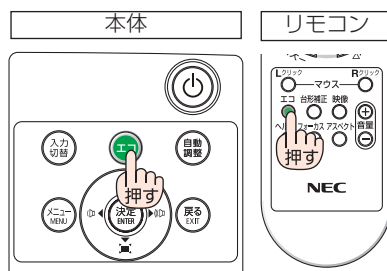
エコモードを設定すると、本機の CO₂ 排出量を削減することができます。エコモードは主に光源の輝度を下げて消費電力を削減したり、光源使用時間(目安)*を延ばしたりします。

エコモードの設定 (メニュー下部のアイコン表示)	光源の輝度	光源インジケータ の状態
オフ (表示なし)	ライト輝度 (明るさ) が 100% になります。明るい画面になります。	
オートエコ (🌿)	映像の明るさを判定してライトの輝度を自動で「オフ」または「エコ1」に切り替えます。	
エコ1 (🌿🌿)	ライト輝度 (明るさ) が約80%になります。冷却ファンの回転数も対応して下がります。消費電力が下がります。	
エコ2 (🌿🌿🌿)	ライト輝度 (明るさ) が約50%になります。冷却ファンの回転数も対応して下がります。消費電力がさらに下がります。	


光源の輝度 (明るさ) が下がるのと連動し、冷却ファンの回転数も下がります。

エコモードに切り替える

- 1** **エコ** ボタンを 1 回押す。
エコモード選択画面が表示されます。
- 2** さらに **エコ** ボタンを押して選択する。
エコ ボタンを押すごとに オートエコ→エコ1→エコ2→オフに切り替わり、エコモード選択画面が消えて、選択したモードに切り替わります。



- オートエコを設定すると、映像によっては明るい階調が見えにくくなる場合があります。

- オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→エコモードでも切り替えることができます。
- 光源使用時間については、オンスクリーンメニューの情報→使用時間で確認できます。(▶ 108 ページ)
- 電源を入れた直後の約 10 秒間は、常にエコ1 モードになります。また、この間はエコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。
- 本機に入力信号がない状態（無信号ガイダンス、ブルーバック、ブラックバック、またはロゴ表示のとき）のまま約 1 分経過すると、自動的にエコモードに切り替わります。その後、本機が入力信号を感知するとエコモードはもとの設定状態に戻ります。
- 室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的に光源の輝度（明るさ）を下げることがあります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。
強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、メニュー画面の右下に  アイコンが表示されます。
室温を下げたり、ファンモード (▶ 100 ページ) を「高速」に設定したりすることにより、本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、エコモードはもとの設定状態に戻ります。
強制エコモード中は、エコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。

省エネ効果を見る（カーボンメーター）

本機のエコモードを「オン」に設定している期間の省エネ効果を CO₂ 排出削減量で表示します。この表示を「カーボンメーター」と呼びます。

表示には「総 CO₂ 削減量」と「今回の CO₂ 削減量」があります。

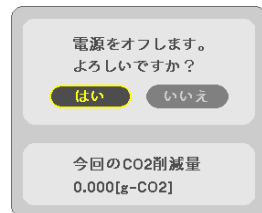
「総 CO₂ 削減量」は本機の工場出荷時から現在までの CO₂ 削減量 (kg) を累積し、メニューの情報→使用時間に表示します。(▶ 108 ページ)

入力端子	調整	セットアップ	情報	リセット
▶ 使用時間	▶ 信号(1)	▶ 信号(2)	▶ 有線LAN	(T/2)
ライト使用時間	00000[H](Y)	00000[H](B)		
フィルター使用時間	00000[H]			
総CO ₂ 削減量	0.000[kg-CO ₂]			
総電気料金削減量	0.00[\$]			

EXIT 終了 ⇄ 移動 ⇄⇄ 移動

HDMI1

「今回の CO₂ 削減量」は電源を入れてエコモードに切り替わってから電源を切るまでの CO₂ 削減量 (g) を、電源オフ時に表示される電源オフ確認メッセージ内に表示します。



参考

- CO₂ 排出削減量は、エコモードを「オフ」に設定して使用したときの消費電力量（推定）から、実際に使用したときの消費電力量（推定）を差し引き、CO₂ 排出係数を掛けて算出*します。
エコモードを設定して使用したり AV ミュートを使用すると、CO₂ 排出削減量の値は増加します。
* CO₂ 削減量は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO₂ Emissions from Fuel Combustion (2008 Edition)”に基づいて算出しています。
- 「総 CO₂ 削減量」は 15 分単位で記録された値をもとにしています。
- スタンバイモードなどエコモードの設定に左右されない消費電力は計算から除外します。

3-5. 投写画面の歪みを調整する (4点補正 / ピンクッション補正)


台形補正の4点補正画面やピンクッション補正画面を表示して、投写画面の歪みを調整します。

●調整の前に

台形補正には、台形補正 水平、台形補正 垂直、ピンクッション補正、4点補正があります。すでに他の台形補正を行っているときは、4点補正とピンクッション補正がグレー表示になり選択できません。



このときは、リセット操作をしてから行ってください。

4点補正を行う

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の  (台形補正) ボタンを押す。

・リモコンは(台形補正)ボタンを押します。
投写画面に台形補正画面が表示されます。



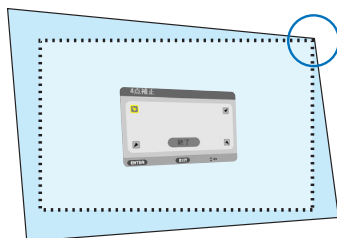
- 2  ボタンを押して [4点補正] にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。

4点補正画面が表示されます。

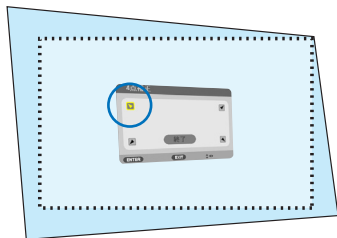


- 3 スクリーンがすべて含まれるように、投写画面の範囲を調整する。

- 4 スクリーンと投写画面の角を合わせる (図は右上の角)。

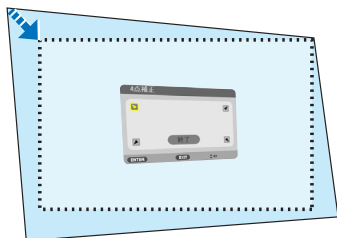


- 5 ▼▲◀▶ ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ（図は左上の▼）。



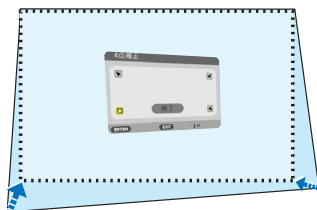
- 6 (決定) ボタンを押す。

- 7 ▼▲◀▶ ボタンを押して、投写画面の角がスクリーンの角に近付くように動かす。



- 8 (決定) ボタンを押す。

- 9 ▼▲◀▶ ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。



- 10 手順7～10を繰り返し、投写画面の歪みを調整する。



- 11 投写画面の歪みの調整が終わったら、4点補正画面で「終了」を選んで、(決定) ボタンを押す。
4点補正の調整終了画面が表示されます。


- 12 ◀▶ ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。
4点補正の調整が確定されます。
・「取消」を選択して(決定) ボタンを押すと、4点補正画面に戻ります。
(戻る) ボタンを押しても4点補正画面に戻りません。



ピンクッション補正を行う


ピンクッション補正は「ピンクッション補正 左端/右端」または「ピンクッション補正 上端/下端」のどちらか1つが調整できます。

プロジェクターはスクリーン面に対して真正面にし、台形歪みがでないように設置してください。(📍34 ページ)


- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の  (台形補正) ボタンを押す。


・リモコンは(台形補正)ボタンを押します。
投写画面に台形補正画面が表示されます。



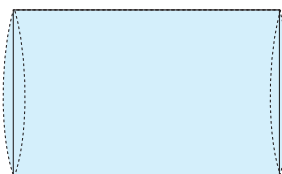
- 2  ボタンを押して、「ピンクッション補正 左端/右端」または「ピンクッション補正 上端/下端」にカーソルを合わせる。



- 3  ボタンを押して、投写画面のわん曲歪みを調整する。

- 4 調整が終わったら、 ボタンを押す。

全般画面に戻ります。



※ピンクッション左端/右端調整例

注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えてもピンクッションの補正の調整値を保持しています。
- 台形補正、ピンクッション補正および4点補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

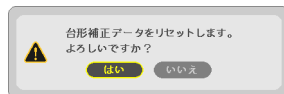
4点補正值、ピンクッション補正值を初期値に戻すには

1 4点補正画面を表示させ、**▼**ボタンを押して「リセット」にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

2 **◀▶**ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押します。
確認画面が消えクリアされます。



- リセットを行うと台形補正画面の項目、全ての調整値が初期化されます。



3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する

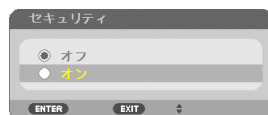
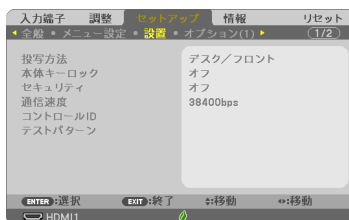
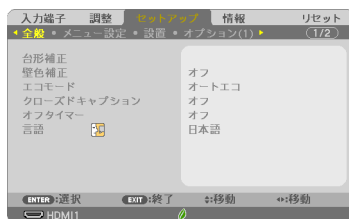
セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

注意 ● セキュリティは、リセットでは解除されません。

セキュリティを有効にする

- 1** **メニュー** ボタンを押す。
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **▶** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
「全般」にカーソルが移動します。
- 3** **▶** ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。
- 4** **▼** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5** **▼** ボタンで「オン」を選択し、**決定** ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6** **▼▲▶** ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、**決定** ボタンを押す。
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティキーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。



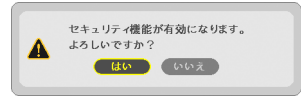


- セキュリティキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティキーワードの再入力画面が表示されます。



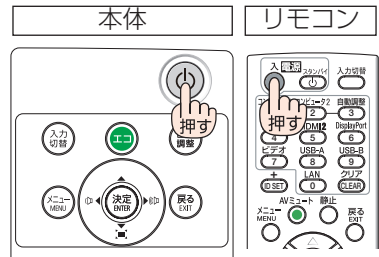
- 7** **6** で設定したセキュリティキーワードを再入力し、**(決定)** ボタンを押す。
確認画面が表示されます。



- 8** **(戻る)** ボタンで「はい」を選択し、**(決定)** ボタンを押す。
セキュリティが有効になります。

セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

- 1** **(電源)** ボタンを押す。
・リモコンで操作する場合は、電源**(入)** ボタンを押します。
本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。



- 2** **(メニュー)** ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



- 3** セキュリティキーワードを入力し、**(決定)** ボタンを押す。
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。



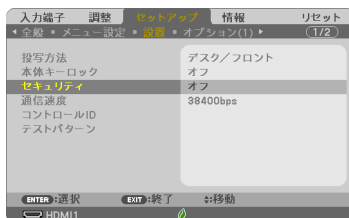
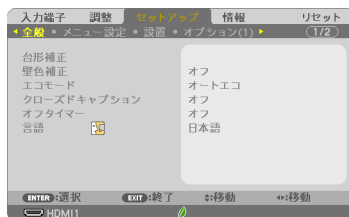
- セキュリティロックの解除状態は、電源コードを抜くまで保持されます。

3

便利な機能

セキュリティを無効にする

- 1** **メニュー** ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
- 2** **▶** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
「全般」にカーソルが移動します。
- 3** **▶** ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。
- 4** **▼** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
セキュリティ設定画面に変わります。



- 5** **▲** ボタンで「オフ」を選択し、**決定** ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



- 6** セキュリティキーワードを入力し、**決定** ボタンを押す。
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティが無効になります。



参考

- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター ([☎裏表紙](#)) にご連絡ください。

3-7. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作

概要

HTTP サーバー機能では次の設定や操作が行えます。

- (1) 本機をネットワーク（有線 LAN）に接続するための設定を行います（NETWORK SETTINGS）。
有線 LAN の設定をする場合は、本機とコンピューターを市販の LAN ケーブルで接続してください。（[118 ページ](#)）
- (2) メール通知の設定を行います（ALERT MAIL）。
本機をネットワーク（有線 LAN）に接続しているときに、光源使用時間や各種エラーを、設定したメールアドレスへ通知します。
- (3) 本機の操作を行います。
本機の電源のオン／オフ、入力端子の切り替え、音量調整、映像調整などが行えます。
- (4) PJLink PASSWORD や AMX BEACON などの設定を行います。

HTTP サーバー機能へアクセスするには

本機とネットワークで接続されたコンピューターでウェブブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ `http://〈本機の IP アドレス〉/index.html` と指定してください。

参考

- 工場出荷時の IP アドレス設定は、DHCP が「オン」になっています。

注意

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl +F5 キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

使用前の準備

ウェブブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してください。(118 ページ)

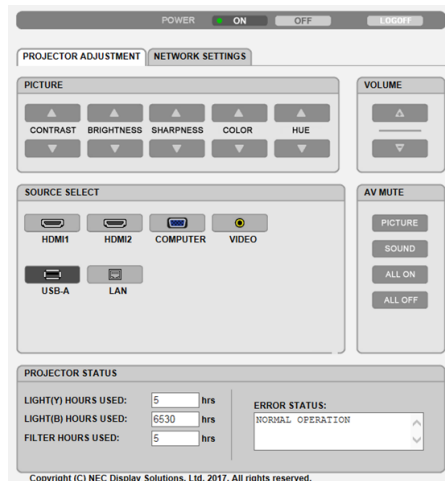
プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことを推奨します。

ウェブブラウザによる操作のアドレスの扱い






ウェブブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピューターの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

- (例 1) 本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
`http://pj.nec.co.jp/index.html` と指定します。
- (例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
`http://192.168.73.1/index.html` と指定します。

プロジェクター調整



次ページに続く

POWER	本機の電源をオン/オフします。 ON 電源をオンにします。 OFF 電源をオフにします。
VOLUME	本機の音量をコントロールします。 ▲ 音量調整値をアップします。 ▼ 音量調整値をダウンします。
AV-MUTE	本機の MUTE をコントロールします。 PICTURE  映像をミュート（一時的に消去）します。 PICTURE  映像ミュートを解除します。 SOUND  音声をミュート（一時的に消去）します。 SOUND  音声ミュートを解除します。 ALL ON 映像、音声、メニュー表示をすべてミュート（一時的に消去）します。 ALL OFF 映像、音声、メニュー表示のミュートをすべて解除します。
PICTURE	本機の映像調整をコントロールします。 CONTRAST ▲ コントラストの調整値をアップします。 CONTRAST ▼ コントラストの調整値をダウンします。 BRIGHTNESS ▲ 明るさの調整値をアップします。 BRIGHTNESS ▼ 明るさの調整値をダウンします。 SHARPNESS ▲ シャープネスの調整値をアップします。 SHARPNESS ▼ シャープネスの調整値をダウンします。 COLOR ▲ カラーの調整値をアップします。 COLOR ▼ カラーの調整値をダウンします。 HUE ▲ 色相の調整値をアップします。 HUE ▼ 色相の調整値をダウンします。 ※ 本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「5-4 調整」の「コントラスト/明るさ/シャープネス/カラー/色相」( 85 ページ) をご覧ください。
SOURCE SELECT	本機の入力端子を切り替えます。 HDMI1 HDMI1 入力端子に切り替えます。 HDMI2 HDMI2 入力端子に切り替えます。 COMPUTER コンピューター映像入力端子に切り替えます。 VIDEO ビデオ映像入力端子に切り替えます。 USB-A 本機にセットした USB メモリーのデータ表示に切り替えます。 LAN ネットワークから送られてくるデータ表示に切り替えます。
PROJECTOR STATUS	本機の状態を表示します。 LIGHT(Y) LIFE REMAINING 光源(黄色)使用時間を表示します。 LIGHT(B) HOURS USED 光源(青色)使用時間を表示します。 FILTER HOURS USED フィルターの使用時間を表示します。 ERROR STATUS 本機内部のエラー発生状況を表示します。
LOG OFF	ログオフして認証画面（ログオン画面）に戻ります。

ネットワーク設定

http://〈本機の IP アドレス〉/index.html

PROJECTOR ADJUSTMENT NETWORK SETTINGS

SETTINGS NAME ALERT MAIL NETWORK SERVICE INFORMATION

PIN

PIN TYPE : ONE-TIME ▼

PIN CODE : 3301

UTILIZE PIN CODE AS PASSWORD FOR CONNECTING WITH MultiPresenter.

APPLY

WIRED LAN

ENABLE

DISABLE

SETTING

APPLY

Copyright (C) NEC Display Solutions, Ltd. 2017-2019. All rights reserved.

● SETTINGS


PIN

PIN TYPE	<p>PIN コードの種類を設定します。</p> <table border="1"> <tr> <td>ONE-TIME</td> <td>PIN コードを自動で生成します。 PIN コードはプロジェクターの電源を入れた時に生成され、電源を切るまで保持されます。</td> </tr> <tr> <td>STATIC</td> <td>任意の PIN コードを設定します。</td> </tr> </table>	ONE-TIME	PIN コードを自動で生成します。 PIN コードはプロジェクターの電源を入れた時に生成され、電源を切るまで保持されます。	STATIC	任意の PIN コードを設定します。
ONE-TIME	PIN コードを自動で生成します。 PIN コードはプロジェクターの電源を入れた時に生成され、電源を切るまで保持されます。				
STATIC	任意の PIN コードを設定します。				
PIN CODE	<p>PIN TYPE が ONE-TIME の場合は、自動生成された PIN コードを表示します。(入力不可)</p> <p>PIN TYPE が STATIC の場合は、任意の 4 桁の数字を入力して PIN コードを設定します。</p>				
UTILIZE PIN CODE AS PASSWORD FOR CONNECTING WITH MultiPresenter.	<p>MultiPresenter アプリケーションと接続した時に、PIN コードをパスワードとして使用するかしないかを選択します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …PIN コードをパスワードとして使用します。</p> <p><input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……PIN コードをパスワードとして使用しません。</p>				
APPLY	PIN の設定を反映します。				

WIRED LAN

ENABLE	有線 LAN を有効にします。
DISABLE	有線 LAN を無効にします。
SETTING	有線 LAN に必要な設定を行います。
DHCP ON	DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。
DHCP OFF	ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。
IP ADDRESS	本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
SUBNET MASK	本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
GATEWAY	本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。
AUTO DNS ON	DHCP サーバーによって、本機を接続する DNS サーバーの IP アドレスを自動的に設定します。
AUTO DNS OFF	本機を接続するネットワークの DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
APPLY	「SETTING」の設定情報で有線 LAN に接続します。

● NAME

PROJECTOR NAME	<p>本機を含む複数のプロジェクターが LAN に接続されている場合、コンピューター側でプロジェクターを識別するのに使います。英数字および記号が使用でき、最大 16 文字まで入力できます。</p> <p> ● プロジェクター名は、リセットを行っても変更されません。</p> <p>.....</p>
HOST NAME	本機のホスト名を設定します。英数字および記号が使用でき、最大 16 文字まで入力できます。

● ALERT MAIL

ALERT MAIL	<p>本機を LAN に接続して使用する場合、本機の光源使用時間や各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピューターなどへ通知します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。</p> <p><input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……メール通知機能は停止します。</p> <p>【本機から送信される Eメールの例】</p> <table border="1" data-bbox="370 379 1012 507"> <tr> <td colspan="2">[Information]</td> </tr> <tr> <td>Projector Name</td> <td>: PJ-7Z70004LP</td> </tr> <tr> <td>Light(Y) Hours Used</td> <td>: 0010 [H]</td> </tr> <tr> <td>Light(B) Hours Used</td> <td>: 0002 [H]</td> </tr> </table>	[Information]		Projector Name	: PJ-7Z70004LP	Light(Y) Hours Used	: 0010 [H]	Light(B) Hours Used	: 0002 [H]
[Information]									
Projector Name	: PJ-7Z70004LP								
Light(Y) Hours Used	: 0010 [H]								
Light(B) Hours Used	: 0002 [H]								
SENDER'S ADDRESS	本機からメールを送信する際の差出人アドレスを設定します。Eメールの「from」にあたるアドレスです。								
SMTP SERVER NAME	本機が接続をするネットワークの SMTP サーバーを設定します。								
RECIPIENT'S ADDRESS 1 RECIPIENT'S ADDRESS 2 RECIPIENT'S ADDRESS 3	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。Eメールの「to」にあたるアドレスです。								
TEST MAIL	<p>Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワークの設定を確認してください。 ● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。 								
SAVE	設定情報を本機のメモリへ記憶します。								

● NETWORK SERVICE

PJLink PASSWORD	PJLink (ピージェイリンク) を使用する場合に、パスワードを設定します。 パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。
HTTP PASSWORD	HTTP サーバーを使用する場合に、パスワードを設定します。 パスワードは最大 10 文字までの英数字で設定してください。
AMX BEACON	<p>本機を AMX 社の NetLinX コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からの検出の有効/無効を設定します。</p> <p>参考 ● AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要な Device Discovery Module を AMX のサーバーからダウンロードする仕組みです。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……AMX Device Discovery からの本機の検出を有効にします。</p> <p><input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……AMX Device Discovery からの本機の検出を無効にします。</p>

● INFORMATION

WIRED LAN	有線 LAN の設定情報を一覧表示します。
UPDATE	設定情報を変更した場合、一覧の表示を更新します。

- 参考**
- 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター (📄裏表紙) にご連絡ください。

4. ビューワーを使う

4-1. ビューワーでできること

ビューワーには次のような特長があります。

- 画像を保存した市販のUSBメモリーを本機のUSBポート（タイプA）に挿すと、USBメモリー内の画像を本機で投写することができます。これにより、コンピューターを使わずにプレゼンテーションを行えます。
- ビューワーで投写できる画像の種類は、JPEGです。
- ビューワーではサムネイル表示（JPEG Exifのみ）が行え、投写する画像を素早く選択できます。
- 複数の画像を連続して投写する場合（スライドショー）は、手動操作で切り替える方法（手動再生）と、自動的に切り替える方法（自動再生）があります。また、自動再生のときのスライド切り替え時間の選択ができます。
- 投写する順番は、画像のファイル名、日付、サイズで指定でき、昇順を選択できます。
- 画像の向きを90°単位で変えることができます。



- 本機のUSBポートは、USBハブをサポートしていません。
- ビューワー（サムネイル画面、スライドおよびスライドショー画面）表示中は、プロジェクト本体またはリモコンの次のボタン操作はできません。
本体：(◀▶)ボタンによる音量調整、(▼)ボタンによる台形補正、(自動調整)ボタン
リモコン：(自動調整)ボタン、(静止)ボタン
ビューワー表示中に台形補正および入力切り替えを行う場合は、(メニュー)ボタンを2回押してオンスクリーンメニューを表示し操作してください。
- オンスクリーンメニューでリセット→全データを行うと、ビューワーのメニュー設定は工場出荷状態に戻ります。
- 本機のビューワーで使用するUSBメモリーは、FAT32形式、またはFAT16形式でフォーマットしてください。
本機は、NTFS形式でフォーマットされたUSBメモリーを認識できません。
本機に挿したUSBメモリーが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。
フォーマット方法については、お使いのWindowsの取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。
・本機のUSBポートは、市販されているすべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。

次ページに続く

- 対応画像について
 - ・ビューワーで投写できる画像は次のとおりです。

画像フォーマット	拡張子	対応詳細フォーマット
JPEG	JPG/JPEG	ベースライン、Exif

- 本機で投写できる最大解像度は、10000×10000ピクセルです。
- 上記の条件を満たしている画像であってもビューワーで投写できない場合があります。
- サムネイル画面では200を超えるアイコン(画像ファイルアイコンとフォルダーアイコンの総数)は表示できません。
- フォルダー、画像ファイルの名前の文字数が規定値より長い場合は、表示可能文字数のみ表示し「…」が付け加えられます。
- 1つのフォルダー内のファイル数が多いと、画面を切り替えるのに時間がかかります。画面の切り替えを速くするには、1つのフォルダー内のファイル数を減らしてください。

参考

- Exif (Exchangeable image file format) とは、デジタルカメラで撮影した画像データに、撮影条件に関する情報を付加している画像ファイル形式です。

4-2. USB メモリーに保存した画像を投写する

ここでは、ビューワーの基本操作を説明します。ビューワーの各メニュー（[72ページ](#)）が工場出荷時の状態になっているときの操作手順です。

- ・ビューワーを起動する……………このページ
- ・本機からUSBメモリーを取り外す……………[70ページ](#)
- ・ビューワーを終了する……………[70ページ](#)

準備：コンピューターを使って複数の画像をUSBメモリーに保存してください。

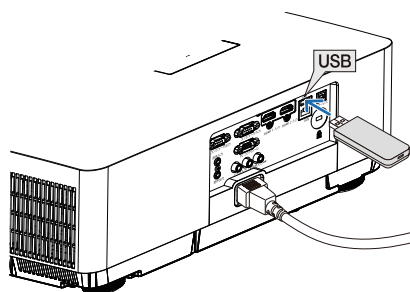
ビューワーを起動する

1 本機の電源を入れる。（[72ページ](#)）

2 本機のUSBポートにUSBメモリーを挿す。

注意

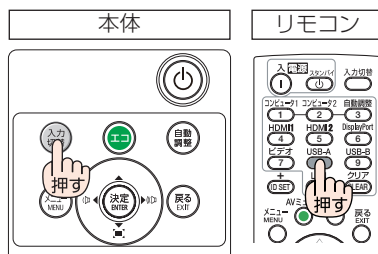
- USBメモリーのアクセスインジケータが点滅しているときは、保存データが破損しますので取り外さないでください。



3 (入力切替) ボタンを押す。

ビューワーが起動しビューワー起動画面が表示されます。

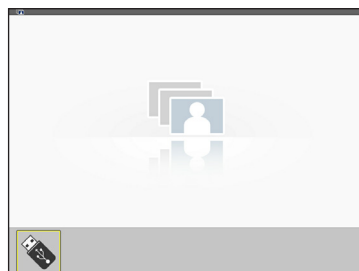
- ・リモコンの場合、(USB-A) ボタンを押すとすぐ切り替わります。



4 (決定) ボタンを押す。

サムネイル画面に変わります。

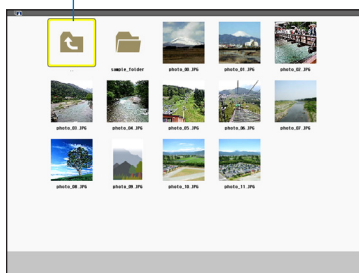
- ・サムネイル画面については[71ページ](#)をご覧ください。



5 (▼▲◀▶) ボタンを押して、カーソルをアイコンに合わせる。

- 右端に→アイコンを表示しているとき、(ページ▼)ボタン(ページダウン)を押すと次ページに切り替わります。また、左端に←アイコンを表示しているとき、(ページ▲)ボタン(ページアップ)を押すと前ページに切り替わります。

カーソル(黄色)



6 (決定) ボタンを押す。

スライドが表示されます。

- フォルダーアイコンを選択したときは、フォルダー内のアイコンを表示します。



7 (▶) ボタンを押して次のスライドに切り替える。

サムネイル画面での1つ右の画像を表示します。

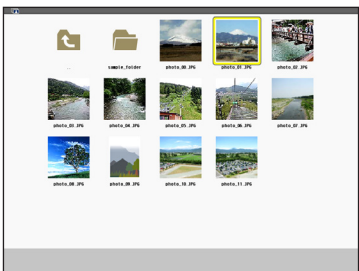
- (◀/▶)ボタンでサムネイル画面での上下左右の画像に切り替わります。
- サムネイル画面、スライド画面、スライドショー画面で(メニュー)ボタンを押すと、メニューを表示します。メニューで画面の選択や画像回転などの設定を行います。(72 ページ)
- メニューを消すには、(メニュー)を1回押すとメニューが消え、入力端子画面を表示します。もう1回押すと入力端子画面が消えます。



8 メニューを表示していないときに(戻る)ボタンを押す。

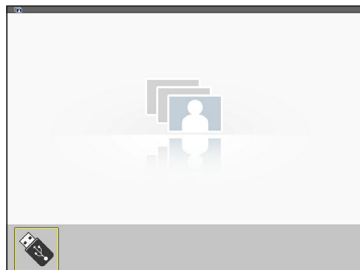
サムネイル画面に戻ります。

- (決定)ボタンを押しても戻ります。



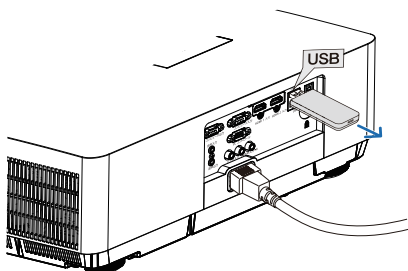
本機からUSBメモリーを取り外す

- 1 ビューワー起動画面に切り替える。
メニューを表示していない画面で(戻る)ボタンを押します。



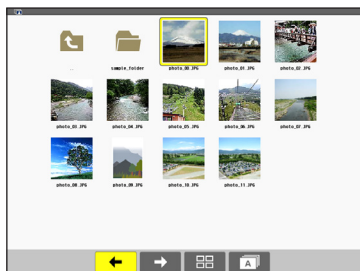
- 2 本機からUSBメモリーを取り外す。
USBメモリーのアクセスインジケータが点滅していないことを確認してから取り外してください。

- 注意**
- スライドを表示中にUSBメモリーを取り外した場合、本機の動作が不安定になることがあります。その場合は、いったん本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
その後約3分待って、電源コードをコンセントに接続し、本機の電源を入れてください。



ビューワーを終了する

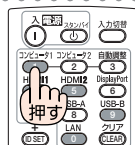
- 1 (メニュー) ボタンを2回押す。
1回押すとメニューが表示されます。
もう一度押すと、メニューが消え、オンスクリーンメニューの入力端子画面が表示されます。
スライドおよびスライドショー画面でも同じです。



- 2 「USB-A」以外の入力端子にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
ビューワーが終了し、選択した入力に切り替わります。
・ 再びビューワーを選択するとビューワー接続画面が表示されます。

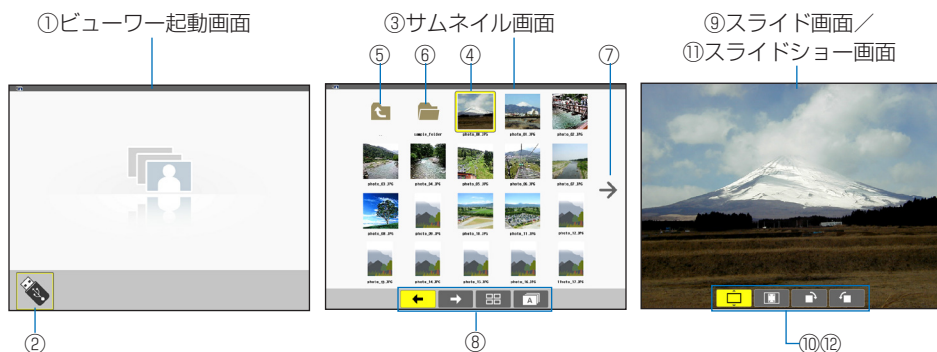


- 参考**
- リモコンで操作する場合は、「USB-A」以外の入力端子を選択すると、ビューワーが終了します。



画面の見かた

ビューワーには4つの画面があります。



名称	説明
① ビューワー起動画面	ビューワーに切り替えたときはじめに表示します。
② USBアイコン	本機にUSBメモリーを挿してあると表示します。
③ サムネイル画面	USBメモリー内のフォルダーと画像ファイルを一覧表示します。JPEG Exifのみサムネイル画像を表示します。 ・1ページのフォルダーおよび画像ファイルの表示数は横6×縦4です。
④ カーソル	◀▶▶▶ボタンを押して目的のフォルダーや画像を選択します。
⑤ 戻るアイコン	上(親)の階層のフォルダーに戻ります。
⑥ フォルダーアイコン	USBメモリー内にフォルダーがあることを示します。
⑦ ページダウン(ページアップ)アイコン	表示がある場合は、次ページにフォルダーや画像ファイルがあることを示します。▶▶▶▶ボタンを押してカーソルを右端まで移動し、さらに右へ移動するとひとつ下の段の左端にカーソルが移動します。下の段がない場合は次ページに切り替わります。画面の左端に◀カーソルを表示しているときは、前ページにフォルダーや画像ファイルがあることを示します。 リモコンの(ページ▽)を押すと次ページ、(ページ△)を押すと前ページに直接切り替わります。
⑧ サムネイルメニュー	サムネイル画面のメニューです。(メニュー)ボタンを押すと表示します。(▶次ページ)
⑨ スライド画面	手動再生の画面です。選択した画像を画面いっぱいに表示します。
⑩ スライドメニュー	スライド画面のメニューです。(メニュー)ボタンを押すと表示します。(▶73ページ)
⑪ スライドショー画面	自動再生の画面です。自動でスライドが切り替わります。
⑫ スライドショーメニュー	スライドショー画面のメニューです。(メニュー)ボタンを押すと表示します。(▶73ページ)

メニューを使う

●メニューの操作

1 各画面で(メニュー)ボタンを押す。

メニューが表示されます。

ビューワー起動画面はオンスクリーンメニューの入力端子画面が表示されます。

2 (◀▶)ボタンを押して項目にカーソルを合わせ、(▼▲)ボタンを押して内容を選択する。

カーソルを合わせると黄色に変わります。

▲▼表示の項目は選択枝があることを表しています。

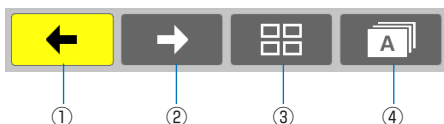
3 (決定)ボタンを押す。

選択内容に切り替わります。

4 (メニュー)ボタンを2回押す。

メニューが消え入力端子画面を表示します。もう一度(メニュー)ボタンを押すと、入力端子画面が消えます。

●サムネイルメニュー



メニュー	選択項目	説明
①戻る ◀	なし	カーソルを1つ左へ進めます。画面左上まで戻ると前ページに戻ります。1ページのファイルの左端まで移動します。
②進む ▶	なし	カーソルを1つ右へ進めます。画面右下まで進むと次ページに進みます。最終ページの右端まで移動します。
③画面表示	☐	メニューを閉じてサムネイル画面に切り替わります。
	🖼️	メニューを閉じてカーソルのある画像からスライドショーを開始します。
	🖼️	メニューを閉じてスライド画面に切り替わります。
④並び順	📅	ファイル作成日の新しい順にアイコン表示を並び替えます。
	📁	名前を昇順(数字→英字→日本語の順)にアイコン表示を並び替えます。
	📁	ファイルの容量が小さい順にアイコン表示を並び替えます。

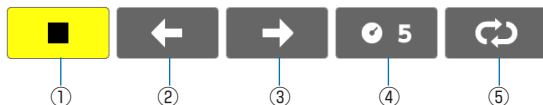
●スライドメニュー

スライドメニューでは次の設定が行えます。



メニュー	選択項目	説明
①画面表示		メニューを閉じてスライド画面に切り替わります。
		メニューを閉じてサムネイル画面に切り替わります。
		メニューを閉じてカーソルのある画像からスライドショーを開始します。
②画像表示		メニューを閉じて本機の表示可能な最大サイズで画像を表示します。
		メニューを閉じて実サイズの画面で表示します。 ・本機の解像度より小さい画像のみ実サイズで表示されます。
③右回転	なし	メニューを閉じて画像を時計回りに 90° 回転します。
④左回転	なし	メニューを閉じて画像を反時計回りに 90° 回転します。

●スライドショーメニュー



メニュー	選択項目	説明
①停止	なし	メニューを閉じてスライド画面に切り替わります。
②戻る	なし	前の画像に戻ります。
③進む	なし	次の画像に進みます。
④表示間隔		画像の表示間隔を設定します。 0, 1, 3, 5, 10, 15, 20, 30, 60, 120 秒の設定ができます。 ・表示間隔は次の画像を表示させるまでの待ち時間です。
		フォルダー内の最後の画像を表示した後、最初の画像から再生します。
⑤リピート		フォルダー内の最後の画像を表示した後、自動再生を終了しサムネイル画面に戻ります。

参考

- スライド画面およびスライドショー画面で再生できない画像は画面中央に画像アイコンを表示します。
- スライドメニューで設定した画像回転設定はフォルダーを移動すると解除されます。

5. オンスクリーンメニュー

5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

オンスクリーンメニュー画面の構成

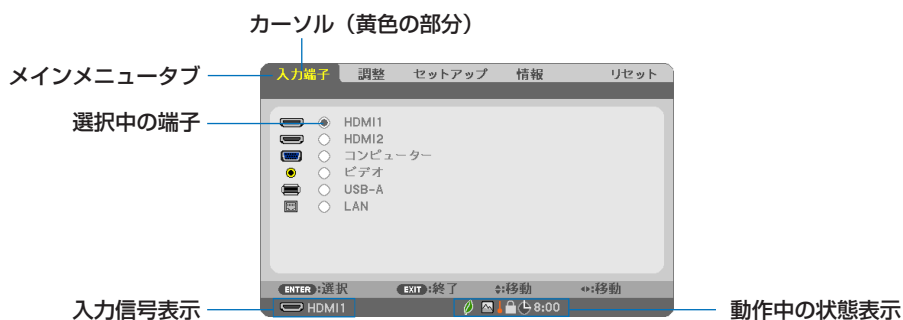
メニューを表示するには(メニュー)ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(戻る)ボタンを押します。

ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

1 (メニュー) ボタンを押す。

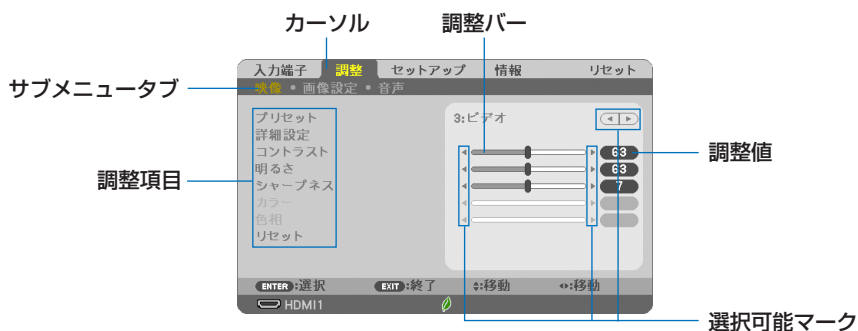
ご購入後、はじめて操作したときは入力端子のメニューが表示されます。



エコモード設定、 ファンモードの「高地」設定、 強制エコモード、 本体キーロック中、 オフタイマーの残り時間のアイコン

2 (▶) ボタンを1回押す。

カーソルが「調整」に移動し、調整のメニューが表示されます。





3 (▼/▲) ボタンを押す。

カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。

4 「明るさ」にカーソルを合わせ、(◀/▶) ボタンを押す。

画面の明るさが調整されます。

- ・「 (選択可能マーク)」が付いている項目は(◀/▶) ボタンで設定を切り替えることができます。

「 (選択可能マーク)」が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ(決定) ボタンを押します。

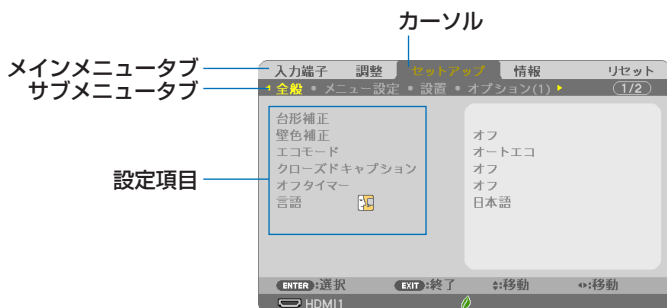
- ・調整項目内のリセットにカーソルを合わせ(決定) ボタンを押すと、映像の調整や設定を工場出荷状態に戻します。

5 (戻る) ボタンを2回押す。

カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。

6 (▶) ボタンを1回押す。

カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。



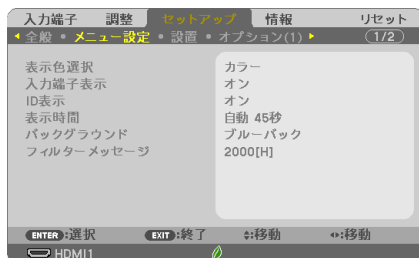
7 (決定) ボタンを押す。

全般にカーソルが移動します。

- ・セットアップには全般、メニュー設定、設置、オプション(1)、オプション(2)、有線LANという6つのサブメニュータブがあります。(◀/▶) ボタンで選択します。

8 (▶) ボタンを1回押して「メニュー設定」にカーソルを合わせる。

メニュー設定のメニューに切り替わります。



次ページに続く

- 9 (▼) ボタンを押して「バックグラウンド」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。

バックグラウンド選択画面が表示されます。

- ・バックグラウンドとは、無信号時に表示される画面のことです。



- 10 (▼/▲) ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。

- 11 選択したい項目にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。
バックグラウンドが設定されます。

- ・ 選択を取り消す場合は、(戻る) ボタンを押します。


- 12 (メニュー) ボタンを 1 回押す。
メニューが消えます。



- ・入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

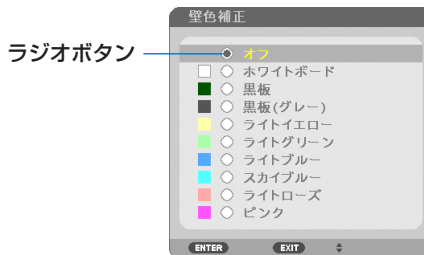
調整画面、設定画面の操作例

●ラジオボタンの選択


選択肢の中からから1つ「」を選びます。

【例1】「壁色補正」の選択

セットアップ→全般→壁色補正



- 1 (▼/▲) ボタンを押す。

選択されているマーク () が移動します。

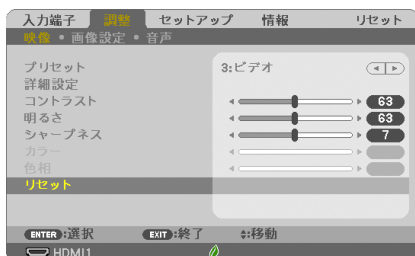
- 2 選択する項目に「」を移動したら、(決定) ボタンを押す。

●実行ボタン

機能を実行します。

実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で **戻る** ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

【例 2】調整のリセット



- 1 「リセット」にカーソルが合っていることを確認する。
- 2 **決定** ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
- 3 実行する場合は、**戻る** ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
機能が実行されます。
 - 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、**決定** ボタンを押します。

5-2. オンスクリーンメニュー一覧

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー			選択項目	参照 ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
入力端子	—		HDMI1	82	
			HDMI2		
			コンピューター		
			ビデオ		
			USB-A		
			LAN		
調整	映像	プリセット	1：高輝度モード、2：プレゼンテーション、3：ビデオ、4：ムービー、5：グラフィック、6：sRGB、7：DICOM SIM.	83	
		詳細設定	全般	参照	高輝度モード、プレゼンテーション、ビデオ、ムービー、グラフィック、sRGB、DICOM SIM.
	ガンマ補正			ダイナミック、ナチュラル、ソフト	
	スクリーンサイズ		大、中、小		
	色温度		5000、6500、7800、8500、9300、10500		
	ダイナミックコントラスト		オフ、オン		
	画面モード		静止画、動画		
	カラーエンハンスメント		オフ、オン		
		ホワイトバランス	コントラスト 赤、コントラスト 緑、コントラスト 青、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青	85	
		コントラスト		85	
		明るさ			
		シャープネス			
		カラー			
		色相			
		リセット		86	
		画像設定	クロック周波数		86
			位相		
	水平				
	垂直			87	
	オーバースキャン		自動、0[%]、5[%]、10[%]		
	アスペクト	自動、4:3、16:9、15:9、16:10、レターボックス、リアル	88		
音声	音量		90		

メニュー		選択項目		参照 ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
	全般 セットアップ	デジタルズーム			
台形補正		台形補正 水平		91	
		台形補正 垂直			
		ピンクッション補正 左端/右端			
		ピンクッション補正 上端/下端			
		4点補正			
		リセット			
壁色補正		オフ、ホワイトボード、黒板、黒板（グレー）、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、スカイブルー、ライトローズ、ピンク		93	
ライトモード		エコモード	オフ、 オートエコ 、エコ1、エコ2		
		調整	16% ~ 100%		
		輝度一定モード	オフ、オン		
		バランス	-512 ~ 512		
クローズドキャプション		オフ、キャプション1、キャプション2、キャプション3、キャプション4、テキスト1、テキスト2、テキスト3、テキスト4			
オフタイマー		オフ、0:30、1:00、2:00、4:00、8:00、12:00、16:00		94	
言語		ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、SVENSKA、日本語、DANSK、PORTUGUÊS、ČEŠTINA、MAGYAR、POLSKI、NEDERLANDS、SUOMI、NORSK、TÜRKÇE、РУССКИЙ、عربي、ΕΛΛΗΝΙΚΑ、简体中文、한국어、ROMÂNĂ、HRVATSKI、БЪЛГАРСКИ、ไทย、हिन्दी、INDONESIA、ئۇيغۇر、繁體中文、TIẾNG VIỆT			
メニュー設定		表示色選択	カラー、モノクロ		95
		入力端子表示	オフ、オン		
	ID表示	オフ、オン			
	表示時間	手動、自動5秒、自動15秒、自動45秒			
	バックグラウンド フィルターメッセージ	ブルーバック、ブラックバック、ロゴ オフ、100[H]、500[H]、1000[H]、2000[H]			
設置	投写方法	デスク/フロント、天吊り/リア、デスク/リア、天吊り/フロント		96	
	本体キーロック	オフ、オン		97	
	セキュリティ	オフ、オン		98	
	通信速度	4800bps、9600bps、19200bps、38400bps			
	コントロールID	コントロールID番号	1-254		
		コントロールID	オフ、オン		
	テストパターン			99	

メニュー		選択項目		参照 ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	オプション (1)	自動調整		オフ、ノーマル、ファイン	100
		シームレススイッチング		オフ、オン	
		ファンモード		自動、高速、高地	
		信号選択	コンピューター	RGB/ コンポーネント、RGB、 コンポーネント	101
			ビデオ	自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、PAL、 PAL-M、PAL-N、PAL60、SECAM	
		WXGA モード		オフ、オン	102
		デインターレース		オフ、オン	
		HDMI 設定			102
		HDMI1	ビデオレベル	自動、標準、拡張	
		HDMI2	ビデオレベル	自動、標準、拡張	
	音声入力選 択	HDMI1	HDMI1、コンピューター		
		HDMI2	HDMI2、コンピューター		
		LAN	LAN、コンピューター		
	ピープ音		オフ、オン		
	オプション (2)	スタンバイモード		ノーマル、ネットワークスタンバイ	103
		ダイレクトパワーオン		オフ、オン	104
		オートパワーオン		オフ、オン	
		オートパワーオフ		オフ、0:05、0:10、0:15、0:20、 0:30、1:00	
		初期入力選択		ラスト、自動、HDMI1、HDMI2、コン ピューター、ビデオ、USB-A、LAN	105
		CO ₂ 換算係数			
		通貨選択		\$、€、JP ¥、RMB ¥	
	電気料金換算係数				
	有線 LAN	有線 LAN		無効、有効	106
設定		DHCP	オフ、オン		
		IP アドレス			
		サブネットマスク			
		ゲートウェイ			
		自動 DNS	オフ、オン		
DNS					
再接続					

メニュー		選択項目	参照 ページ
メインメニュー	サブメニュー		
情報	使用時間	ライト使用時間、 フィルター使用時間、総 CO2 削減量、 総電気料金削減量	108
	信号 (1)	信号名、信号番号、水平同期周波数、 垂直同期周波数、同期形態、同期極性、 走査方式	
	信号 (2)	信号形式、ビデオ標準、色深度、 ビデオレベル	
	有線 LAN	IP アドレス、サブネットマスク、 ゲートウェイ、MAC アドレス	
	接続	プロジェクター名、PINコード、 有線LAN、IPアドレス	
	VERSION	FIRMWARE、DATA、	
	その他	プロジェクター名、ホスト名、 MODEL NO.、SERIAL NUMBER、 CONTROL ID※ ¹	
リセット	—	表示中の信号	109
		全データ	
		フィルター時間クリア	

※1：CONTROL ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。

5-3. 入力端子



投写する入力端子を選択します。

現在選択されている入力端子には「●」(ドット)を表示します。

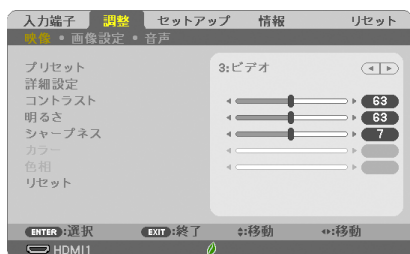
HDMI1	HDMI1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI2	HDMI2 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
コンピューター	コンピューター映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
USB-A	本機にセットした USB メモリーのデータを投写します。
LAN	本機にセットした LAN メモリーのデータを投写します。

参考

- コンポーネント入力信号をコンピューター映像入力端子に接続している場合は、コンピューターを選択してください。
コンピューター映像入力端子の入力信号は、コンピューター信号とコンポーネント信号を自動的に判別します。

5-4. 調整

映像



●プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。本機の工場出荷時は、プリセット項目1～7に、あらかじめ次の設定がされています。また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目1～7に登録できます。

1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
7：DICOM SIM.	医療業界で用いられているDICOM規格に近似した設定にします。

注意

- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

参考

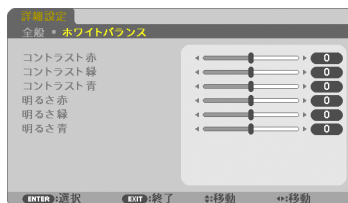
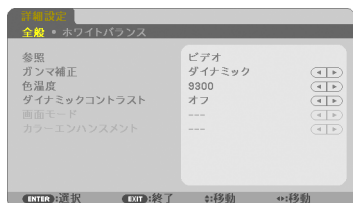
- [sRGB] は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピューターやディスプレイ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年にHewlett-Packard社とMicrosoft社が策定し、1999年にIECの国際規格となりました。
- 「DICOM SIM.」のDICOM（ダイコム）は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピューター断層撮影（CT）、磁気共鳴映像法（MRI）や内視鏡などの診療で用いられています。

● 詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。

調整値を登録するには、プリセット項目 1～7 のいずれかを選択し、「詳細設定」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押します。

ガンマ補正、スクリーンサイズ、色温度、ダイナミックコントラスト、画面モード、カラーエンハンスメント、ホワイトバランスの項目について、細かな設定ができます。



全般 — 参照

詳細設定のもとになるモードを選択します。

全般 — ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

注意

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合は、ガンマ補正は設定できません。

全般 — スクリーンサイズ

投写画面のサイズに応じた適切なガンマ補正を行います。

大	110 型前後のサイズのときに選択します。
中	90 型前後のサイズのときに選択します。
小	70 型前後のサイズのときに選択します。

注意

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合のみ設定できます。

全般 — 色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。

注意

- 参照で「高輝度モード」を選択した場合、色温度は選択できません。

全般 — ダイナミックコントラスト

「オン」に設定すると、最適なコントラスト比に調整します。

全般—画面モード

投写する映像が静止画の場合、またはアニメーションなどの動きのある映像の場合に応じて、最適な画面のモードに設定します。

注意

- 参照で「高輝度モード」を選択した場合のみ設定できます。

全般—カラーエンハンスメント

「オン」に設定すると、色が鮮やかになります。

注意

- 参照で「プレゼンテーション」を選択した場合のみ設定できます。

ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	映像の黒色を調整します。
コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	映像の白色を調整します。

注意

- ホワイトバランスを操作した場合は、色温度の数値と実際の色合いが異なります。

●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

注意

- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

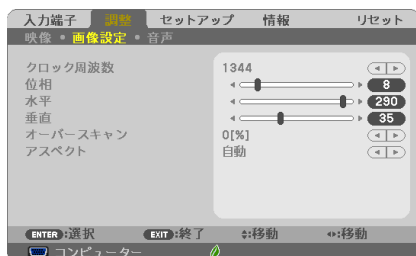
入力信号	コントラスト	明るさ	シャープネス	カラー	色相
コンピュータ / HDMI のRGB系	○	○	○	×	×
コンピュータ / HDMI のコンポーネント系	○	○	○	○	○
ビデオ	○	○	○	○	○
USB-A	○	○	○	×	×
LAN	○	○	○	×	×

(○：調整可、×：調整不可)

●リセット

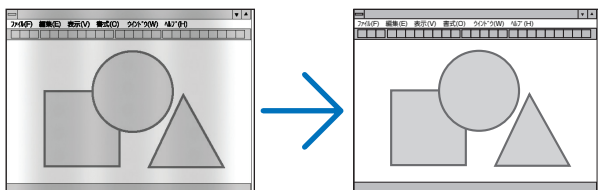
「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。プリセットの番号、およびそのプリセット内の参照はリセットされません。現在選択されていないプリセットの詳細設定もリセットされません。

画像設定



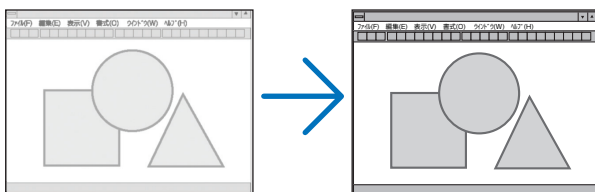
●クロック周波数

画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。



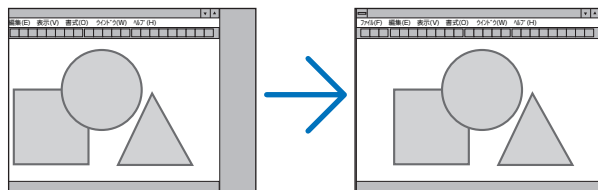
●位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。



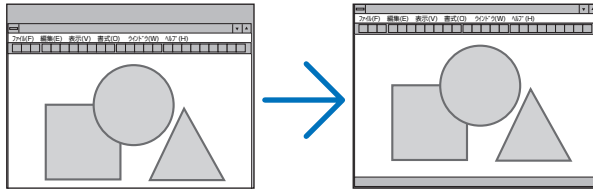
●水平

画面を水平方向に移動します。



●垂直

画面を垂直方向に移動します。

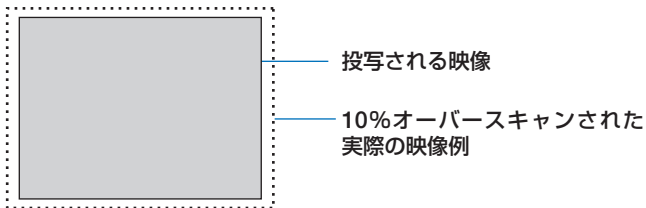


注意

- クロック周波数、位相を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。
- クロック周波数、位相、水平、垂直を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号(解像度、水平・垂直走査周波数)を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。
本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのリセット → 「表示中の信号」または「全データ」を行ってください。

●オーバースキャン

オーバースキャン(画面周囲のフレーム部分をカットする処理)の割合を設定します。



注意

- アスペクトが「リアル」のときは選択できません。
- ビデオ入力時は 0[%] を選択できません。


●アスペクト

画面の横と縦の比率を選択します。

本機は、入力された信号を自動的に判別して最適なアスペクト比を選択します。

・コンピューターの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度	アスペクト比
VGA 640 × 480	4 : 3
SVGA 800 × 600	4 : 3
XGA 1024 × 768	4 : 3
WXGA 1280 × 768	15 : 9
WXGA 1280 × 800	16 : 10
WXGA+ 1440 × 900	16 : 10
SXGA 1280 × 1024	5 : 4
SXGA+ 1400 × 1050	4 : 3
UXGA 1600 × 1200	4 : 3
WUXGA 1920 × 1200	16 : 10

選択項目	説明
自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。(▶次ページ) 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
4 : 3	4 : 3のサイズで投写します。
16 : 9	16 : 9のサイズで投写します。
15 : 9	15 : 9のサイズで投写します。
16 : 10	16 : 10のサイズで投写します。
レターボックス	レターボックスの信号が適切に投写されるように縦方向、横方向を均等に拡大して投写します。映像の上端と下端は表示されません。
リアル	コンピューター入力信号の解像度が本機の解像度よりも小さいときに、コンピューター入力信号の解像度のまま投写します。 【例】 解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき  注意 <ul style="list-style-type: none">コンピューター以外の信号を投写しているときは「リアル」は選択できません。コンピューター入力信号の解像度が本機の解像度以上のときは「リアル」は選択できません。

【例】アスペクト比を適切に自動判別したときの画面イメージ

コンピューター信号のとき

入力信号の アスペクト比	4:3	5:4	16:9	15:9	16:10
適切に自動判別した ときの画面イメージ					

ビデオ信号のとき

入力信号の アスペクト比	4:3	レターボックス	スクイーズ
自動判別したときの 画面イメージ		 (注) レターボックスを適切に投写するには「レターボックス」を選択してください。	 (注) スクイーズを適切に投写するには「16:9」を選択してください。

参考

- ビデオ映像の標準アスペクト比 4 : 3 より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのピスタサイズ 1.85 : 1 やシネマスコープ 2.35 : 1 のアスペクト比があります。
- アスペクト比 16:9 の映像を横方向にスクイーズ(圧縮)して 4:3 にした映像を「スクイーズ」と呼びます。

音声



●音量

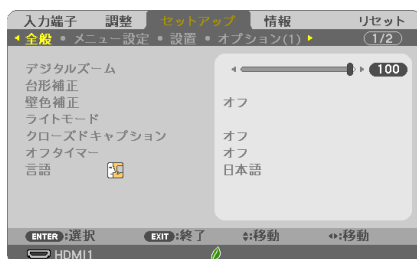
本機の内蔵スピーカーの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

参考

- 音量は、本体操作部の(◀▶)ボタン、およびリモコンの(音量 +/-)ボタンでも調整できます。

5-5. セットアップ

全般



● デジタルズーム

投写画面の大きさを微調整します。お使いのスクリーンサイズにあわせて調整してください。

数値を小さくすると画像が縮小され、数値を大きくすると画像が拡大されます。

注意

- デジタルズームは、電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。
- 入力端子選択が USB-A、LAN のときは選択できません。

参考

- 投写画面の大きさの調整は、本機とスクリーンとの距離を近づけたり遠ざけたりして行ってください。デジタルズームは、投写画面の大きさを微調整するときには使用してください。
- リモコンの (フォーカス/ズーム) ボタンでもデジタルズームが行えます。(▶ 39 ページ)

● 台形補正

投写画面の歪みを補正するのが台形補正です。



台形補正には、台形補正 水平、台形補正 垂直、ピンクッション補正、4点補正があります。

台形補正 水平と台形補正 垂直は、同時に調整することができます。

いずれかを選択して調整すると、同時に調整できない補正はグレー表示になります。

他の補正に変更する場合は、リセット操作を行ってください。

台形補正 水平	スクリーンに対してプロジェクターを斜横方向から投写しているときの調整です。 (👉 41 ページ)	
台形補正 垂直	スクリーンに対してプロジェクターを上または下向きから投写しているときの調整です。 (👉 41 ページ)	
ピンクッション補正 左端 / 右端	投写画面の左端と右端のわん曲歪みを調整します。 (👉 54 ページ)	
ピンクッション補正 上端 / 下端	投写画面の上端と下端のわん曲歪みを調整します。 (👉 54 ページ)	
4点補正	投写画面の四隅を選択してスクリーンに合わせる調整方法です。 (👉 52 ページ)	
リセット	上記全ての調整値がリセットされ、初期値に戻ります。 (👉 42、55 ページ)	

注意

- 台形補正、ピンクッション補正および4点補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。
- 調整を行うと調整値は上書きされます。電源を切っても調整値を保持しています。

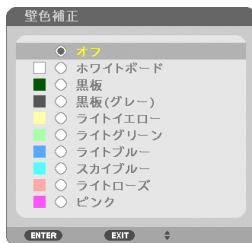
参考

- 4点補正および台形補正での調整範囲は次のとおりです。

	水平方向	垂直方向
4点補正	最大 ±約 10度	最大 ±約 10度
台形補正		

- 信号によっては、最大範囲まで調整できない場合があります。

●壁色補正



映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。



- 「ホワイトボード」を選択すると、明るさが低下します。

● ライトモード

省エネの設定やマルチスクリーン投写時の各プロジェクター間の輝度合わせの調整です。省エネ設定は (🔵 49 ページ) の「3-4. エコモードと省エネ効果」をご覧ください。

エコモード	オフ	輝度(明るさ)が、「調整」で設定した明るさになります。
	オートエコ	設定したモードに対応して輝度とファンを制御することで動作音が小さくなり消費電力も下がります。
	エコ1	輝度一定モードが「オフ」のとき設定ができます。
	エコ2	
調整		出力を 16 ~ 100%の範囲(1%刻み)で調整できます。複数台のプロジェクターを使用してマルチスクリーン投写したとき、各プロジェクターの輝度合わせが行えます。エコモードが「オフ」かつ、輝度一定モードが「オフ」のとき調整が有効になります。
輝度一定モード	オフ	輝度一定モードが解除されます。
	オン	工場出荷状態の明るさを基準にして、80%の明るさを一定に保つように制御します。エコモードが「オフ」のとき設定ができます。 注意 ● 輝度一定モードは明るさを一定に保つ機能です。色は一定になりません。
バランス		-512 ~512間に1ずつで色バランスを調整できます。画面色が黄色の場合、右に調整し、画面色が青色の場合、左に調整します。



- 通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、使用時間に応じて出力を自動調整し、輝度を維持できます。ただし、出力が最大になった後は、使用時間に応じて輝度が下がります。

●クローズドキャプション

ビデオ信号にクローズドキャプション信号が含まれている場合に字幕や文字を画面に表示します。

オフ	表示しません。
キャプション1～4、テキスト1～4	選択した字幕や文字を表示します。

注意

- 次の状態のときクローズドキャプションは表示されません。
 - ・ オンスクリーンメニュー表示中
 - ・ メッセージ表示中
 - ・ (部分拡大 +/-) ボタンによる画面拡大中
 - ・ (静止) ボタンによる静止画中
 - ・ (AVミュート) ボタンによる映像と音声の消去中
- 台形補正で極端に補正をかけた場合、補正の組み合わせによっては、クローズドキャプションの文字が画面からはみ出すことがあります。
はみ出したときは画面におさまるように調整してください。

参考

- クローズドキャプションは、アメリカで聴覚に障害を持つ人々のために、ビデオ信号などを画面に投写する際、音声情報を字幕や文字で表示する技術です。

●オフタイマー

オフタイマーを設定しておくで、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。また、オフタイマー動作時は電源インジケータの青色が長い点滅になります。

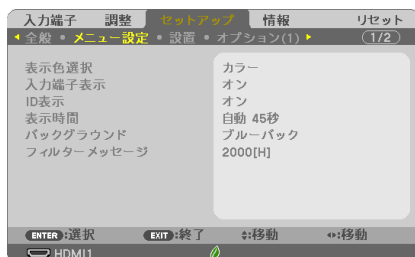
●言語

メニューに表示される言語を選択します。

参考

- 言語は、リセットを行っても変更されません。

メニュー設定



●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。

「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。

- ・入力信号を切り替えたときに、画面右上に「コンピューター」などの入力端子名を表示します。
- ・信号が入力されていないときは、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。ただし、入力端子で USB-A を選択しているときは、無信号ガイダンスを表示しません。

●ID表示

複数台のプロジェクターを本機のリモコンやコントロール ID 機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンの (ID SET) ボタンを押したときに、コントロール ID 画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロール ID (🔵98 ページ) をご覧ください。

●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

●バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

注意

- 入力端子表示を「オン」にしているときは、バックグラウンドの設定に関わらず、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。
- バックグラウンドから復帰した際に、すぐに明るさが戻らない場合があります。

参考

- バックグラウンドは、リセットを行っても変更されません。

●フィルターメッセージ

本機には、フィルターの清掃時期をお知らせする機能があります。フィルターメッセージで設定した時間を超えると、画面上に「フィルター清掃時期です。」のメッセージが表示されます。

この場合はフィルターの清掃時期ですので、フィルターを清掃してください。清掃のしかたは「7-1. フィルターの清掃」 (🔵119 ページ) をご覧ください。

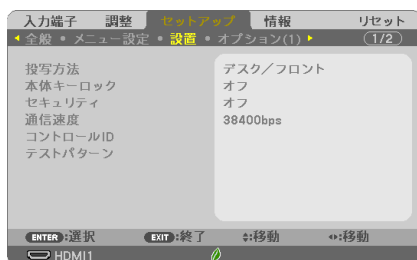
フィルターの汚れかたに応じて、工場出荷時の設定 (2000[H]) を変更してください。たとえば、フィルターの汚れかたがひどい場合は、設定時間を短くしてこまめに清掃してください。

オフ	フィルター清掃のメッセージは表示されません。
100[H] / 500[H] / 1000[H] / 2000[H]	設定した時間（100 時間 / 500 時間 / 1000 時間 / 2000 時間）を超えると、画面上にフィルター清掃のメッセージが表示されます。

参考

- フィルター清掃のメッセージは、電源投入時の1分間、および本機の Ⓞ ボタンまたはリモコンの電源（スタンバイ）ボタンを押したときに表示されます。電源投入時にフィルター清掃のメッセージを消す場合は、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
- フィルターメッセージは、リセットを行っても変更されません。

設置



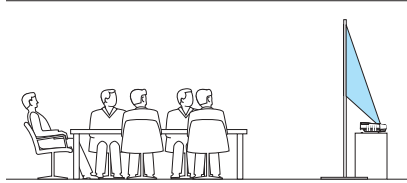
● 投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

警告

天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
お客様による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。

デスク/フロント	<p>テーブルに設置してスクリーンの前面から投写</p>
天吊り/リア	<p>天井に設置してスクリーンの背面から投写</p>

デスク／リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 
天吊り／フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写 

●本体キーロック


プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが動きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

注意

- 本体キーロックの解除方法
本体キーロックが「オン」に設定されているときに、本体の(入力切替)ボタンを約10秒間押し、本体キーロックの設定が解除されます。

参考

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「」アイコンが表示されます。
- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。

セキュリティ設定のしかたは「3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する」(56 ページ) をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。

参考

- セキュリティは、リセットを行っても解除されません。

●通信速度

PC コントロール端子のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

参考

- 通信速度は、リセットを行っても変更されません。

●コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。

また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	割り当てる番号を 1 ~ 254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。

注意

- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。

参考

- コントロール ID は、リセットを行っても変更されません。
- 本体の (決定) ボタンを 10 秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

リモコンへのIDの設定／変更方法

- 1 プロジェクターの電源を入れる。
- 2 リモコンの **(ID SET)** ボタンを押す。
コントロール ID 画面が表示されます。



このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。

「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順**3**でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。

- 3 リモコンの **(ID SET)** ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。

たとえば「3」に変更するには数字の3を押します。

ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、000 を入力するか、または **(CLEAR(クリア))** ボタンを押します。

- 参考**
- リモコンの ID は 1～254 まで登録できます。

- 4 **(ID SET)** ボタンを離す。

コントロール ID 画面が表示されます。

このとき、変更されたリモコン ID で動作・非動作画面が更新されます。

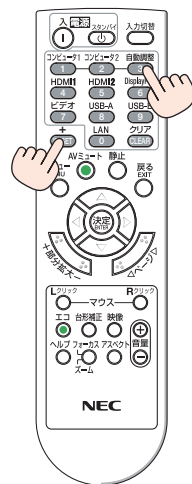
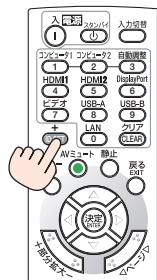
- 注意**
- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
 - リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。

●テストパターン

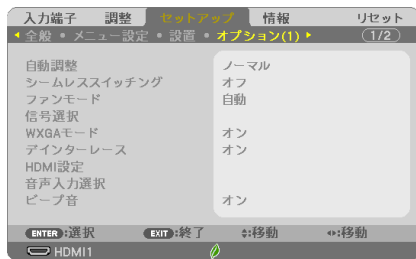
プロジェクター設置時の画面の歪み状態を確認する際に表示します。

(決定) ボタンを押すとメニュー表示が消えテストパターンを表示します。**(戻る)** ボタンを押すとテストパターンが消えメニュー画面に戻ります。

テストパターンを表示しているときはメニュー操作および台形補正調整（台形補正、ピンクッション補正、4点補正）はできません。台形歪みを調整するときは、テストパターンを消してから行ってください。



オプション (1)



●自動調整

調整されていないコンピューター入力信号に切り替わったときに、表示位置と画素のずれについて調整方法を設定します。

オフ	自動調整を行いません。 (自動調整)を押して表示を調整してください。 または、オンスクリーンメニューを表示して、クロック周波数や位相を調整してください
ノーマル	簡易的な自動調整を行います。
ファイン	より精密な自動調整を行います。 「ノーマル」よりも処理時間がかかるため、信号を切り替えたあとと映像が表示されるまで時間がかかります。

参考

- 工場出荷時は「ノーマル」に設定されています。
- (自動調整)を押したときは、「ファイン」と同じ調整処理を行います。

●シームレススイッチング

入力端子切り替え時、切り替え前の映像を保持（フリーズ）することで、無信号状態を経ずに切り替え後の映像が映し出されます。

●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。
高速	常に高速で回転します。
高地	標高約 1700m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。

注意


- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。
- 標高約 1700m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。

次ページに続く

注意

- ファンモードを「高地」に設定しないまま、標高約 1700m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 高地で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。
- ファンモードは、リセットを行っても変更されません。

参考

- 「高地」を選択するとオンスクリーンメニュー下部に  アイコンが表示されます。

●信号選択

各映像入力端子について入力信号を設定します。

コンピューター	DVD プレーヤーなどのコンポーネント信号を、コンピューター映像入力端子に専用ケーブルで接続する場合に選択します。
ビデオ	NTSC や PAL など、国によって異なるテレビジョン映像信号方式を選択します。 工場出荷状態は「自動判別」に設定されています。プロジェクターが自動的に判別できない信号のときに設定します。

● WXGA モード

「オン」にすると、入力信号を認識する際、ワイド信号 (WXGA: 1280 × 768 ドット / WUXGA: 1920 × 1200 ドット) を優先します。

WXGA モードを「オン」に設定しているとき、XGA (1024 × 768 ドット) 信号または UXGA (1600 × 1200 ドット) 信号を入力すると、正しく認識されない場合があります。その場合は WXGA モードを「オフ」にしてください。

参考

- 工場出荷時の設定が「オン」になっています。

●デインターレース

ビデオや DVD など標準画質映像 (480i または 575i 信号) および HDTV (1080i 信号) のときにインターレース信号の映像のちらつきを低減させます。

注意

- 動画信号によっては、映像にギザギザが目立つ場合があります。このようなときは「オフ」に設定してください。
- HDTV (プログレッシブ)、コンピューター入力信号のときは選択できません。
- 接続する機器によっては、選択できない場合があります。

● HDMI 設定

本機の HDMI 1 入力端子、HDMI 2 入力端子と外部機器を接続した場合の映像信号レベルの選択です。

HDMI1	ビデオレベル	自動	信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。 接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「標準」または「拡張」に切り替え最適な状態で視聴してください。
		標準	拡張を無効にします。
		拡張	映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。
HDMI2	ビデオレベル	自動	HDMI1 と同じ機能です。
		標準	
		拡張	

● 音声入力選択

本機の HDMI 1 入力端子、HDMI 2 入力端子の音声入力の選択です。

アナログ音声を入力するときは、本機のコンピューター音声入力端子と接続機器の音声出力端子を接続し、音声入力選択を「コンピューター」に設定します。

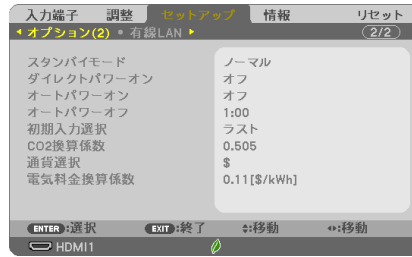
● ビープ音

電源の入／切や入力切り替えなどの操作をしたとき、また本機にエラーが発生したときなどに確認音を鳴らします。

参考

- ビープ音の音量は調整できません。また、(AVミュート)ボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、ビープ音を「オフ」に設定してください。

オプション (2)



●スタンバイモード

本機がスタンバイ状態になったときの電力消費量の設定を行います。

ノーマル	スタンバイ状態のとき、本機の消費電力が下がります。 スタンバイ状態のときは次のボタン・端子・機能のみ動作します。 本体の (P) ボタン、リモコンの電源 (入) ボタン、PC コントロール端子を使った電源オン
ネットワークスタンバイ	スタンバイ状態のときの消費電力が「ノーマル」に比べて高くなりますが、有線 LAN を使って本機の電源を入れることができます。 スタンバイ状態のときは次のボタン・端子・機能のみ動作します。 本体の (P) ボタン、リモコンの電源 (入) ボタン、PC コントロール端子を使った電源オン、オートパワーオン、アプリケーションソフトを使った操作、LAN 機能、メール通知機能



重要

- 「ネットワークスタンバイ」を設定している場合、LAN が 3 分間リンクダウンすると、消費電力を下げるために、自動的に「ノーマル」に変わります。
- 「ネットワークスタンバイ」を選択するとオートパワーオフは選択できなくなり（灰色表示）、自動的にオートパワーオフの「0:15」が選択された状態になります。
- 以下の状態では、スタンバイモードの設定は無効となりスリープ状態^{*}になります。
^{*} スリープ状態とは、スタンバイモードの設定による機能制限をなくした状態です。
消費電力が「ネットワークスタンバイ」に比べて高くなります。ステータスインジケータは緑色で点灯します。
スタンバイモードの設定が「ネットワークスタンバイ」の場合
 - ・ ネットワークサービス → AMX 設定 → 「有効」のとき
 - ・ コンピュータ映像入力端子に信号入力があるとき
 - ・ HDMI1 入力端子に信号入力があるとき
 - ・ HDMI2 入力端子に信号入力があるとき



参考

- スタンバイモードを「ノーマル」にしても、PC コントロール端子を使った電源のオン/オフは行えます。
- スタンバイモードは、リセットを行っても変更されません。
- スタンバイモードはカーボンメーターの CO₂ 削減量の計算から除外しています。

●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC 電源が供給されると電源が入ります。 初期入力選択 (🔵次ページ) で設定している信号が投写されます。

●オートパワーオン

本機がスタンバイ状態のとき、コンピューター信号または HDMI 信号が入力されると自動的に投写する設定です。

本機のコンピューター映像入力端子、HDMI1 入力端子または HDMI2 入力端子と機器を接続して、本機をスタンバイ状態にします。

オフ	オートパワーオン機能は働きません。
オン	コンピューター信号または HDMI 信号を感知すると本機の電源を自動で入れて投写します。

注意

- コンピューター映像入力端子にコンポーネント信号を入力したときやシンクオングリーン (Sync on Green) またはコンポジットシンク (Composite Sync) のコンピューター信号の場合は働きません。
- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオンを働かせたい場合は、電源を切ったあと 30 秒以上待ってから、コンピューター信号または HDMI 信号を入力してください。本機の電源を切りスタンバイ状態になるときに、コンピューター信号または HDMI 信号が本機に入力され続けていると、本機の電源は入らずスタンバイ状態を継続します。
- ご使用の機器によっては、自動的に投写できない場合があります。その場合は、スタンバイモード (🔵前ページ) を「ネットワークスタンバイ」に設定してください。

●オートパワーオフ

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。

オフ	オートパワーオフ機能は動きません。
0:05 / 0:10 / 0:15 / 0:20 / 0:30 / 1:00	設定した時間 (5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 30分 / 1時間) 以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ 状態になります。

●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号 (入力端子) にするかの設定を行います。

ラスト	最後に投写した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
HDMI1	HDMI 1 入力端子の入力信号を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子の入力信号を投写します。
コンピューター	コンピューター映像入力端子の入力信号を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。
USB-A	ビューワーを表示します。 (▶ 66 ページ)
LAN	LAN ポート (RJ-45) を介してコンピュータから送られてくる データを投写します。

●CO₂ 換算係数

カーボンメーターに表示する CO₂ 削減量を算出するための CO₂ 排出係数を設定します。

初期値は、OECD (経済協力開発機構) から出版されている "CO₂ Emissions from Fuel Combustion (2008 年 Edition)" にて公表されている 2006 年度世界平均係数の 0.505 [kg-CO₂/kWh] に設定しています。

●通貨選択

カーボンメーターに表示する電気料金削減量の通貨単位を選択します。

\$	米国ドル
€	欧州ユーロ
JP¥	日本円
RMB¥	中国元

●電気料金換算係数

カーボンメーターに表示する電気料金削減量を算出するための係数として、1kWh あたりの電気料金を設定します。

初期値は、\$、€、JP¥ は OECD 出版の Energy Prices and Taxes (second quarter 2010)、RMB¥ はジェトロ (日本貿易振興機構) 出版の中国データ・ファイル (2010 年度版) にて公表されている下記の値に設定しています。

\$	(米国ドル)	0.11
€	(欧州ユーロ)	0.19
JP¥	(日本円)	20
RMB¥	(中国元)	0.48

有線 LAN



重要

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 有線 LAN を使う場合は、本機の LAN ポート (LAN) に LAN ケーブル (Ethernet ケーブル) を接続してください。(▶ 118 ページ)

参考

- ネットワーク設定で設定した内容は、「リセット」を行っても変更されません。

有線	無効	有線 LAN を無効にします。
	有効	有線 LAN を有効にします。
設定	DHCP	オン ... DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。 オフ ... ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。
	IP アドレス	本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
	サブネットマスク	本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
	ゲートウェイ	本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。
	自動 DNS	オン ... DHCP サーバーによって、本機を接続する DNS サーバーの IP アドレスを自動的に設定します。 オフ ... 本機を接続するネットワークの DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
再接続		ネットワークの接続を試みます。

本機に LAN の設定を行うヒント

● DHCP サーバーに接続するには？

有線 LAN ページで「設定」にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押します。

設定ページを表示します。「DHCP」にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押します。

「オン」を選択し、**決定**ボタンを押します。

DHCP サーバーを使用せず直接 IP アドレスを設定する場合は、HTTP サーバー機能をご使用ください。([👉 59 ページ](#))

● プロジェクターの光源使用時間や各種のエラーをEメールで受け取るには？

HTTPサーバー機能 ([👉 59 ページ](#)) へアクセスし、NETWORK SETTINGS → ALERT MAIL ページで「SENDER'S ADDRESS」や「SMTP SERVER NAME」、「RECIPIENT'S ADDRESS」などを設定し、「SAVE」をクリックします。([👉 64ページ](#))

5-6. 情報

入力端子	調整	セットアップ	情報	リセット
◀ 使用時間 ▶ 信号(1) ▶ 信号(2) ▶ 有線LAN ▶ (1/2)				
ライト使用時間	00000[H](Y)	00000[H](B)		
フィルター使用時間	00000[H]			
総CO2削減量	0.000[kg-CO2]			
総電気料金削減量	0.00[S]			
EXIT:終了 ⇐移動 ⇨移動				

入力端子	調整	セットアップ	情報	リセット
◀ 使用時間 ▶ 信号(1) ▶ 信号(2) ▶ 有線LAN ▶ (1/2)				
信号名	1024x768			
信号番号	108			
水平同期周波数	48[kHz]			
垂直同期周波数	60[Hz]			
同期形態	セパレート			
同期極性	H(-) V:(-)			
走査方式	ノンインターレース			
EXIT:終了 ⇐移動 ⇨移動				

入力端子	調整	セットアップ	情報	リセット
◀ 使用時間 ▶ 信号(1) ▶ 信号(2) ▶ 有線LAN ▶ (1/2)				
信号形式	RGB			
ビデオ標準	---			
色深度	8[bits]			
ビデオレベル	拡張			
EXIT:終了 ⇐移動 ⇨移動				

入力端子	調整	セットアップ	情報	リセット
◀ 使用時間 ▶ 信号(1) ▶ 信号(2) ▶ 有線LAN ▶ (1/2)				
IPアドレス	...			
サブネットマスク	...			
ゲートウェイ	...			
MACアドレス	00:00:00:00:00:00			
EXIT:終了 ⇐移動 ⇨移動				

入力端子	調整	セットアップ	情報	リセット
◀ 接続 ▶ VERSION ▶ その他 ▶ (2/2)				
プロジェクター名	PJ-XXXXXXXXXX			
PINコード	0880			
有線LAN				
IPアドレス	...			
EXIT:終了 ⇐移動 ⇨移動				

入力端子	調整	セットアップ	情報	リセット
◀ 接続 ▶ VERSION ▶ その他 ▶ (2/2)				
FIRMWARE	1.00			
DATA	1.00			
EXIT:終了 ⇐移動 ⇨移動				

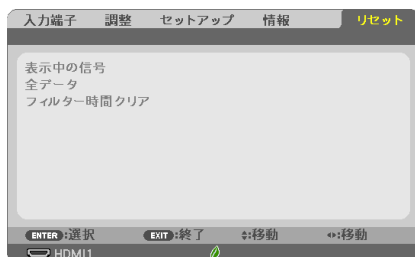
入力端子	調整	セットアップ	情報	リセット
◀ 接続 ▶ VERSION ▶ その他 ▶ (2/2)				
プロジェクター名	PJ-XXXXXXXXXX			
ホスト名				
MODEL NO.				
SERIAL NUMBER				
EXIT:終了 ⇐移動 ⇨移動				

ライト使用時間、総 CO2 削減量、有線 LAN のアドレス情報、入力選択されている入力信号の詳細、製品の型名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

- ・ 使用時間ページの「総 CO2 削減量」、「総電気料金削減量」は、プロジェクターの省エネ効果を表示します。 (50 ページ)
- ・ 信号ページは、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が投写されない場合、入力

信号が本機に適しているかの確認に使用します。「対応解像度一覧」 (129 ページ) もあわせてご覧ください。

5-7. リセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】

言語・バックグラウンド・投写方法・フィルターメッセージ・セキュリティ・通信速度・コントロール ID・スタンバイモード・ファンモード・CO₂ 換算係数・通貨選択・電気料金換算係数・光源使用時間・フィルター使用時間・総 CO₂ 削減量・有線 LAN

●フィルター時間クリア

フィルターの清掃を行ったときに「フィルター使用時間」をクリアします。「フィルターメッセージ」を「オフ」に設定している場合は「フィルター時間クリア」を行う必要はありません。



- フィルター使用時間は、リセット→全データではクリアされません。

6. 機器と接続する

注意

- 添付のケーブルを使用してください。
HDMI、LAN、RS-232C、オーディオについてはシールドタイプのケーブルを使用してください。
ミニ D-Sub 15 ピンについては、シールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。
これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

6-1. コンピューターと接続する

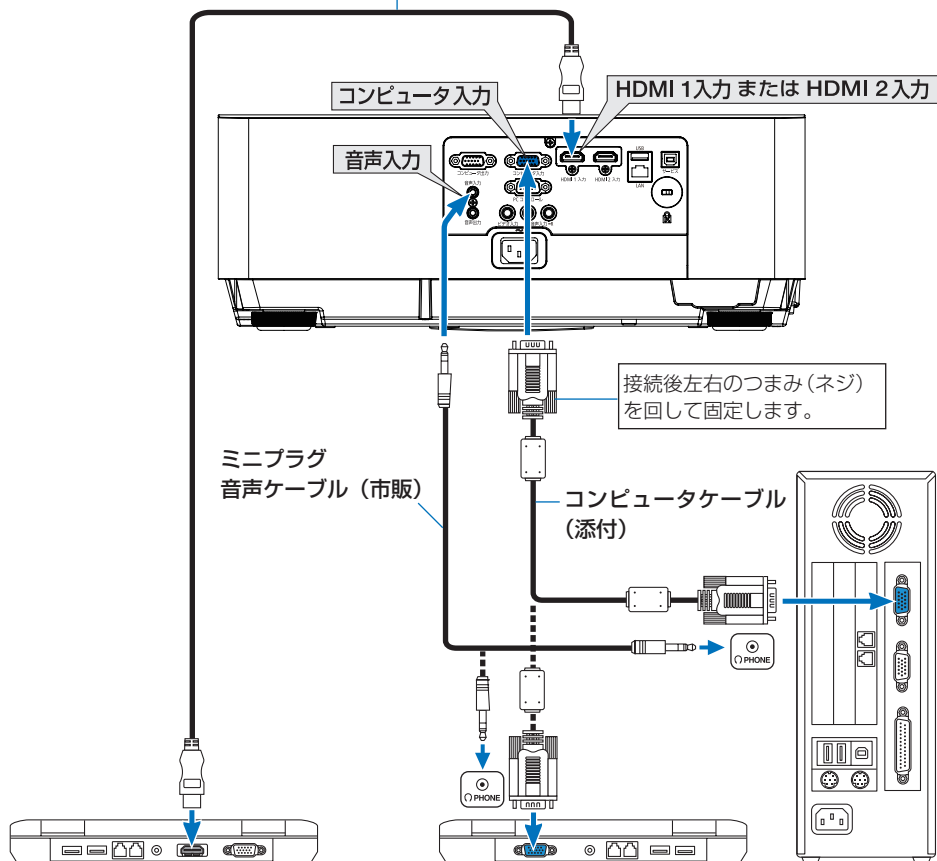
コンピュータとの接続は、コンピュータケーブル（添付）および HDMI ケーブル（市販）を使用する方法があります。

- 添付のコンピュータケーブルは、コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピュータ映像入力端子を接続します。
- 市販の HDMI ケーブルは、コンピュータの HDMI 出力端子と本機の HDMI 1 または HDMI 2 入力端子を接続します。

注意

- コンピューターや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にコンピューターの音量を低めに調整してください。そして、コンピューターと本機を接続して使用する際に、本機の音量とコンピューターの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- コンピューターにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット（型名 ISS-6020J）のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバーターなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
- 接続機器によっては、接続している HDMI ケーブルを抜き挿ししたときに HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）の映像が映らなくなることがあります。そのときは、HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）を再度選択してください。
【入力端子の再選択方法】
 - リモコンで操作する場合は（HDMI 1）または（HDMI 2）ボタンを押してください。
 - プロジェクター本体で操作する場合は（メニュー）ボタンを押して入力端子画面で HDMI 1（または HDMI 2）を再選択してください。

HDMI ケーブル (市販)
High Speed HDMIケーブルを使用してください。

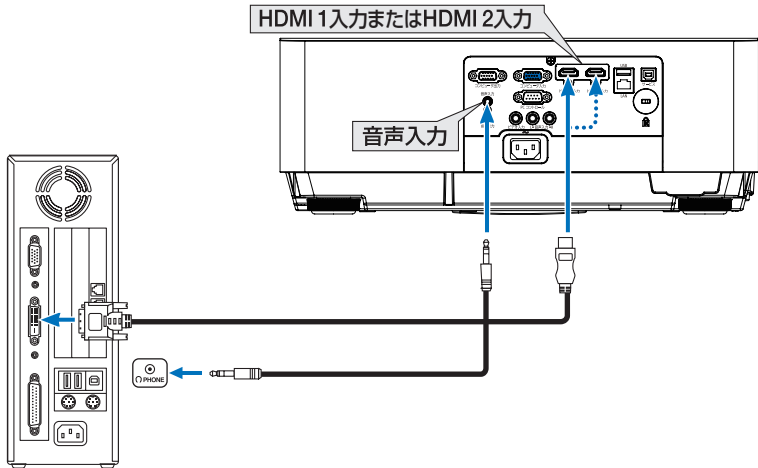


コンピュータによって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、コンピュータの取扱説明書でご確認ください。

●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ映像入力端子	 コンピューター	(コンピュータ1)
HDMI 1 入力端子	 HDMI 1	(HDMI 1)
HDMI 2 入力端子	 HDMI 2	(HDMI 2)

- コンピューター映像入力端子は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応しています。
- Mac との接続では、Mac 用信号アダプター（市販）が必要になる場合があります。
- コンピューター側が DVI 出力端子の場合は、市販の DVI-HDMI 変換ケーブルを使用して本機の HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）に接続します（デジタル映像信号のみ入力できます）。

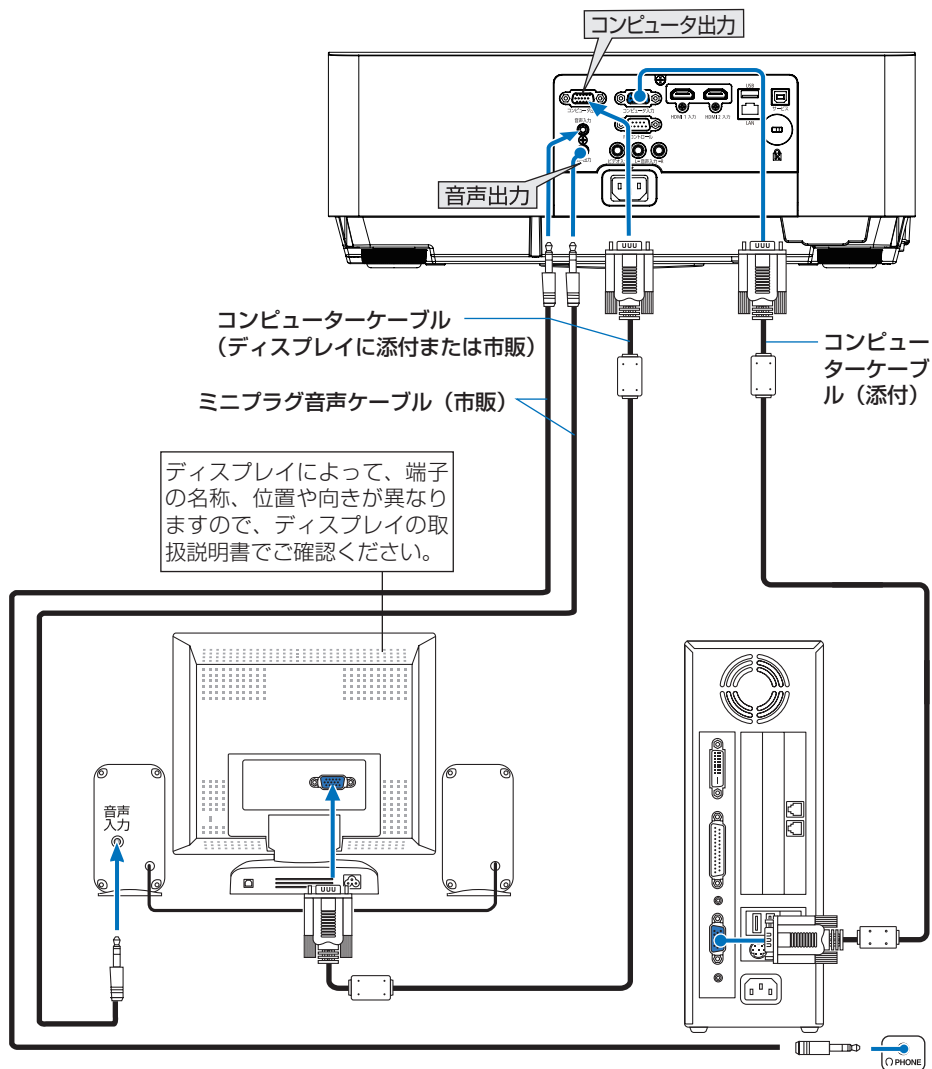


また、コンピューターの音声出力は、本機のコンピューター音声入力端子に接続してください。その場合は、本機のオンスクリーンメニューのセットアップ→オプション(1)→音声入力選択で HDMI1 または HDMI2 の設定を「コンピューター」に切り替えてください。 (102 ページ)

- DVI（デジタル）入力時の注意事項
 - ・ DVI-HDMI 変換ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠した 5 m以内のものを使用してください。
 - ・ DVI-HDMI 変換ケーブルを接続するときは、本機とコンピューターの電源が切れた状態で行ってください。
 - ・ DVI（デジタル）信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、HDMI 入力を選択します。最後にコンピューターを起動してください。上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はコンピューターを再起動してください。
 - ・ コンピューターのビデオカードによっては、アナログ RGB（D-Sub）と DVI（または DFP）の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子に RGB 信号ケーブルを接続していると、DVI デジタル信号が出力されないものがあります。
 - ・ 本機の電源が入っているときに信号ケーブルを抜かないでください。一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はコンピューターを再起動してください。

6-2. ディスプレイと接続する

図のように、デスクトップコンピュータと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示（モニター）して確認できます。コンピュータ映像入力端子に入力された信号だけがコンピュータ出力端子から出力されます。



注意

- 本機の音声出力端子は、ヘッドフォン用端子ではありません。
- 本機のモニター出力（コンピューター）端子は、1台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。
複数のディスプレイやプロジェクターを連続してつなぐような使いかたはできません。
- 本機の音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカーから音声が出なくなります。
- 本機がスタンバイ状態のときは、本機の電源を切る前に投写されていた映像信号および音声信号がモニター出力（コンピューター）端子および音声出力端子から出力されます。また、音声信号の音量も本機の電源を切ったときと同じになります。なお、スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているときは出力しません。
- スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」に設定されている場合で、本機がスタンバイ状態のとき、無信号状態が3分以上続くと、モニター出力端子および音声出力端子からの出力が停止します。この場合は、映像信号を入力後にケーブルを抜き差ししてください。

参考

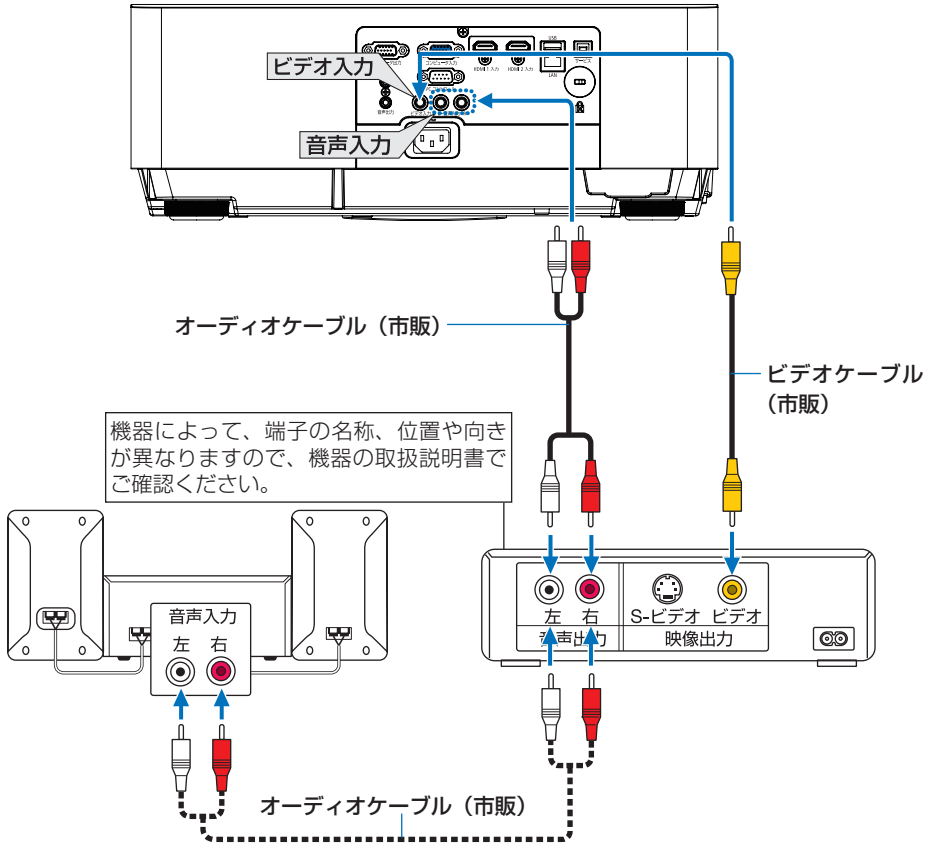
- モニター出力とスリープ状態について
スタンバイモードが「ノーマル」に設定されていると、スタンバイ状態のときにモニター出力されません。
スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」に設定されている場合は、スタンバイ状態のときにコンピューター映像入力端子に信号を入力すると、モニター出力（コンピューター）端子と音声出力端子が使用できます。
この状態をスリープ状態と呼びます。
スリープ状態は「ノーマル」「ネットワークスタンバイ」以外の待機状態です。
ただし、メニューからは選択できません。
- スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」に設定されている場合で、本機がスタンバイ状態のとき、コンピューター映像入力端子に信号の入力があり、かつコンピューター音声入力端子に音声入力があると、電源を切る直前に投写していたコンピューターかビデオの音声出力されます。
また、BNC端子から変換してコンピューター映像入力端子に入力した信号は、スタンバイ状態とスリープ状態の場合は、モニター出力できません。

6-3. DVD プレーヤーなどの AV 機器と接続する

ビデオ信号の接続

DVD プレーヤー、テレビチューナーなどのビデオ機器の映像を投写する場合は、市販のケーブルを使用してください。

本機の内蔵スピーカーはステレオですので、ビデオ機器の音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。

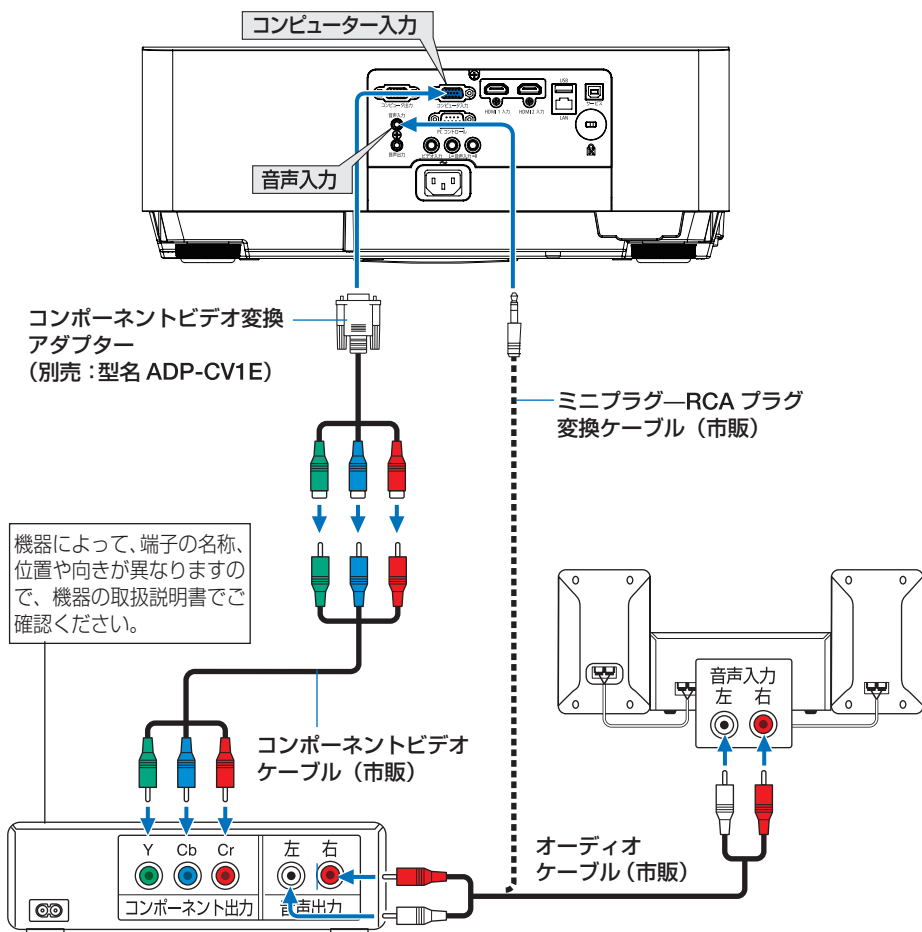


●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
ビデオ映像入力端子	● ビデオ	(ビデオ)

コンポーネント信号の接続

DVD プレーヤーの色差出力端子（DVD 映像出力）やハイビジョンビデオなどの YPbPr 出力端子（HD 映像出力）を使って本機で写射することができます。DVD プレーヤーの音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

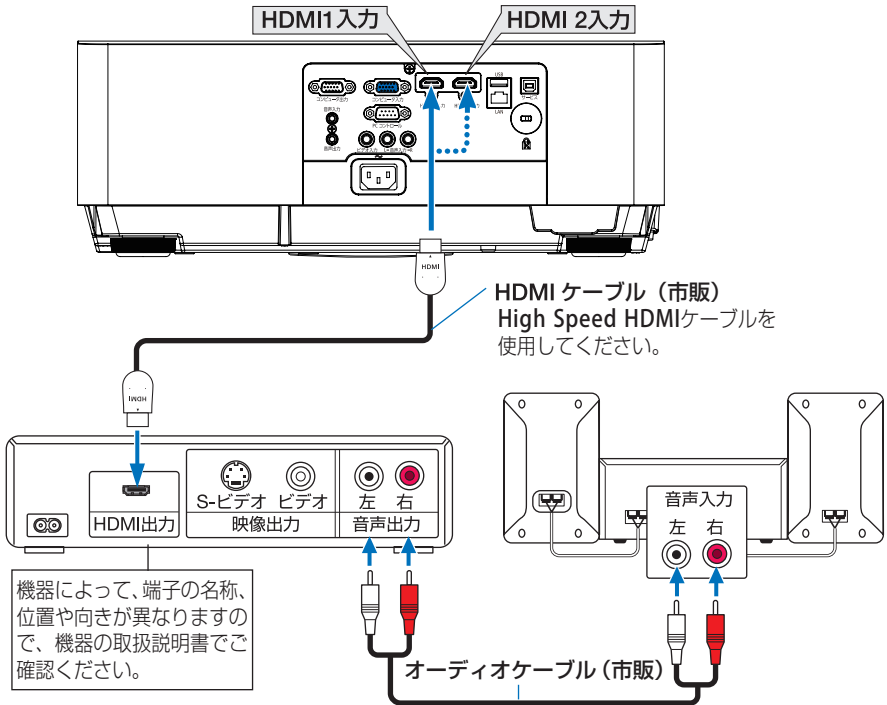
接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ映像入力端子	コンピューター	(コンピュータ1)

参考

- 通常は自動でコンピュータ信号とコンポーネント信号を判別して切り替えますが、判別できない場合は、本機のオンスクリーンメニューからセットアップ→オプション(1)→信号選択→コンピューターの設定画面でコンピューター信号を「コンポーネント」に設定してください。(▶101ページ)
- D端子付きの映像機器と接続する場合は、別売のD端子変換アダプター(型名ADP-DT1E)をお使いください。

デジタル映像・音声信号（HDMI）の接続

ブルーレイプレーヤーまたはデジタル放送チューナーなどの HDMI 出力端子を本機に接続してハイビジョン映像を投写することができます。本機の HDMI 1 入力端子または HDMI 2 入力端子はデジタル映像とデジタル音声を入力しますが、本機の内蔵スピーカーはステレオですので、音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



- 本機の電源を入れたあとに HDMI を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
HDMI 1 入力端子	HDMI1	(HDMI 1)
HDMI 2 入力端子	HDMI2	(HDMI 2)

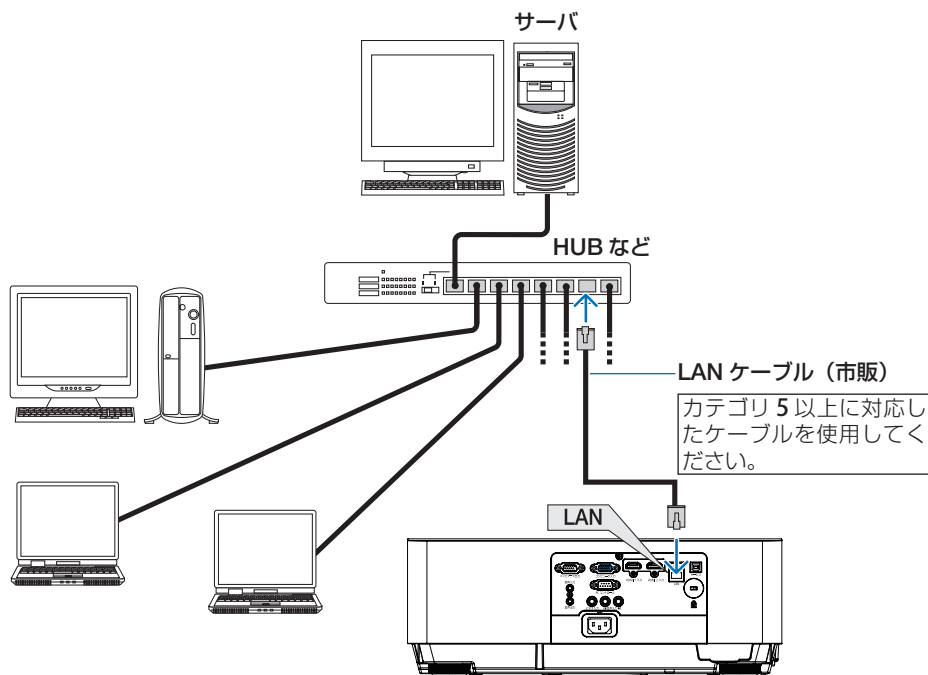
参考

- 本機の HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）に DVD プレーヤーを接続している場合に、DVD プレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューの HDMI 設定→ HDMI1 または HDMI2 →ビデオレベルで設定します。DVD プレーヤーのビデオレベルの設定については、DVD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI 1 入力(または HDMI 2 入力)の音声が出力されない場合は、本機のオンスクリーンメニューの音声入力選択が「HDMI1」または「HDMI2」に設定されているか確認してください。(▶102 ページ)

6-4. 有線 LAN と接続する

本機には LAN ポートが標準装備されています。LAN ケーブルを接続すると LAN 環境を利用することができ、コンピュータから本機を制御できます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。本機への LAN の設定はオンスクリーンメニュー→セットアップ→設置→ネットワーク設定で行ってください。(📄 106 ページ)

接続例



注意

- 有線LANとの接続について
本機の有線LAN端子は公衆回線（電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む）に直接接続することを意図して設計されていません。そのため有線LAN端子を公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。

7. 本体のお手入れ

7-1. フィルターの清掃

吸気口のフィルターはプロジェクター内部をほこりや汚れから守っています。フィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、汚れが気になるときは清掃をしてください。



警告

フィルターなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

参考

- フィルター清掃時期の表示について
本機には、フィルターの清掃時期をお知らせする機能があります。あらかじめ設定した時間（工場出荷時は「2000 H」）を超えて本機を使用すると、画面上に「フィルター清掃時期です。」のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、フィルターを清掃してください。
 - ・ 設置する環境に合わせて、フィルター清掃のメッセージ表示間隔を変更することができます。
 - ・ フィルター清掃のメッセージは、電源投入時の1分間、および本体の \odot ボタンまたはリモコンの電源（スタンバイ）ボタンを押したときに表示されます。
 - ・ 「フィルター清掃時期です。」というメッセージは、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押すと消えます。

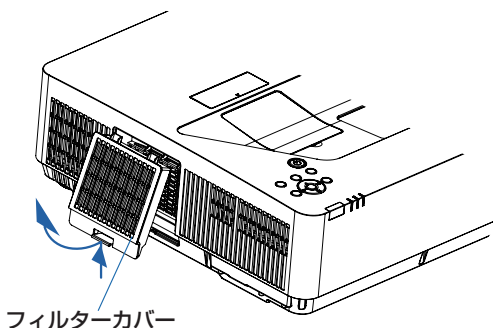
フィルターユニットおよびフィルターカバーを取り外して清掃します。



注意

フィルターの清掃は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷えてから行ってください。動作中にフィルターユニットを外すとやけどや内部に触れて感電のおそれがあります。

- 1 ボタンを押しながら手前に引いてフィルターカバーを取り外す。

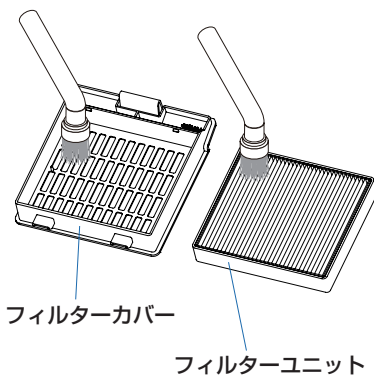


2 掃除機でフィルターユニットの裏と表のほこりを吸い取る。

- ・ フィルターのすき間のほこりもていねいに取り除いてください。
- ・ フィルターカバーのほこりもきれいに取り去ってください。

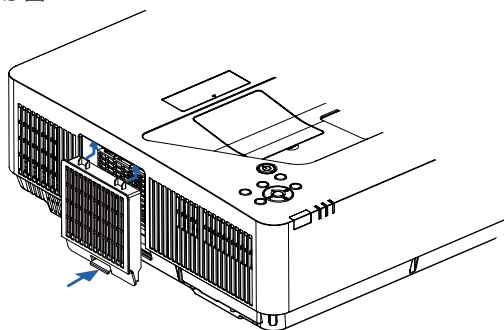
注意

- フィルターの清掃はブラシ付きアダプターを使用してください。アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。
- 水洗いをしないでください。目づまりの原因となります。



3 フィルターカバーをしめる。

しめたあと、「カチッ」と音がするまでボタン付近を押してください。フィルターカバーが固定されます。



4 フィルター使用時間をクリアする。

電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

オンスクリーンメニューのリセットの「フィルター時間クリア」を選択してください。

[\(▶109 ページ\)](#)

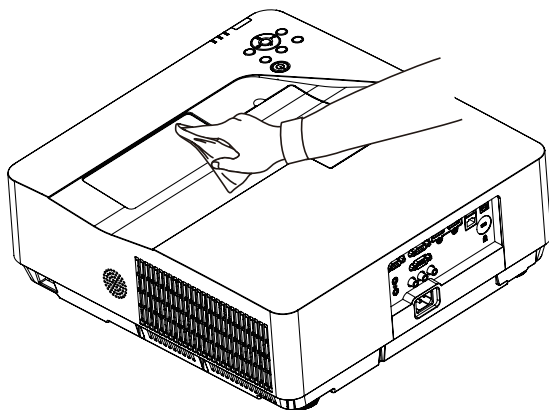
7-2. 投写窓の清掃

投写窓を清掃する場合は、市販のカメラ用ブローワーを使用してほこりやゴミを取り除いてください。ふき取る場合は市販のレンズ用クリーニングクロス（布）を使用してください。その際、投写窓を傷つけないように十分注意してください。



警告

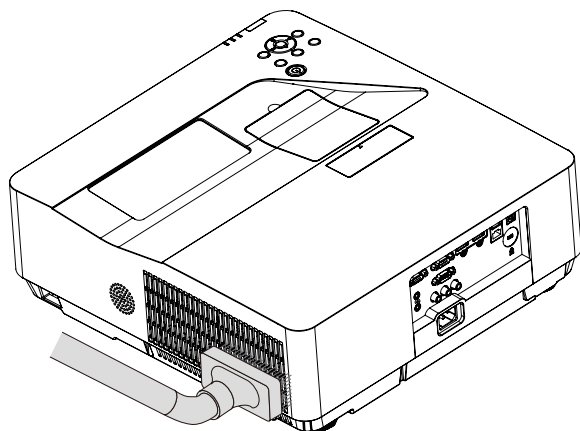
投写窓などに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。



7-3. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口やスピーカー部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用して吸い取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。



通風口やスピーカー部のほこりを吸い取ります。

- 通風口にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

注意

- キャビネットや投写窓およびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげなどの原因となります。

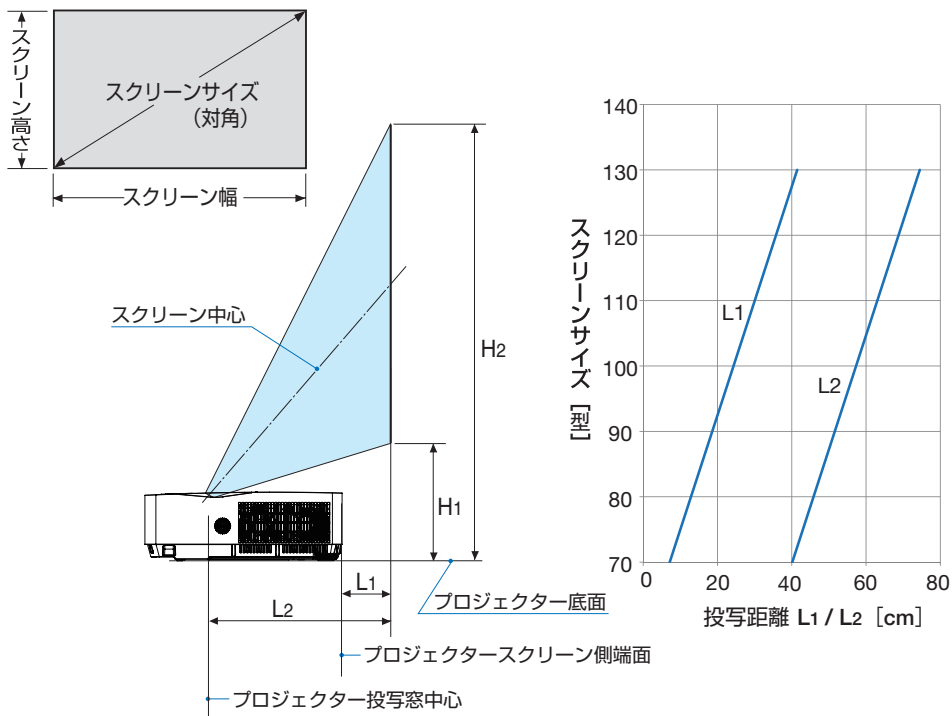
8. 付 録

投写距離とスクリーンサイズ

投写距離とスクリーンサイズおよびプロジェクターとスクリーンの最適高さを表わしています。設置の際の目安にしてください。

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、本体スクリーン側端面から 8.0cm（70型の場合）～ 42.9cm（130型の場合）です。この範囲で設置してください。

サイズ (型)	スクリーン		投写距離 (WIDE時)		スクリーン下端 の高さ H ₁ (cm)	スクリーン上端 の高さ H ₂ (cm)
	幅×高さ (cm)		L ₁ (cm)	L ₂ (cm)		
70	150.8	94.2	8.0	41.0	30.5	124.7
80	172.3	107.7	13.8	46.8	33.5	141.2
90	193.9	121.2	19.7	52.7	36.6	157.8
100	215.4	134.6	25.5	58.5	39.7	174.3
110	236.9	148.1	31.3	64.3	42.8	190.9
120	258.5	161.5	37.1	70.1	45.8	207.4
130	280.0	175.0	42.9	75.9	48.9	223.9

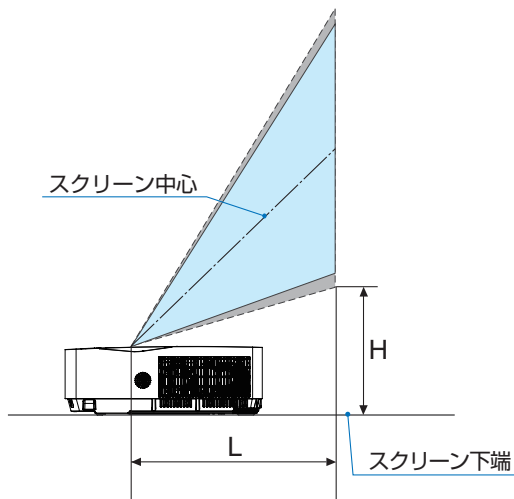


【表の使い方】

1. 「投写距離」を参照し、スクリーンサイズに応じて、スクリーンと本機の距離を取ります。
例えば、80 型のスクリーンに投写する場合は、スクリーンから約 13.8cm (L_1) 離してプロジェクターを設置します。
2. 「スクリーン下端の高さ」を参照し、スクリーンの上下の位置調整、または本機を置く台の高さ調整を行います。
例えば、80 型のスクリーンに投写する場合は、本機の底面からスクリーン下端までの高さを、約 33.5cm に設置します。

デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用するときの例です。
 水平投写位置……レンズを中心に左右均等
 垂直投写位置……（下表参照）



(注) プロジェクター底面からスクリーン下端までの高さ（チルトフットを縮めた状態）

スクリーンサイズ (型)	投写距離 L(m)		寸法 H(cm)
	ワイド時	テレ時	-3%V ~ +3%V
70	0.41	0.43	27.6 ~ 33.3
80	0.47	0.49	30.3 ~ 36.8
90	0.53	0.55	33.0 ~ 40.2
100	0.59	0.62	35.7 ~ 43.7
110	0.64	0.68	38.3 ~ 47.2
120	0.70	0.74	41.0 ~ 50.7
130	0.76	0.80	43.7 ~ 54.2

(計算例) 100 型で投写している場合

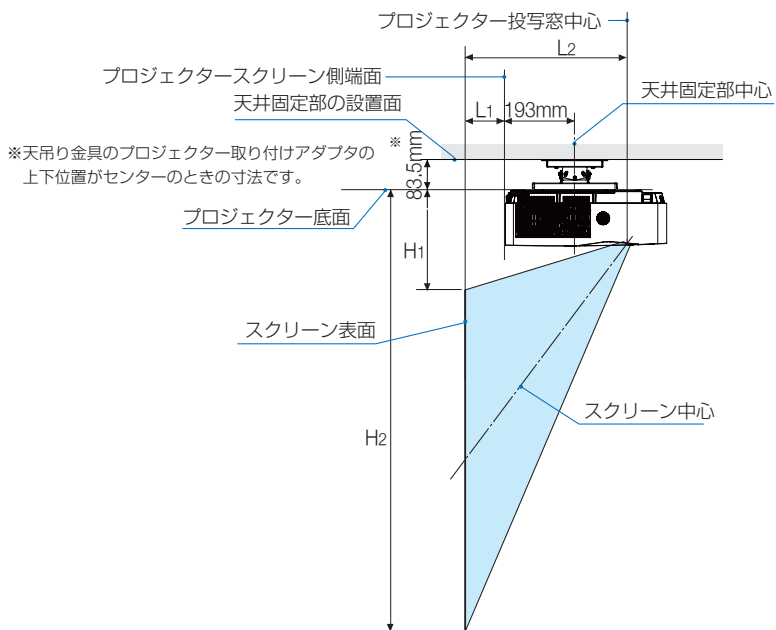
「スクリーンサイズと寸法表」 ([▶123 ページ](#)) のスクリーン表により $H=215.4\text{cm}$ 、 $V=134.6\text{cm}$ になります。

垂直方向の調整範囲：上方向 $0.03 \times 134.6\text{cm} \doteq 4.06\text{cm}$ 、投写画面を移動することができません (レンズが中心位置の場合)。

水平方向の調整範囲：左方向 $0.02 \times 215.4\text{cm} \doteq 4.27\text{cm}$ 、右方向も同様に約 4.27cm 投写画面を移動することができます。

※簡易計算式のため数%の誤差があります。

- 天吊り金具（別売）設置時の投写距離について
 投写距離（L1）（L2）、寸法（H1）（H2）はデスクトップの例と同じです。
 天井固定部の寸法およびプロジェクター取り付け時の寸法は [134 ページ](#)をご覧ください。



- 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

対応解像度一覧

アナログ RGB

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60/72/75/85/iMac
SVGA	800 × 600	4 : 3	56/60/72/75/85/iMac
XGA	1024 × 768	4 : 3	60/70/75/85/iMac
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
	1360 × 768 ^{*1}	16 : 9	60
	1366 × 768 ^{*1}	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60/75
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60/75
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900 ^{*1}	16 : 9	60
UXGA	1600 × 1200 ^{*2}	4 : 3	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
Full HD	1920 × 1080	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200 ^{*3}	16 : 10	60
MAC 13"	640 × 480	4 : 3	67
MAC 16"	832 × 624	4 : 3	75
MAC 19"	1024 × 768	4 : 3	75
MAC 21"	1152 × 870	4 : 3	75
MAC 23"	1280 × 1024	5 : 4	65

HDMI

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
	1366 × 768	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10	60 ^{*4}
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV (480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

コンポーネント

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV(480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV(576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

コンポジット ビデオ

信号名	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
NTSC	4 : 3	60
PAL	4 : 3	50
PAL60	4 : 3	60
SECAM	4 : 3	50

*1: オンスクリーンメニューのアスペクトを「自動」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「自動」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「16 : 9」に設定してください。

*2: WXGA モードオフ時。

*3: WXGA モードオン時。

*4: RB (リデュースドブランキング信号) は 154MHz までです。

- 本機の解像度を超える信号はアドバンスド・アキュブレンドにより対応。
- アドバンスド・アキュブレンドの場合、文字や罫線の太さなどが不均一になったり、色がにじんだりする場合があります。
- 出荷時はその表示解像度/周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピューターの種類によっては調整が必要な場合があります。
- コンピューター信号は、セパレート同期信号のみ対応しています。

仕様

型名		NP-UM383WLJL	
方式		三原色液晶シャッター投映方式	
主要 部 品 仕 様	液晶パ ネル	サイズ	0.76 型 MLA 付き (アスペクト比 16:10)
		画素数 (*1)	1,024,000 画素 (1280 ドット× 800 ライン)
	投写レ ンズ		F=1.78-1.83、f=4.92mm ~ 5.18mm
		ズーム	デジタルおよびマニュアル (1 ~ 1.7 倍)
		フォーカス	マニュアル
	レンズシフ ト		水平 : ± 2%、垂直 : ± 3%
	光源	HLD+LED (エコ1モード時 272W、エコ2モード時 170W (*2))	
光学装置	ダイクロミックミラーによる光分離・クロスダイクロプリズムによる合成方式		
明るさ (*3) (*4)		3800lm	
コントラスト比 (*3) (全白/全黒)		380000:1	
画面サイズ (投写距離)		70 ~ 130 型 (0.41 ~ 0.8m)	
色再現性		10 ビット カラープロセッシング (約10億7000万色) (*5)	
音声出力		2 × 10W ステレオスピーカー内蔵	
走査周波 数	水平	15 ~ 100kHz 未満 (RGB 入力は 24kHz 以上)	
	垂直	50 ~ 120Hz (HDMI 入力は 50 ~ 85Hz)	
主な調整機能		マニュアルズーム、マニュアルフォーカス、マニュアルレンズシフト、 入力信号切替 (HDMI 1/HDMI2/ コンピューター/ ビデオ /USB-A/ LAN)、画像自動調整、画面拡大、画面位置調整、ミュート (映像 / 音声とも)、電源オン/オフ、オンスクリーン表示/選択など	
最大表示解像度 (横×縦)		1920 × 1200 (*6) (アドバンスド・アキュブレンドによる対応)	
入 力 信 号	R,G,B,H,V	RGB:0.7Vp-p / 75 Ω 正極性 H/V Sync:4.0Vp-p/TTL 正極性 / 負極性	
	コンポジットビデオ	1.0Vp-p / 75 Ω	
	コンポーネント	Y:1.0Vp-p / 75 Ω (With Sync)	
		Cb,Cr (Pb,Pr) :0.7Vp-p / 75 Ω	
		DTV: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p (50/60Hz) 576i, 576p, 720p, 1080i (50Hz)	
DVD: プログレッシブ信号 (50/60Hz)			
音声		0.5Vrms / 22k Ω以上	
入 出 力 端 子	コンピ ューター/	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1
		映像出力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1
	コンポー ネント	音声入力	ステレオミニジャック× 1
		音声出力	ステレオミニジャック× 1 (全信号共通)
HDMI	映像音声入力	HDMI®コネクタタイプ A (19 ピン) × 2, HDCP 対応 (*7)	

型名		NP-UM383WLJL
入出力端子	ビデオ	映像入力 RCA × 1
		音声入力 RCA (RCA L/R) × 1
	PC コントロール端子	D-Sub 9 ピン × 1
	USB ポート	USB タイプ A × 1
	LAN ポート	RJ-45 × 1、10BASE-T/100 BASE-TX
使用環境		動作温度 : 5 ~ 40°C (*8) 動作湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 動作高度 : 0 ~ 2700m (1700 ~ 2700m はファンモード「高地」) 保存温度 : - 10 ~ 50°C 保存湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)
電源		AC 100V 50/60Hz (*9)
消費電力	オフ時	460W
	エコ1 モード時	374W
	エコ2 モード時	248W
	スタンバイ時	ネットワークスタンバイ : 1.6W ノーマル : 0.3W
定格入力電流		4.9A
外形寸法		425 (幅) × 153.2 (高) × 449 (奥行) mm (突起部含まず) 425 (幅) × 156.7 (高) × 449 (奥行) mm (突起部を含む)
質量		10.7kg

(*1) : 有効画素数は 99.99% です。

(*2) : 最大でエコ1 モード相当の電力になります。

(*3) : 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書2に基づいています。

(*4) : エコモードが「オフ」、プリセットが高輝度モードのときの明るさです。
エコ1 モードにすると明るさは約 80%、エコ2 モードにすると明るさが約 50% に低下します。
また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(*5) : 入力端子で、USB-A を選択しているときは、フルカラー (約 1677 万色以上) となります。

(*6) : WXGA モードオン時

(*7) : HDCP/HDCP 技術とは？

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機には、HDMI 入力端子を装備しています。

本機のHDMI入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。ただし、HDCPの規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 入力端子の映像が表示されないことがあります。

映像 : DeepColor (ディーブカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット、LipSync

音声 : LPCM; チャンネル数; 2ch、サンプリング周波数 : 32/44.1/48KHz、サンプリングビット : 16/20/24 ビット

HDMI : HDCP 1.4 に対応

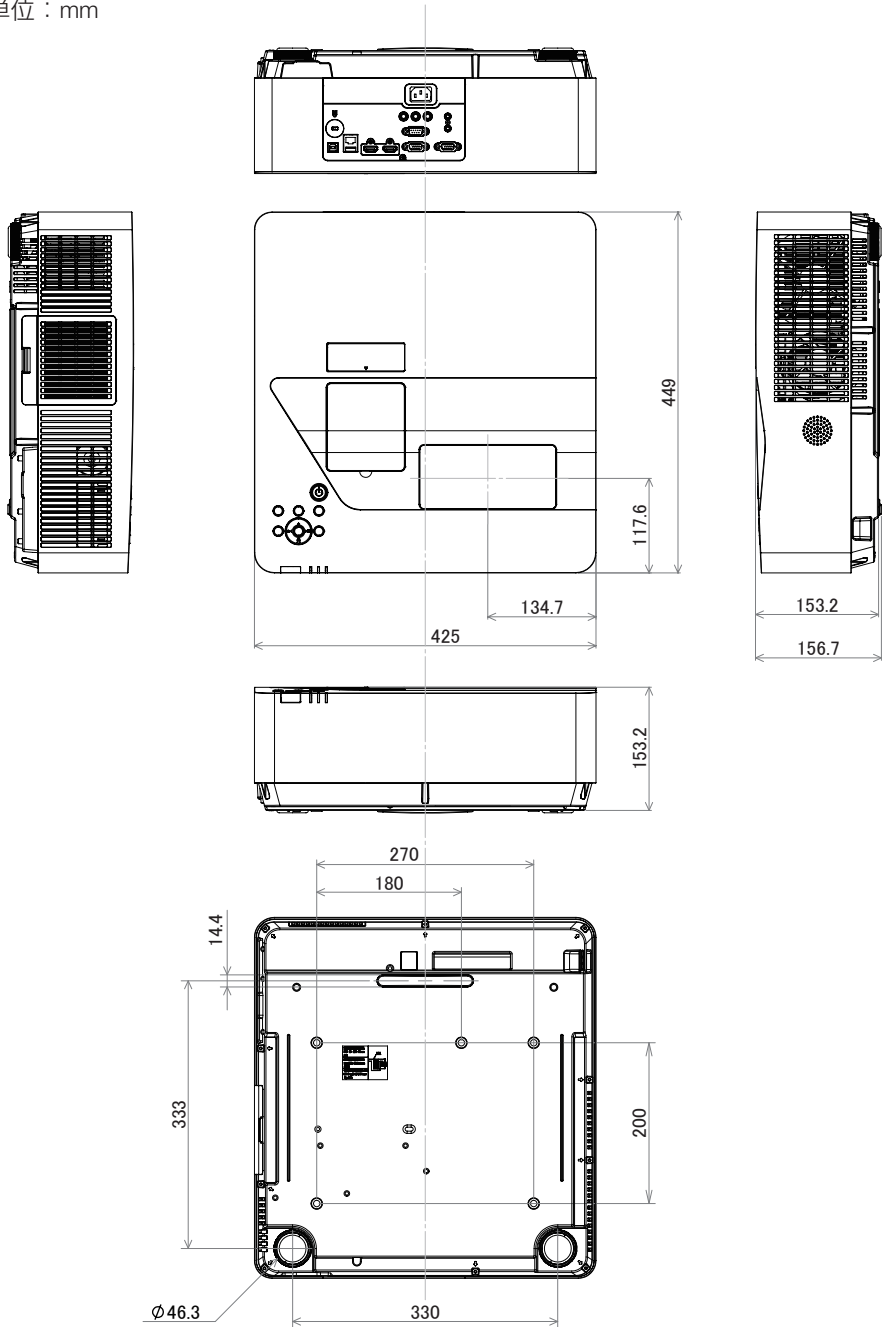
(*8) : 35 ~ 40°C は「強制エコモード」になります。

(*9) : 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

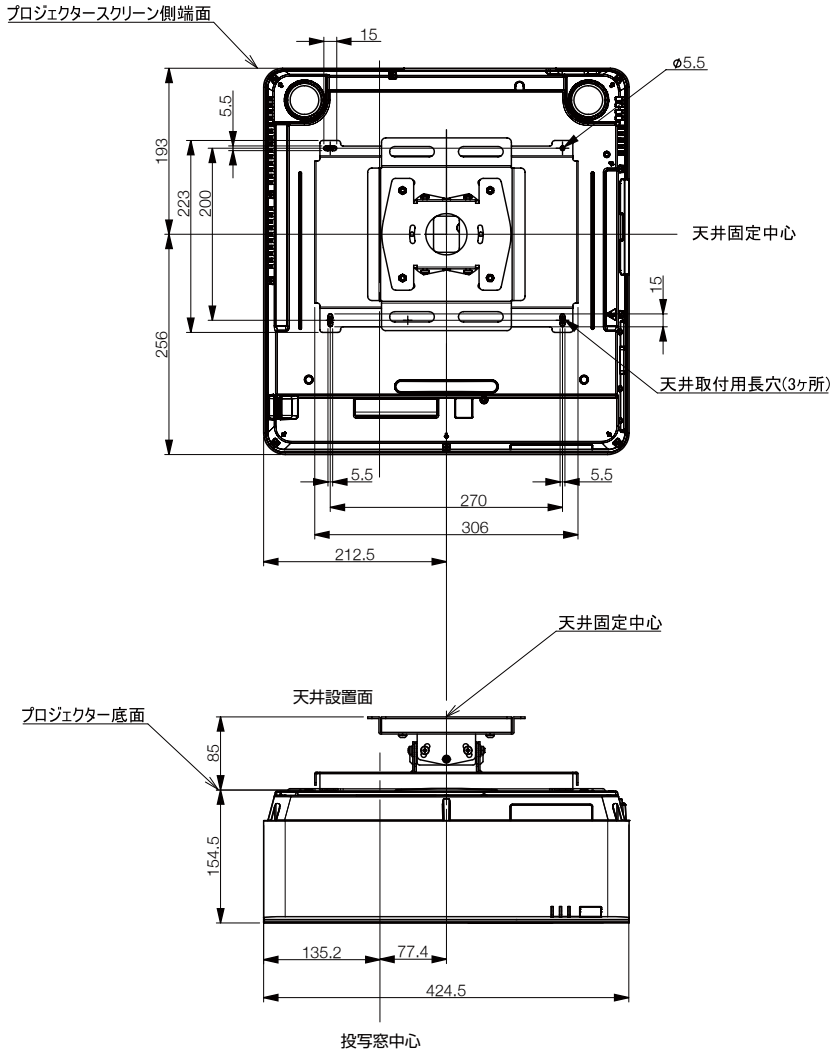
外觀圖

單位：mm



天吊り金具（別売）取り付け図

天井設置面寸法図（単位：mm）

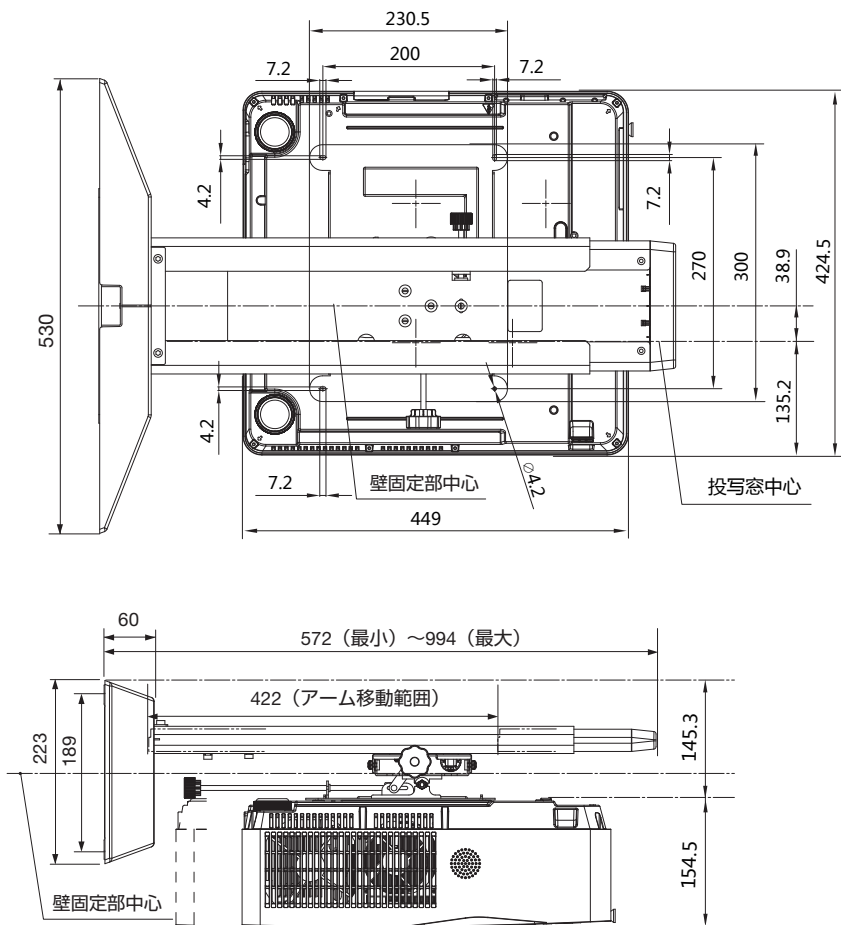


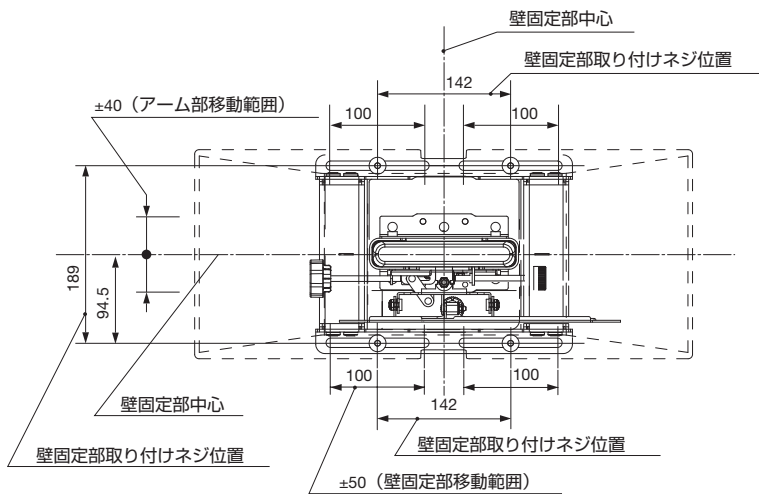
注) 左右0度、上下0度、傾き0度、上下位置中心時の寸法です。

壁掛け金具（別売）取り付け図

壁用取り付けユニットの外観図、壁固定部の壁面取り付けネジ位置とプロジェクター取り付け時の移動量を記載しています。

単位：mm

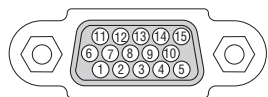




注) 左右0度、上下0度、傾き0度、上下位置中心時の寸法です。

コンピューター映像入力端子のピン配列と信号名

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）

同期信号：TTLレベル

ピン番号	RGB 信号（アナログ）	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	Hotplug	
10	同期信号 接 地	
11	非接続	
12	Bi-directional DATA（SDA）	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

参考

- Virtual Remote Tool では、コンピューター映像入力端子の 12 ピンと 15 ピンを使用しています。

バックグラウンドロゴを変更する (Virtual Remote Tool)

Virtual Remote Tool を使用すると、コンピューターの画面に Virtual Remote 画面（リモコンウインドウまたはツールバー）を表示し、コンピューターケーブルを介して通信を行い、プロジェクターの電源の入/切や信号切り替えなどの操作ができます。また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。

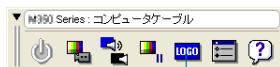
【Virtual Remote 画面】



リモコンウインドウ

●主な制御機能

- ・電源の入/切
 - ・入力信号切替
 - ・映像・音声のミュート
 - ・投写中の動画を静止する
 - ・プロジェクターへロゴ画像を送信する
- その他、コンピューターの画面上でのリモコン操作



ツールバー

バックグラウンドロゴを登録するときは、このボタンを使います。

Virtual Remote Tool は、当社のホームページからダウンロードしてください。
<https://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

注意

- Virtual Remote Tool を起動するには「Microsoft .NET Framework (Version 2.0)」が必要です。「Microsoft .NET Framework」は、マイクロソフトのホームページからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。
- 信号選択で「コンピューター」を選択しているときは、コンピューターの画面とともに Virtual Remote 画面も表示されます。
- Virtual Remote Tool を使用するときには、添付のコンピューターケーブルを使って、コンピューター映像入力端子とコンピューターの映像出力端子を直接接続してください。
市販のコンピューターケーブルを使用したりスイッチャなどの機器を介すると、通信が正常に行えないことがあります。
- 接続するコンピューターの仕様、およびグラフィックアダプターやドライバーのバージョンによっては動作しない場合があります。
- Virtual Remote Tool を使って送信できるロゴデータ（画像）には以下の条件があります。
 - * ファイルサイズ：1 メガバイト未満
 - * 画像サイズ：水平 1280 ドット，垂直 800 ドット 以内
 - * 色数：256 色以内
- ロゴ画像の送信は、LAN またはシリアル接続のときに行えます。コンピューターケーブル接続時にはできません。

参考

- 本機のコンピューター映像入力端子は、プロジェクターやディスプレイとコンピューター間で各種設定に関する情報を通信する際に用いられる国際規格「DDC/CI」に対応しています。
- Virtual Remote Tool は、ネットワーク（有線 LAN）およびシリアル接続での制御も可能です。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	27
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	146
	標高約 1700m 以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択してください。 高地で本機を使用する場合にファンモードで「高地」を選択していないと、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。	100
	上記の電源コードの接続、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	45
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオフタイマーまたはオートパワーオフを「オン(時間を選択)」にしていませんか。	96 104
映像が出ない	接続している入力を選んでいませんか。本体の(入力切替)ボタンまたはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。	31
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	110～ 118
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	85

映像が出ない	コンピューター信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	129
	コンピューター信号（RGB）の場合、画面調整を正しく行っていますか。	43
	コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、 143 ページ をご覧ください。	—
	HDMI IN 端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。 お使いのコンピュータに内蔵されているグラフィックボードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。 再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピュータ、グラフィックボードの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータのサポート窓口にお問い合わせください。 なお、最新ドライバや最新 OS のインストールは、お客様の責任において行っていただきますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	78
	それでも解決しない場合は、リセットを行ってみてください。	109
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。	57
	ライトの消灯直後に電源を入れたときは、冷却のためにファンのみが回転し、映像が出るまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
	標高約 1700m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクターが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高地」に設定してください。	100
映像が歪む	正しく設置されていますか。	34
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	41
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	37
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	34
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	123
	レンズシフトの移動量が保証範囲を超えていませんか	126
	投写窓や内部の光学部などが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れると投写窓や内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—

映像の画質が悪い	コンピューター信号 (RGB) の場合、(自動調整)ボタンを押してください。	43
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。ファンモードを「高速」に設定するなどして、本機内部の温度が下がるようにしてください。	50
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピューター信号 (RGB) の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。	86 87
	コンピューター信号 (RGB) の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。コンピューターの解像度を確認してください。	129
コンピューター信号 (RGB) で文字がちらついたり色がずれている	(自動調整)ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数と位相を調整してください。	43 86
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	24
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	24
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はありませんか。	25
	リモコンの有効範囲 (7m) を超えていませんか。	24
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。コントロール ID を「オン」にすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。	98
インジケーターが点滅する	インジケーター表示一覧をご覧ください。	145 146
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約5分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	45

コンピューターの画面がうまく投写できない場合

コンピューターを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●コンピューターの起動のタイミング

コンピューターと本機をコンピューターケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピューターを起動してください。

特にノートブックコンピューターの場合、接続してからコンピューターを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。
水平同期周波数が表示されていないときは、コンピューターから外部出力信号が出力されていません。(▶ 108 ページ)

●コンピューターの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピューターの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピューター自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

参考

- Windows のノートブックコンピューターの場合は、**[Fn]** キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F3]	NEC
[Fn] + [F8]	DELL

※詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

●ノートブックコンピューターの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピューターの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピューターの制限（コンピューター自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピューターの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

● Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプター（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなる場合があります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

● MacBook と本機を同時に表示させる場合

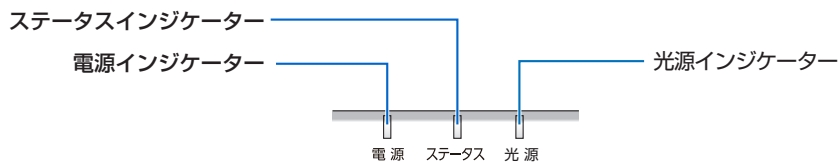
MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を本機の表示解像度に設定できないことがあります。

● Mac の投写画面からフォルダーなどが切れている場合
























Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の状態を表しています。



●通常のインジケータ表示

電源	ステータス	光源	本機の状態
 (熄灭)	 (熄灭)	 (熄灭)	主電源が切れている
 オレンジ色 (点滅 ^{*1})	 (熄灭)	 (熄灭)	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」で、ネットワークが待機状態) (148 ページ)
 オレンジ色 (長い間隔の点滅 ^{*2})	 (熄灭)	 (熄灭)	スタンバイ状態 (ネットワークが無効状態) (148 ページ)
 オレンジ色 (点灯)	 (熄灭)	 (熄灭)	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」で、ネットワークが有効状態) (148 ページ)
 緑色 (点灯)	 (熄灭)	 (熄灭)	スリープ状態
 青色 (点灯)	 (熄灭)	 緑色 (点灯)	電源オン状態 (エコモードオフ時)
 青色 (点灯)	 (熄灭)	 緑色 (長い点滅 ^{*3})	電源オン状態 (エコモードオン時)
 青色 (長い点滅 ^{*3})	 (熄灭)	(各状態)	オフタイマー有効状態、プログラムタイマー オフ時刻有効状態 (電源オン状態)
 青色 (短い点滅 ^{*4})	 (熄灭)	 (熄灭)	電源オン準備中

*1 1.5 秒点灯 / 1.5 秒消灯 のくり返し

*2 1.5 秒点灯 / 7.5 秒消灯 のくり返し

*3 2.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 のくり返し

*4 0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 のくり返し

●異常時のインジケータ表示

電源	ステータス	光源	本機の状態	行ってください
 青色 (点灯)	 オレンジ色 (点灯)	(各状態)	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(97 ページ)
			プロジェクターのID番号とリモコンのID番号が一致しないとき	コントロールIDを確認してください。(98 ページ)
 青色 (短い点滅 ^{*4})	 (消灯)	 緑色 (短い点滅 ^{*4})	ライト点灯失敗後の再点灯準備中、プリクル中	しばらくお待ちください。
 青色 (点灯)	 (消灯)	 オレンジ色 (点灯)	周囲高温 (強制エコモード中)	周囲の温度が高くなっています。室温を下げてください。
 赤色 (短い点滅 ^{*4})	 (消灯)	 (消灯)	温度エラー	室温が、本機の動作温度 (5 ~ 40℃) を超えています。適切な室温に調節してください。また、排気口がふさがれていないか、吸気口の近くに他のプロジェクターの排気口がないか確認してください。
 赤色 (短い点滅 ^{*4})	 緑色 (点灯)	 赤色 (点灯)	ライト不点灯	1 分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
 赤色 (点灯)	(各状態)	(各状態)	修理が必要な異常発生中	NECプロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。その際に、インジケータの点灯状態をお知らせください。

*3 2.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 のくり返し

*4 0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 のくり返し

●温度プロテクターが働いたときは

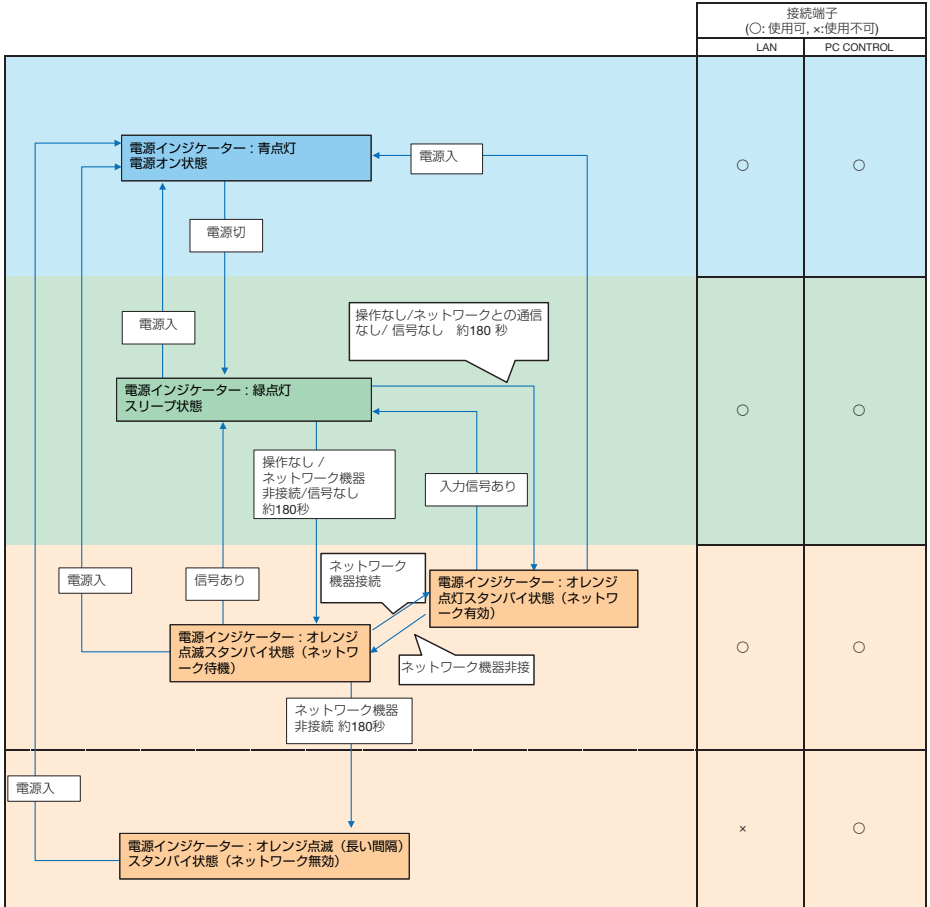
本機内部の温度が異常に高くなると、電源インジケーターが赤色で短く点滅します。その後、本機の温度プロテクター機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。このようなときは、以下のことを行ってください。

- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・通風口にほこりがたまっていたら、清掃してください。(🔗 119、122 ページ)
- ・本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

● 電源インジケータ表示とスタンバイ状態について

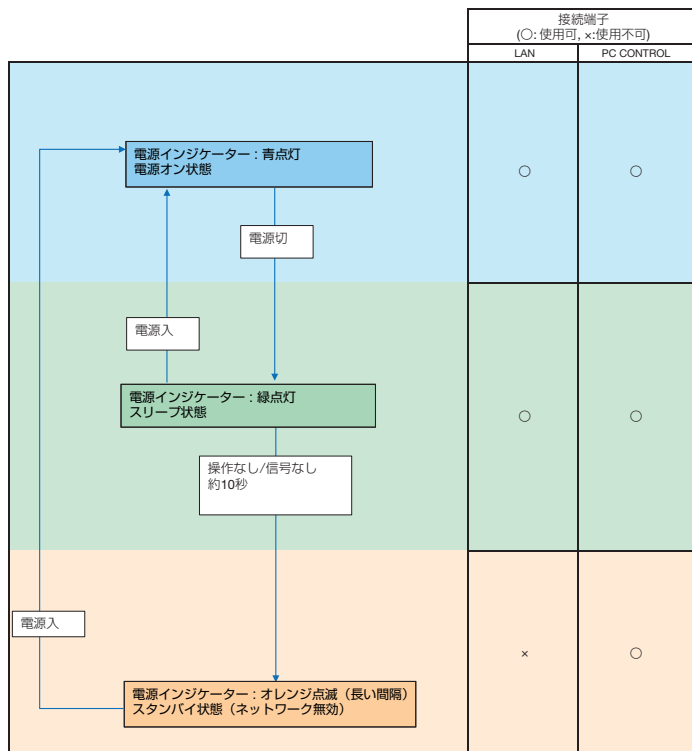
スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」のとき

接続機器の状態などによって、本機のスタンバイ状態が下図のように変わります。



接続端子 (○: 使用可, x: 使用不可)	
LAN	PC CONTROL
○	○
○	○
○	○
x	○

スタンバイモードが「ノーマル」のとき 下図のように動作します。



トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状をNEC プロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。

※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度 常時 時々 (回中 回) その他()

電源関係

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない (電源インジケータが青色に点灯しない)。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> ④ ボタンを押しても電源が入らない。 | <input type="checkbox"/> 使用中、電源が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> オートパワーオフは「オフ」に設定されている。<input type="checkbox"/> オフタイマーは「オフ」に設定されている。 |
|---|--|

映像・音声関係

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> コンピュータの画面が投写されない。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> コンピューターと本機を接続したあとにコンピューターを起動してもなおらない。<input type="checkbox"/> ノートブックコンピューターにおいて外部出力信号が出力されている。
Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます(コンピューターによって異なります)。 | <input type="checkbox"/> 映像が歪む。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が出ない (ブルーバック・ロゴ・表示なし)。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。<input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。<input type="checkbox"/> 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> 画面に何かメッセージが出ている。
(<input type="checkbox"/>)<input type="checkbox"/> 接続している入力を選択している。<input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。<input type="checkbox"/> 入力に対応している解像度・周波数の信号である。 | <input type="checkbox"/> 映像が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。<input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。<input type="checkbox"/> 水平または垂直方向に映像がずれる。<input type="checkbox"/> コンピューター映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。<input type="checkbox"/> 入力に対応している解像度・周波数の信号である。<input type="checkbox"/> 数ドット欠けている。 |
| | <input type="checkbox"/> 映像がちらつく。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。<input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。<input type="checkbox"/> コンピューター映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。<input type="checkbox"/> ファンモードを「高地」から「自動」にしてもなおらない。 |

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 映像が暗い。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 | <input type="checkbox"/> 映像がぼやける・フォーカスが合わない。 |
| | <input type="checkbox"/> 音が出ない。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> 音量を調整してもなおらない。 |

その他

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> リモコンが利かない。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。<input type="checkbox"/> 蛍光灯の近くに本体が設置されている。<input type="checkbox"/> プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。 | <input type="checkbox"/> 本体操作パネルのボタンが利かない。
本体キーロック設定のある機種において <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。<input type="checkbox"/> 本体の (入力切替) ボタンを10秒以上押してもなおらない。 |
|---|--|

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター
型名: NP-UM383WLJL

製造番号:
購入時期:
光源使用時間:

エコモード: オートエコ エコ1
 エコ2

入力信号情報:
水平同期周波数 [kHz]
垂直同期周波数 [Hz]
同期極性 H (+) (-)
V (+) (-)
同期形態 セパレート ミックス
 Gシンク

インジケータの状態
電源 : 色 () / 点灯・点滅 ()
ステータス : 色 () / 点灯・点滅 ()
光源 : 色 () / 点灯・点滅 ()

設置環境

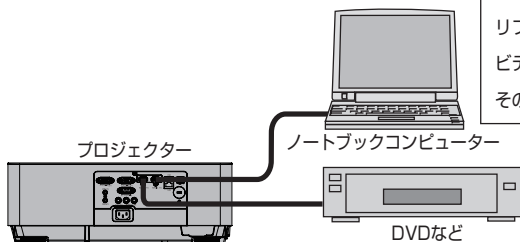
スクリーンサイズ: 型
タイプ: ホワイトマット ビーズ 偏光
 広視野角 ハイコントラスト

投写距離: m
投写方法: 天吊り 床置き

電源コンセントは?
 壁からのコンセントを直接利用している。
 電源用テーブルタップを利用している。
(他、接続機器の数: 台)
 電源ドラム (ロール式) を利用している。
(他、接続機器の数: 台)

コンピューター

メーカー:
型名:
ノートブックコンピューター・デスクトップ型
解像度:
リフレッシュレート:
ビデオボード:
その他:



信号ケーブル

純正・その他
(型名: 長さ: m)
分配器
型名:
スイッチャー
型名:
アダプター
型名:

接続機器

ビデオ・DVD・カメラ・ゲーム・その他
メーカー:
型名:

別売品／商標について

●別売品

	商 品 名	型 名
壁掛け金具	壁用取付けユニット	NP06WK
天吊り金具	天井用取付けユニット	NP17CM

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

●商標について

- ・ ViewLight、ビューライト、AccuBlend、NaViSet、MultiPresenter、Virtual Remote は、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の商標または登録商標です。
- ・ Apple、Mac、MacBook、iMac、Mac OS、OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ Microsoft、Windows、PowerPoint、.NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは HDMI Licensing Administrator, Inc. の米国その他の国における商標または登録商標です。



- ・ PJLink 及び PJLink ロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- ・ ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- ・ Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。
- ・ Virtual Remote Tool は Nicom soft Ltd. の Win I2C/DDC ライブラリを利用しています。

●本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属 CD-ROM 内の「about GPL&LGPL」フォルダー内の readme.pdf をご参照ください。

保証と修理サービス（必ずお読みください）

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。（ただし、定期交換部品、消耗品、添付品は除く）

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（電話番号：0120-610-161）にお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」(▶140 ページ) に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」(▶150、151 ページ) で現象を確認してください。その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●修理形態

保証書をご覧ください。

●保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	NEC プロジェクター		
型名	NP-UM383WLJL		
お買い上げ日	年	月	日
故障の状況	できるだけ具体的に		
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。		
お名前			
電話番号			

べんり メモ	お買い上げ 店名	☎ () -
-----------	-------------	---------

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの
トータルサポート窓口

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日、その他特定日を除く)

通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ <https://www.nec-display.com/jp/support/projector/>

NECディスプレイソリューションズ株式会社